

# 目次

I 調査の目的 .....	1
II 調査の概要 .....	1
III 本報告書の見方 .....	1
IV 集計結果 .....	2
集計結果のポイントまとめ .....	2
1. お子さんご家族の状況 .....	5
2. 保護者の就労状況 .....	12
3. 平日の幼稚園、保育園、認定こども園などの利用 .....	24
4. 地域の子育て支援事業の利用 .....	39
5. 日曜日、祝日、夏休みなどの幼稚園、保育園、認定こども園などの「定期的」な利用 .....	42
6. 病気の際の対応 .....	45
7. 幼稚園、保育園、認定こども園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用 .....	51
8. 放課後の過ごし方 .....	55
9. 座間市の子育ての環境や支援など .....	63

## I 調査の目的

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、次年度（平成31年度）に「第2期座間市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。（計画期間：2020年度～2024年度）

本調査は、計画の策定にあたり、子育て中の市民の現状や意見、子育て支援に関するニーズなどを把握し、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討に利用することを目的として実施したものです。

## II 調査の概要

- 調査地域：市全域
- 調査対象者：  
市内在住の未就学児（以下「未就学」という。）  
市内在住の小学校低学年児童（以下「低学年」という。）
- 調査期間：平成30年12月10日（月）～平成30年12月28日（金）
- 調査方法：郵送による配布、回収
- 調査票の回収状況：

種別	配布数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
未就学	3,000	1,678	4	1,674	55.8%
低学年	1,500	721	1	720	48.0%
合計	4,500	2,399	5	2,394	53.2%

【参考】前回（平成25年度）調査の回収率 未就学38.3%、低学年42.1%

## III 本報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は回答者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）の設問の一部は、合計値が100.0%になるよう調整しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 「不明・無回答」が比較的多い設問については、「不明・無回答」を除いて「%」を計算しています。
- 図表中の「N(number)」は、集計対象となった回答者数（あるいは回答者を限定する設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 図表等にある前回調査とは、本市が平成25年度に実施した第1期計画策定時の調査です。
- 図表等にある「未就園児」とは、20ページ(1)【未就学 問13】で、現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に「利用していない」と回答した方です。

## IV 集計結果

---

### 集計結果のポイントと課題等

---

---

#### 緊急時等にお子さんをみてもらえる人が「いない」という回答率が上昇

---

- 未就学では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」という家庭が約2割(19.5%)で、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」という家庭を含めると、全体の約7割となっています。みてもらえる人が「いずれもない」という家庭は約2割(18.4%)で、前回調査(平成25年度)と比べて回答率が上昇しており、一時預かり等の需要拡大につながるような家庭を取り巻く変化がうかがえます。【9ページ(8)参照】

---

#### フルタイム就労の割合の上昇と高い就労希望率が保育需要の拡大を表す結果

---

- 未就学の母親の就労状況は、フルタイム就労の割合が約3割(28.8%)と、前回調査(18.1%)から上昇しています。【12ページ(1)①参照】
- 未就学の家庭類型(保護者の就労状況等で家庭を分類したものは、保護者のいずれかが専業主婦(夫)という家庭が約4割(40.9%)と最も高く、次いで保護者ともにフルタイムの家庭が約3割(26.0%)と続いています。【14ページ参照】
- 現在働いていない未就学の母親の約9割(85.8%)が今後の就労を希望しており、就労希望者のうち約9割(89.2%)が「パートタイム、アルバイト等」を希望しています。【21ページ(5)・22ページ(7)参照】

---

#### 「幼稚園、保育園、認定こども園などに空きがない」との回答が約2割、0歳では約3割

---

- 未就学の家庭で、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に利用していない場合の理由として、「幼稚園、保育園、認定こども園などに空きがない」との回答が約2割(22.3%)で、0歳児に限定すると同回答は約3割(27.9%)となっています。【32ページ(6)参照】
- お子さんが【0~2歳のとき】に最も利用したい事業は、「保育園」が約5割(51.0%)と最も高く、次いで「認定こども園」が約2割(17.9%)と続いており、現在未就園の家庭のうち、約3割(30.9%)が「利用する予定はない」と回答しています。【33ページ(7)参照】
- お子さんが【0~2歳のとき】にいずれかの事業の利用を希望している家庭のうち、0歳からの利用希望を持つ家庭が約3割(29.7%)となっており、母親の就労状況や意向の変化に伴い、早期の職場復帰や就労の希望に対応する体制が求められています。【34ページ(8)参照】

---

#### 3歳以上のときの利用希望は、「保育園」、「幼稚園+預かり保育」、「幼稚園」の3つに分かれる

---

- お子さんが【3歳以上のとき】に最も利用したい事業は、「保育園」が約3割(29.0%)、「幼稚園+預かり保育」が約3割(28.6%)、「幼稚園」が約3割(27.9%)と、利用希望がこれら3つの事業に概ね分かれる結果となっています。【35ページ参照】

---

### 園を選ぶ際に、立地は「徒歩圏内」、方針や内容は「先生・保育士の質が高い」、「給食がある」等

---

- 幼稚園、保育園、認定こども園などを市内で選ぶ際に、重視する条件は、立地は「徒歩圏内」が約6割（62.7%）と最も高くなっています。【37ページ（12）参照】
- 園などの方針や内容について重視する条件は、幼稚園、幼稚園+預かり保育、認定こども園の利用を希望している場合は、いずれも「教育・保育の内容や方針が希望にあう」、「先生・保育士の質が高い」、「給食がある」が上位3つである一方、保育園の利用を希望している場合は「給食がある」、「先生・保育士の質が高い」に加え、「利用時間が長い」が上位3つに入っています。【38ページ参照】

---

### 市の課題（包括的な支援、待機児童解消）に対応する新しい事業の認知度向上が今後の課題

---

- 市の事業の認知度は、平成30年8月に開設した「ネウボラざまりん（子育て世代包括支援センター）」が22.6%、平成28年4月に配置した「保育コンシェルジュ」が15.8%となっています。【39ページ（1）①参照】

---

### 子育て支援センターについて、「利用したいが、近くにない」が約3割

---

- 未就園児（現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に利用していない方）で子育て支援センターを利用していない理由は、「利用したいが、近くにない」が約3割（30.7%）となっています。【41ページ（3）参照】

---

### 病児・病後児保育の「利用方法・利用料がわからない」との回答率が上昇

---

- 未就学のお子さんの病気の際、病児・病後児保育を「できれば利用したかった」という家庭が約4割（43.8%）で、前回調査と比べて希望率が低下しており、病児・病後児保育を利用したいと思わない理由について、前回調査と比べて「利用方法・利用料がわからない」との回答率が上昇しています。【48ページ（5）・49ページ（6）参照】

---

### 児童ホームの利用希望率が上昇、需要拡大を表す結果

---

- 低学年における児童ホーム利用者の満足度は、満足（満足、やや満足）との評価が約6割（55.3%）で、前回調査から満足度が上昇しています。【56ページ（2）参照】
- 未就学、低学年のいずれも、前回調査と比べて児童ホームの利用希望率が上昇しており、利用を希望している低学年の家庭のうち、約5割（46.2%）が「6年生まで」の利用を希望しており、児童ホームの需要拡大を表す結果となっています。【58ページ（5）・59ページ（6）（7）・60ページ（8）参照】

---

### 市の子育て環境に対する満足度向上には「遊び場の充実」と「子育て支援サービスの充実」がポイント

---

- 座間市の子育ての環境や支援への満足度は、満足（満足している、やや満足している）との評価は未就学で21.0%、低学年で17.1%と、不満（やや満足していない、満足していない）との回答率を大幅に下回っており、満足していない理由は、未就学、低学年のいずれも、「公園など子どもの遊び場が不足している」、「子育て支援サービスが充実していない」が上位2つです。【65ページ（3）・68ページ（5）参照】

---

**必要、重要な支援等は、未就学、低学年のいずれも「学習塾に通わせる」が最上位。ひとり親では、「就園・就学費用の軽減」「住宅支援」「緊急時の一時預かり」が上位3つ**

---

- ご家庭の現在の暮らしの状況は、未就学、低学年ともに、ひとり親家庭の場合は「やや苦しい」、「大変苦しい」という回答が半数以上となっています。【71ページ(7)参照】
- 家庭で経済的にできないことは、未就学、低学年のいずれも「学習塾に通わせる」が最上位となっています。【72ページ(8)参照】
- 現在必要としていること、重要だと思える支援等は、未就学では「子どもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」が約7割(68.0%)と最も高くなっており、ひとり親家庭に限定すると、「子どもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」、「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が上位3つとなっています。【73ページ(9)・74ページ参照】

---

**未就学では「両立支援」、低学年では「居場所の充実」が力を入れてほしい支援策**

---

- 今後力を入れていくべき市の子ども・子育て支援策は、未就学は「仕事と子育ての両立のための環境の整備」が約5割(47.9%)、低学年は「地域における子どもの居場所の充実」が約5割(48.1%)とそれぞれ最も高くなっています。【75ページ(10)参照】

---

**未就学、低学年の両方に、「公園について」の意見が多数**

---

- 子育てについて何か思うこと感じることにについて、自由記述の要旨を集計すると、未就学では、「保育園について」、「公園について」、「医療について」の意見の件数が比較的多くなっています。低学年では、「小学校について」、「公園について」、「児童ホーム、学童保育について」の意見が比較的多く寄せられています。【76ページ(11)参照】

# 1. お子さんご家族の状況

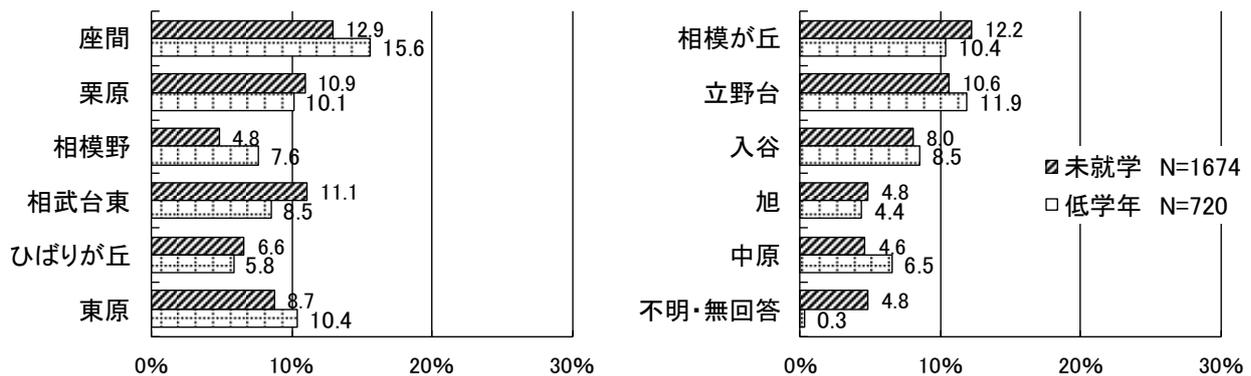
(1)

お住まいの小学校区についてお答えください。(〇は1つ)

【未就学 問1】【低学年 問1】

- 未就学は、「座間」が12.9%、「相模が丘」が12.2%とこれらが上位2つで、次いで「相武台東」が11.1%と続いています。
- 低学年は、「座間」が15.6%と最も高く、次いで「立野台」が11.9%、「東原」が10.4%と続いています。

【未就学】【低学年】



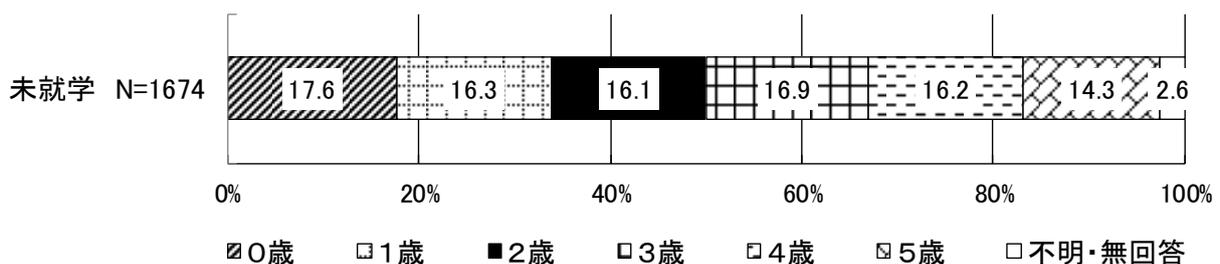
(2)

お子さんの年齢(生年月から算出)と学年

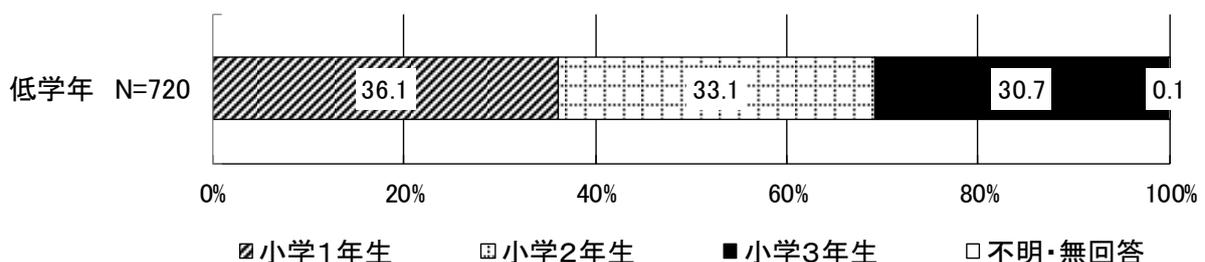
【未就学 問2】【低学年 問2】

- 未就学は、「0歳」が17.6%、「3歳」が16.9%とこれらが上位2つで、次いで「1歳」が16.3%と続いている、2歳以下が50.0%、3歳以上が47.4%となっています。
- 低学年は、「小学1年生」が36.1%、「小学2年生」が33.1%、「小学3年生」が30.7%と続いています。

【未就学】



【低学年】



- 未就学をお住まいの小学校区別で見ると、入谷や東原、ひばりが丘では「0歳」が20%以上と比較的高く、立野台では同年齢が10.2%と比較的低くなっています。相模が丘では「0歳」と「1・2歳」を合わせた割合が55.9%と最も高く、旭も同割合が55.1%と比較的高く、一方、座間や立野台では「3～5歳」が比較的高い状況です。

【未就学 お住まいの小学校区別】（網掛けは、各属性で最も高い割合のもの。以降も同様）

		回答者数	0歳	1・2歳	3～5歳	不明・無回答
全体		1674	17.5%	32.4%	47.5%	2.6%
お住まいの小学校区	座間	218	16.1%	27.5%	54.6%	1.8%
	栗原	182	13.7%	31.3%	52.8%	2.2%
	相模野	81	18.5%	29.6%	48.2%	3.7%
	相武台東	185	15.7%	34.6%	47.5%	2.2%
	ひばりが丘	110	20.0%	33.6%	43.7%	2.7%
	東原	146	20.5%	28.8%	49.3%	1.4%
	相模が丘	204	18.6%	37.3%	42.6%	1.5%
	立野台	177	10.2%	35.6%	54.2%	0.0%
	入谷	134	22.4%	30.6%	46.3%	0.7%
	旭	80	16.3%	38.8%	44.9%	0.0%
	中原	77	22.1%	26.0%	48.0%	3.9%

(3)

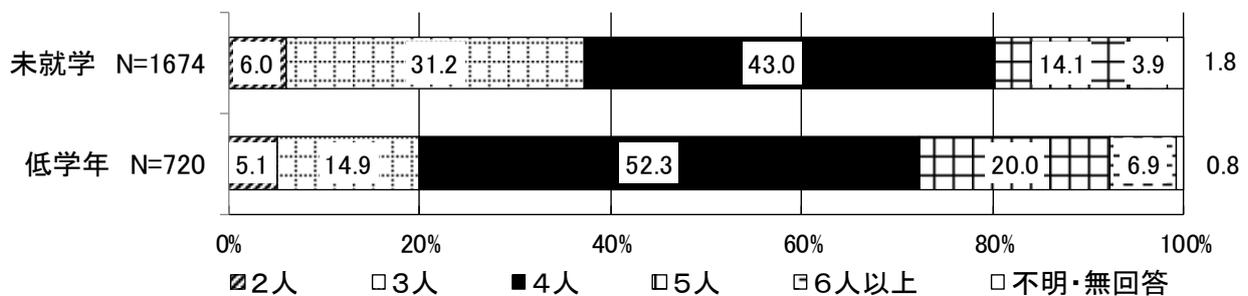
あなたの世帯の人数は全員で何人ですか。そのうち、お子さんは何人ですか。

【未就学 問3】【低学年 問3】

- 世帯人員は、未就学は、「4人」が43.0%と最も高く、次いで「3人」が31.2%、「5人」が14.1%と続いています。
- 低学年は、「4人」が52.3%と最も高く、次いで「5人」が20.0%、「3人」が14.9%と続いています。
- お子さんの人数は、未就学は、「2人」が45.6%と最も高く、次いで「1人」が37.5%、「3人」が12.8%と続いています。
- 低学年は、「2人」が55.9%と最も高く、次いで「3人」が20.1%、「1人」が18.2%と続いています。

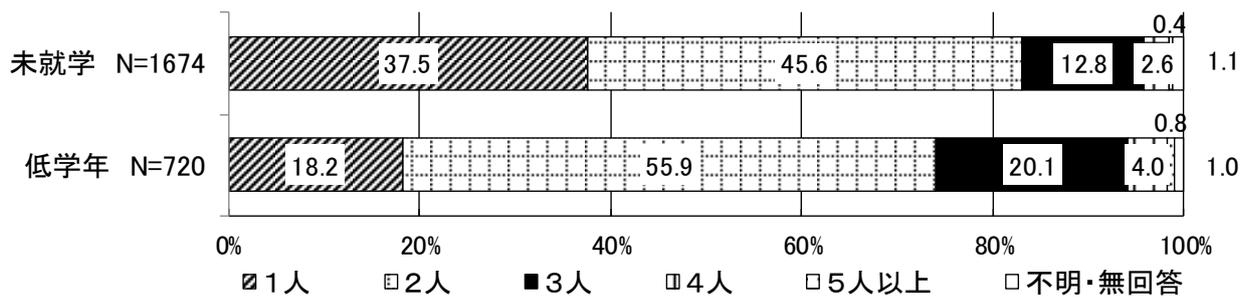
### ①世帯人員

【未就学】【低学年】



②お子さんの人数

【未就学】【低学年】

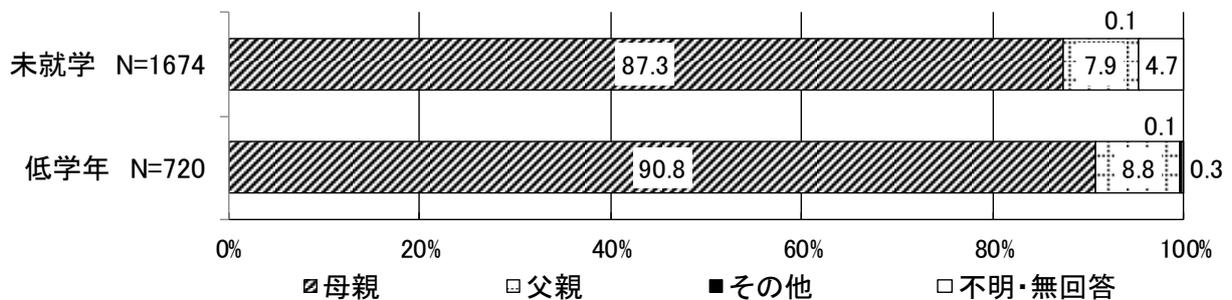


(4)

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(〇はいくつでも)  
【未就学 問4】【低学年 問4】

- 未就学は、「母親」が87.3%、「父親」が7.9%となっています。
- 低学年は、「母親」が90.8%、「父親」が8.8%となっています。

【未就学】【低学年】

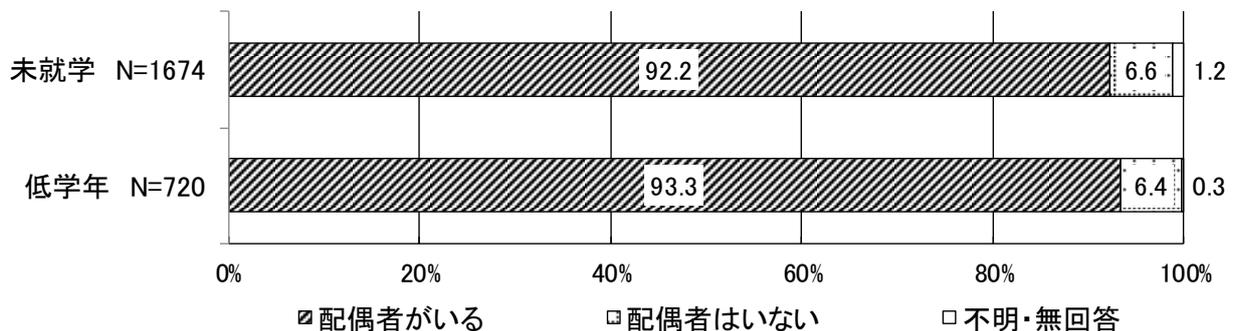


(5)

この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。  
(〇は1つ)【未就学 問5】【低学年 問5】

- 未就学は、「配偶者がいる」が92.2%、「配偶者はいない」が6.6%となっています。
- 低学年は、「配偶者がいる」が93.3%、「配偶者はいない」が6.4%となっています。

【未就学】【低学年】



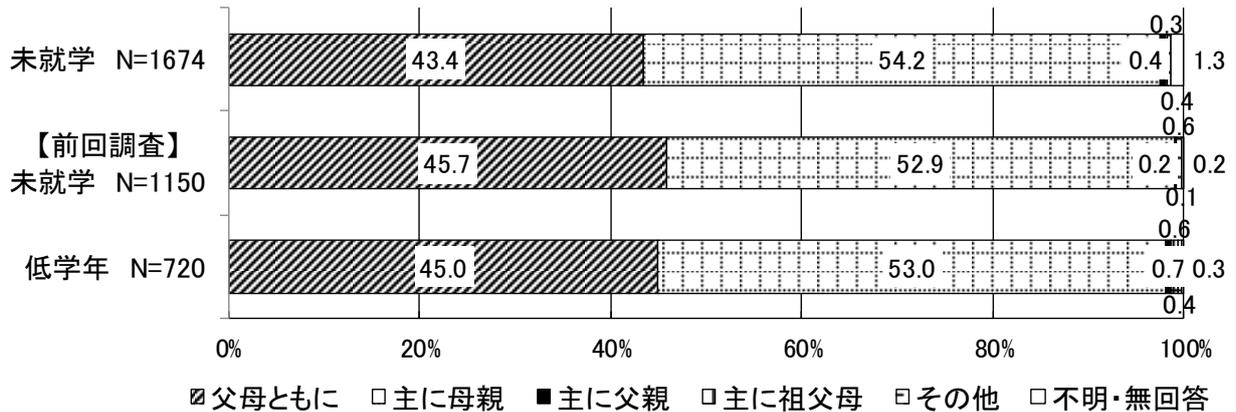
(6)

お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。(○は1つ)

【未就学 問6】【低学年 問6】

- 未就学は、「主に母親」が54.2%と最も高く、次いで「父母ともに」が43.4%、「主に父親」が0.4%と続いており、前回調査(平成25年度)と同様の結果となっています。
- 低学年は、「主に母親」が53.0%と最も高く、次いで「父母ともに」が45.0%、「主に父親」が0.7%と続いています。

【未就学】【低学年】



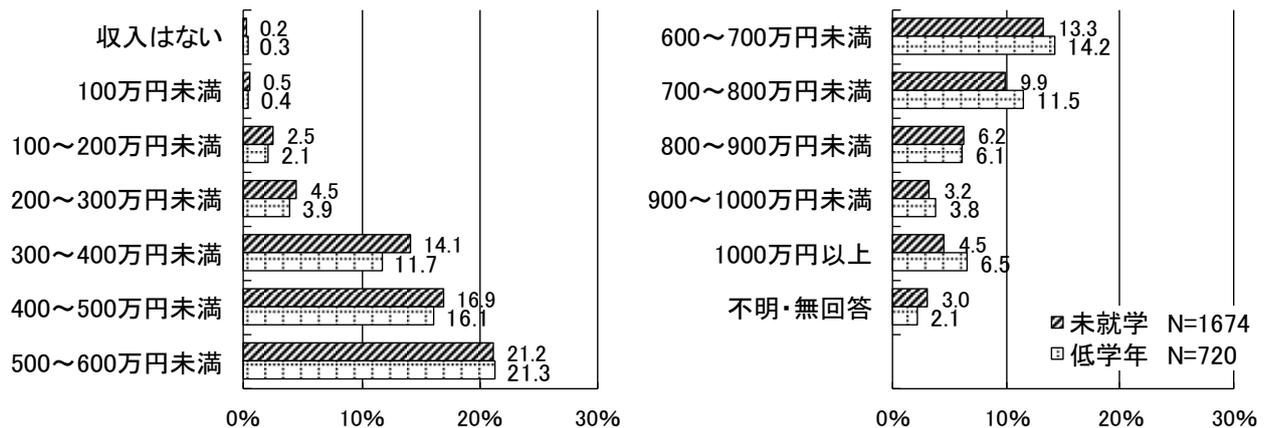
(7)

あなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入(年間のボーナスを含む手取額)」を教えてください。(○は1つ)

【未就学 問7】【低学年 問7】

- 未就学は、「500～600万円未満」が21.2%と最も高く、次いで「400～500万円未満」が16.9%、「300～400万円未満」が14.1%と続いています。
- 低学年は、「500～600万円未満」が21.3%と最も高く、次いで「400～500万円未満」が16.1%、「600～700万円未満」が14.2%と続いています。

【未就学】【低学年】



(8)

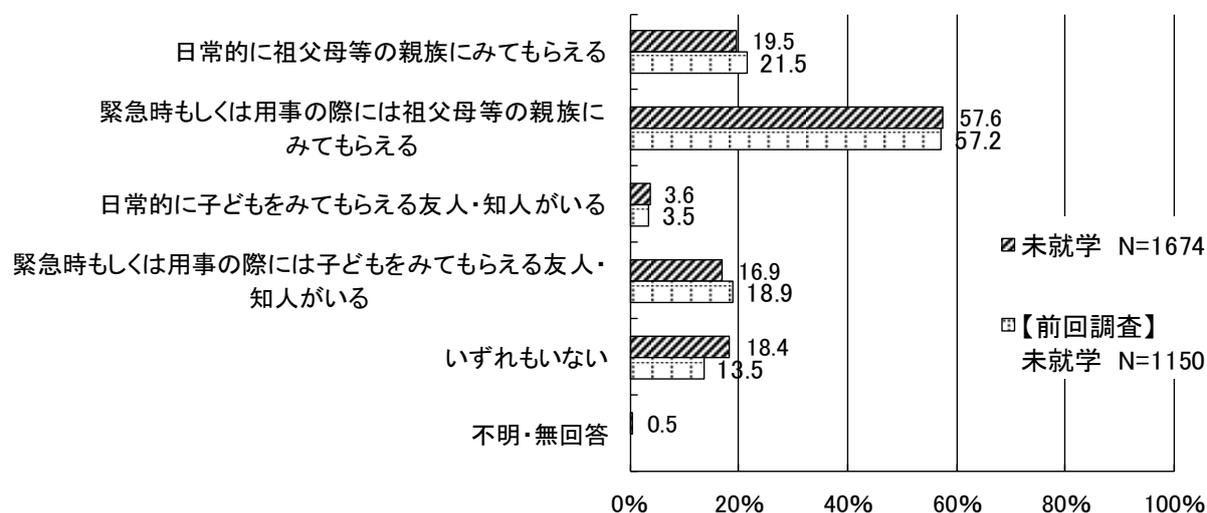
日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

【未就学 問8】

- 未就学は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が19.5%と続いています。
- 「いずれもない」は18.4%で、前回調査と比べて回答率が上昇しています。
- 子育てについて気軽な相談先が“ない”という場合は、「いずれもない」が55.8%と比較的高く、地域社会から見守られている、支えられていることを“そう感じない”という場合でも、「いずれもない」が29.4%と比較的高くなっています。
- 主な家庭類型別※で見ると、“C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)”の家庭では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が9.1%と比較的低く、「いずれもない」が26.7%と比較的高くなっています。

※家庭類型の詳細は、13ページ参照

【未就学】



【未就学 気軽な相談先の有無別等】

	回答者数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる	いずれもない	不明・無回答
全体	1674	19.5%	57.6%	3.6%	16.9%	18.4%	0.5%
気軽な相談先の有無							
ある	1556	20.6%	59.4%	3.9%	17.7%	15.7%	0.3%
ない	113	5.3%	33.6%	0.0%	7.1%	55.8%	0.0%
市への転入状況							
第一子が生まれる前から住んでいる	921	21.9%	58.4%	3.8%	16.0%	16.6%	0.1%
第一子出生前後に引っ越してきた	725	16.7%	56.8%	3.3%	18.6%	20.4%	0.6%
地域社会から見守られている、支えられていると感じる							
そう感じる	85	21.2%	48.2%	8.2%	25.9%	20.0%	0.0%
どちらかといえばそう感じる	473	23.3%	58.4%	4.2%	20.5%	14.4%	0.4%
どちらともいえない	679	18.4%	61.3%	3.2%	17.5%	15.3%	0.3%
どちらかといえばそう感じない	183	17.5%	57.4%	1.6%	10.9%	22.4%	0.0%
そう感じない	231	16.9%	51.1%	3.5%	10.4%	29.4%	0.0%
主な家庭類型【現在】							
A(ひとり親家庭)	91	26.4%	58.2%	3.3%	15.4%	9.9%	1.1%
B(フルタイム×フルタイム)	436	16.5%	59.9%	1.6%	10.6%	20.4%	0.5%
C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	9.1%	59.4%	2.4%	9.7%	26.7%	0.0%
C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	25.2%	55.1%	3.8%	24.8%	15.4%	0.4%
D(専業主婦(夫))	686	20.4%	56.7%	4.8%	21.0%	17.8%	0.1%

(9)

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

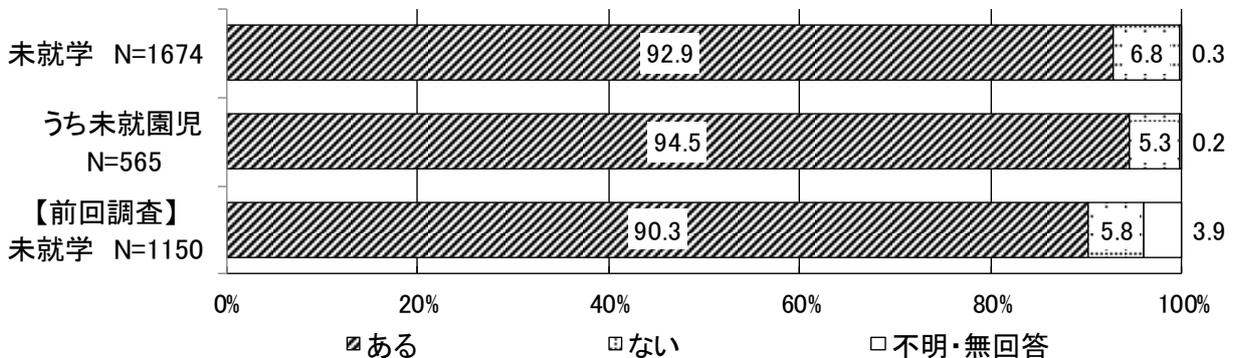
(○は1つ)

【未就学 問9】

- 未就学は、「ある」が92.9%、「ない」が6.8%となっており、前回調査と同様の結果となっています。
- 未就園児※の場合は、「ある」が94.5%、「ない」が5.3%となっています。
- 日頃、お子さんを見てもらえる人が“いずれもない”という場合は、「ない」が20.5%と比較的高く、ご家庭の現在の暮らしの状況を“大変苦しい”という場合も同回答が20.3%と比較的高くなっています。
- 主な家庭類型別で見ると、“A(ひとり親家庭)”や“C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)”の家庭では、「ない」が10%超となっています。

※23ページ(1)【未就学 問13】で、現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に「利用していない」と回答した方

【未就学】



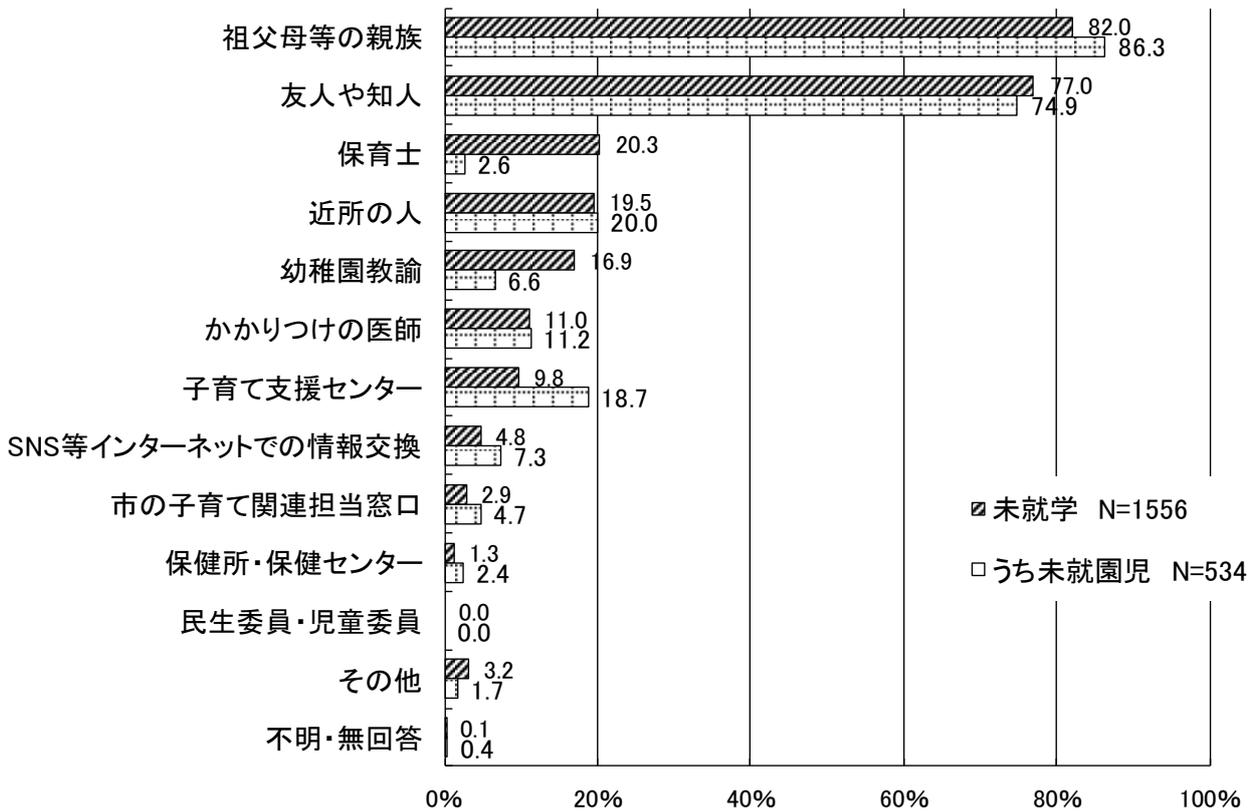
【未就学 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の状況別等】

		回答者数	ある	ない	不明・無回答
全体		1674	92.9%	6.8%	0.3%
日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族に	326	98.2%	1.8%	0.0%
	緊急時等には祖父母等の親族に	964	95.9%	3.9%	0.2%
	日常的に友人・知人に	60	100.0%	0.0%	0.0%
	緊急時等には友人・知人に	283	97.2%	2.8%	0.0%
	いずれもない	308	79.5%	20.5%	0.0%
市への転入状況	第一子が生まれる前から住んでいる	921	94.4%	5.5%	0.1%
	第一子出生前後に引っ越してきた	725	91.4%	8.3%	0.3%
ご家庭の現在の暮らしの状況	大変ゆとりがある	24	95.8%	4.2%	0.0%
	ややゆとりがある	231	95.7%	4.3%	0.0%
	普通	893	95.2%	4.7%	0.1%
	やや苦しい	389	91.0%	8.5%	0.5%
	大変苦しい	118	79.7%	20.3%	0.0%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	86.8%	11.0%	2.2%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	94.7%	5.3%	0.0%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	89.1%	10.3%	0.6%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	94.9%	5.1%	0.0%
	D(専業主婦(夫))	686	93.4%	6.6%	0.0%

(10) (9)で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。  
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)  
 【未就学 問9-1】

- 未就学は、「祖父母等の親族」が82.0%と最も高く、次いで「友人や知人」が77.0%、「保育士」が20.3%と続いています。
- 未就園児の場合は、「祖父母等の親族」が86.3%と最も高く、次いで「友人や知人」が74.9%、「近所の人」が20.0%と続いており、「子育て支援センター」は18.7%となっています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



## 2. 保護者の就労状況

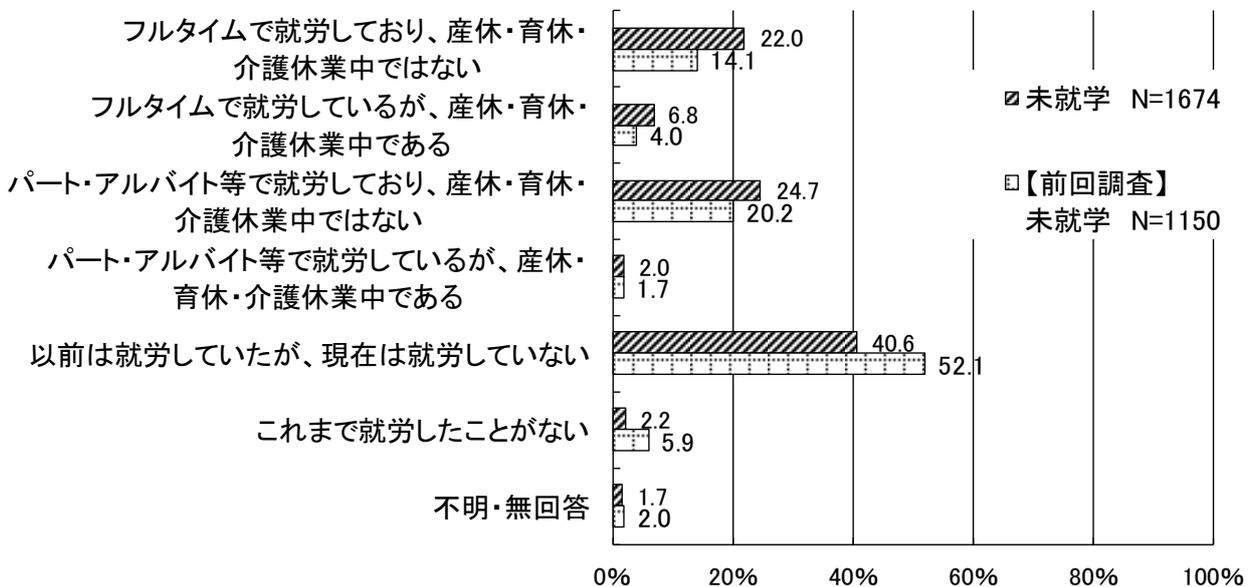
(1)

お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(○は1つ)  
【未就学 問10】【低学年 問8】

- 未就学の母親は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が40.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.7%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.0%と続いています。
- お住まいの小学校区別で見ると、フルタイムで就労している割合は、相武台東で35.7%、東原で34.2%と比較的高く、パート・アルバイト等で就労している割合は、旭で42.4%、ひばりが丘で34.5%と比較的高くなっています。

### ①母親

【未就学】



【未就学 お住まいの小学校区別】

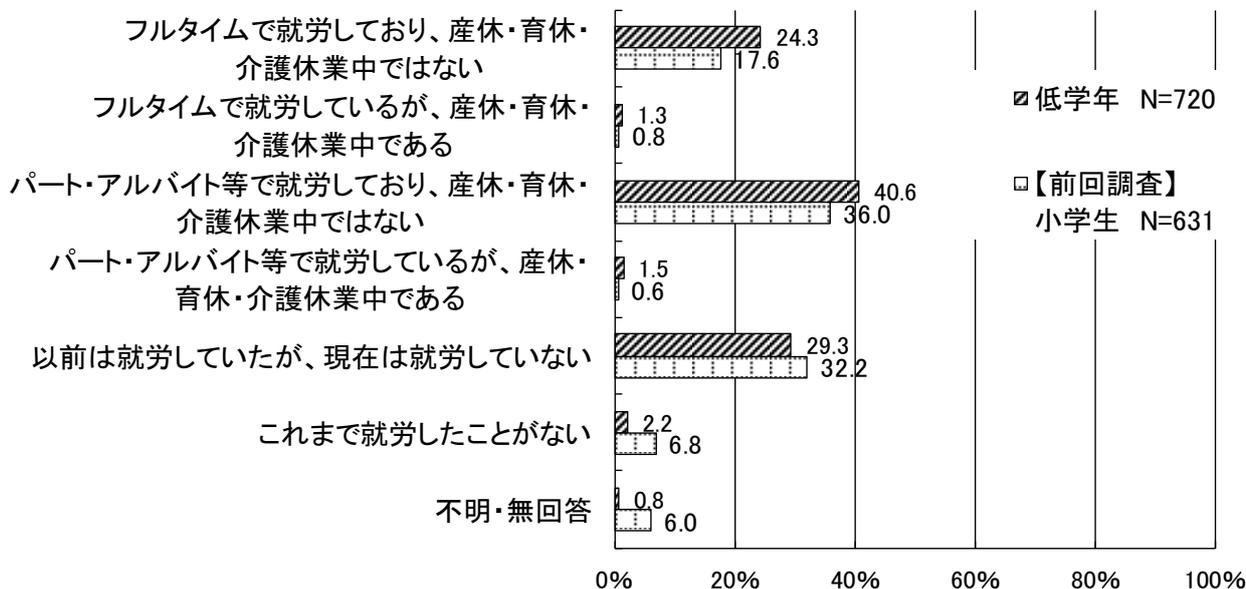
		回答者数	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	不明・無回答
全体		1674	22.0%	6.8%	24.7%	2.0%	40.6%	2.2%	1.7%
お住まいの小学校区	座間	218	16.1%	5.5%	26.6%	3.2%	45.0%	1.8%	1.8%
	栗原	182	22.0%	6.0%	20.3%	2.2%	44.6%	3.3%	1.6%
	相模野	81	21.0%	9.9%	27.2%	0.0%	37.0%	3.7%	1.2%
	相武台東	185	26.5%	9.2%	20.5%	0.5%	40.0%	2.2%	1.1%
	ひばりが丘	110	17.3%	3.6%	31.8%	2.7%	38.3%	2.7%	3.6%
	東原	146	27.4%	6.8%	21.9%	2.7%	35.7%	4.1%	1.4%
	相模が丘	204	25.0%	6.9%	21.6%	2.0%	41.0%	2.0%	1.5%
	立野台	177	24.9%	6.2%	27.1%	1.7%	38.9%	0.6%	0.6%
	入谷	134	19.4%	7.5%	20.9%	2.2%	46.3%	2.2%	1.5%
	旭	80	13.8%	7.5%	38.6%	3.8%	31.3%	0.0%	5.0%
中原	77	20.8%	5.2%	24.7%	1.3%	48.0%	0.0%	0.0%	

- 未就学のお子さんの年齢別で見ると、フルタイムで就労している割合は、0～2歳で比較的高く、一方、パート・アルバイト等で就労している割合は、3～5歳で比較的高くなっています。
- 低学年の母親は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.6%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.3%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.3%と続いています。
- 未就学、低学年のいずれも、就労している母親の割合が上昇しています。

【未就学 お子さんの年齢別】

		回答者数	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	不明・無回答
全体		1674	22.0%	6.8%	24.7%	2.0%	40.6%	2.2%	1.7%
お子さんの年齢	0歳	293	13.7%	20.5%	11.6%	3.4%	47.0%	2.4%	1.4%
	1歳	273	26.7%	4.4%	15.4%	3.3%	47.6%	1.5%	1.1%
	2歳	270	26.3%	7.4%	19.6%	1.5%	42.6%	1.5%	1.1%
	3歳	283	21.2%	3.2%	30.0%	1.1%	41.0%	1.4%	2.1%
	4歳	272	24.3%	3.3%	35.7%	2.2%	30.9%	2.9%	0.7%
	5歳	240	21.7%	0.8%	37.1%	0.8%	34.6%	2.5%	2.5%

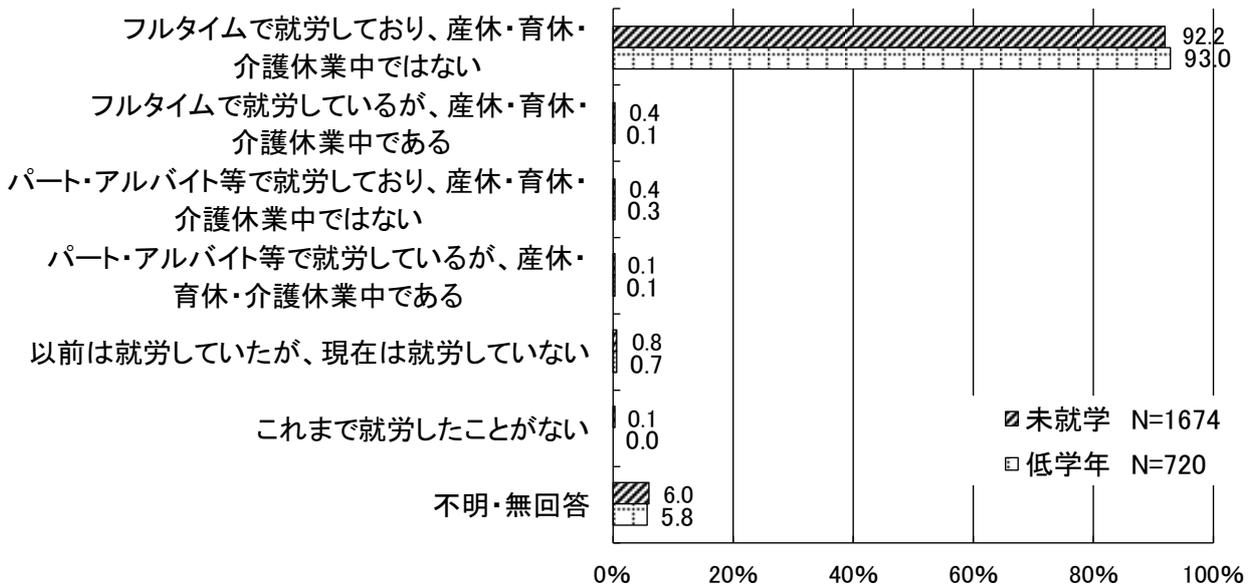
【低学年】



- 父親は、未就学、低学年のいずれも、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が90%以上となっています。
- 未就学の家庭類型（保護者の就労状況等で家庭を分類したもの）を見ると、【現在】は「D（専業主婦（夫）」が40.9%と最も高く、次いで「B（フルタイム×フルタイム）」が26.0%、「C'（フルタイム×パートタイム月64時間未満等）」が14.0%と続いています。

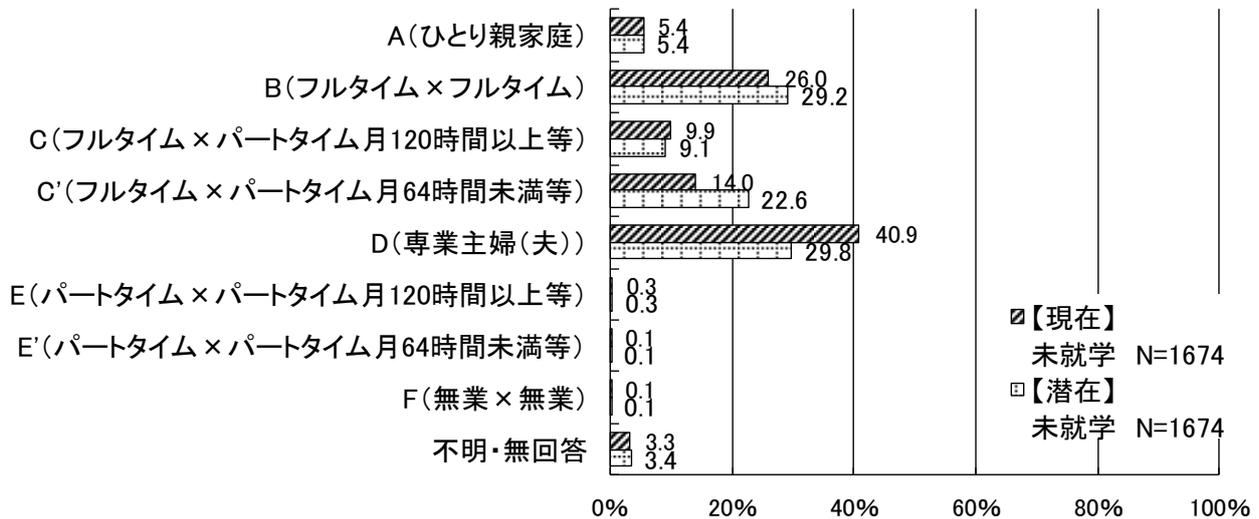
## ②父親

### 【未就学】【低学年】



## ③家庭類型※

### 【未就学】



※家庭類型は、国の「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き（平成26年1月）」に基づき、調査に回答した保護者における配偶者の有無や就労状況等で、家庭を8種類のタイプに分類したものです。

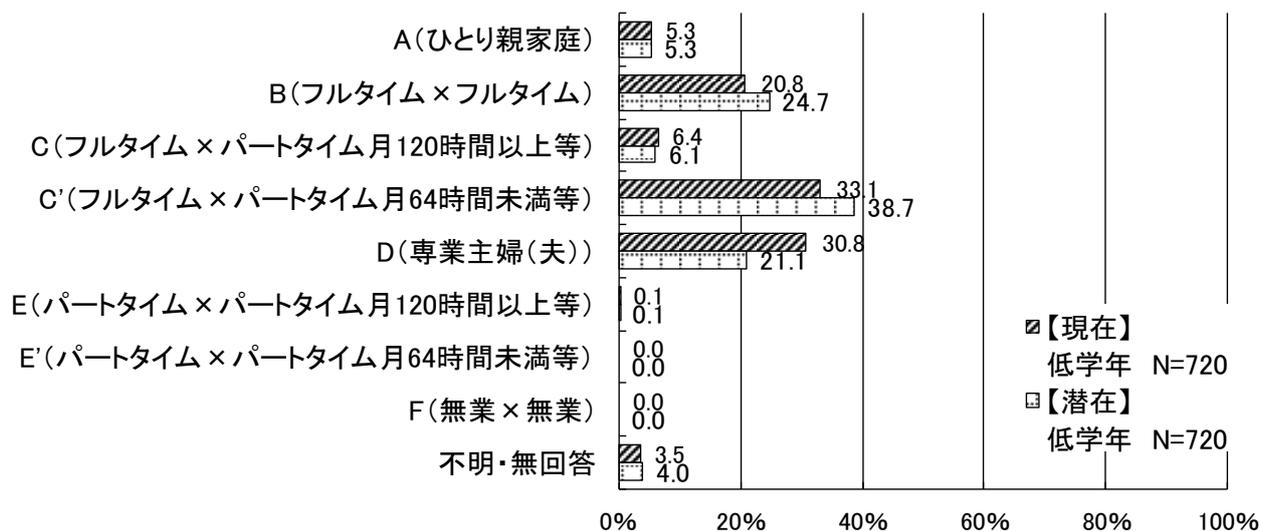
【現在】は現在の状況で、【潜在】は保護者の今後の就労意向（フルタイムに転換したい、就労したい等）を反映したものとなっており、パートタイム就労の場合は、保育短時間（8時間）認定における一月当たり就労時間の下限（本市の場合は月64時間）等で分類しています。

- 未就学の主な家庭類型【現在】をお住まいの小学校区別で見ると、いずれの校区も「D(専業主婦(夫))」が最も高くなっており、相武台東と相模が丘は、両親ともにフルタイム就労の「B(フルタイム×フルタイム)」とC(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭を合わせた割合が、2校区とも40%以上と比較的高くなっています。
- 低学年の家庭類型を見ると、【現在】は「C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)」が33.1%、「D(専業主婦(夫))」が30.8%とこれらが上位2つで、次いで「B(フルタイム×フルタイム)」が20.8%と続いています。

【未就学 主な家庭類型【現在】 お住まいの小学校区別】

		回答者数	A(ひとり親家庭)	B(フルタイム×フルタイム)	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	D(専業主婦(夫))
全体		1674	5.4%	26.0%	9.9%	14.0%	40.9%
お住まいの小学校区	座間	218	8.7%	18.8%	7.3%	16.5%	43.6%
	栗原	182	8.8%	23.6%	8.8%	12.6%	42.9%
	相模野	81	4.9%	28.4%	6.2%	18.5%	39.5%
	相武台東	185	1.6%	35.1%	8.1%	11.4%	41.1%
	ひばりが丘	110	6.4%	16.4%	16.4%	15.5%	40.8%
	東原	146	4.1%	30.1%	8.9%	14.4%	39.7%
	相模が丘	204	3.9%	28.9%	14.2%	7.8%	42.7%
	立野台	177	7.3%	27.1%	7.9%	15.8%	40.2%
	入谷	134	3.0%	26.1%	8.2%	12.7%	44.8%
	旭	80	2.5%	21.3%	12.5%	25.0%	29.9%
	中原	77	6.5%	26.0%	9.1%	13.0%	42.8%

【低学年】



- 低学年の主な家庭類型【現在】をお住まいの小学校区別で見ると、相模野や相模が丘は両親ともにフルタイム就労の「B(フルタイム×フルタイム)」の家庭が約30%と比較的高くなっており、中原と相模が丘は、両親ともにフルタイム就労の「B(フルタイム×フルタイム)」とC(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭を合わせた割合が比較的高くなっています。

【低学年 主な家庭類型【現在】 お住まいの小学校区別】

		回答者数	A(ひとり親家庭)	B(フルタイム×フルタイム)	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	D(いずれか家事専業)
全体		720	5.3%	20.8%	6.4%	33.1%	30.8%
お住まいの小学校区	座間	111	8.1%	11.7%	9.0%	34.3%	34.2%
	栗原	73	5.5%	19.2%	1.4%	37.0%	34.2%
	相模野	55	1.8%	29.1%	0.0%	32.7%	27.3%
	相武台東	61	8.2%	21.3%	1.6%	32.9%	31.1%
	ひばりが丘	42	4.8%	16.7%	4.8%	35.6%	35.7%
	東原	75	6.7%	21.3%	10.7%	24.0%	30.6%
	相模が丘	75	4.0%	28.0%	8.0%	33.4%	25.3%
	立野台	86	5.8%	24.4%	4.7%	37.2%	26.7%
	入谷	61	3.3%	18.0%	9.8%	31.1%	32.9%
	旭	32	0.0%	15.6%	3.1%	43.8%	37.5%
	中原	47	4.3%	25.5%	14.9%	23.4%	27.6%

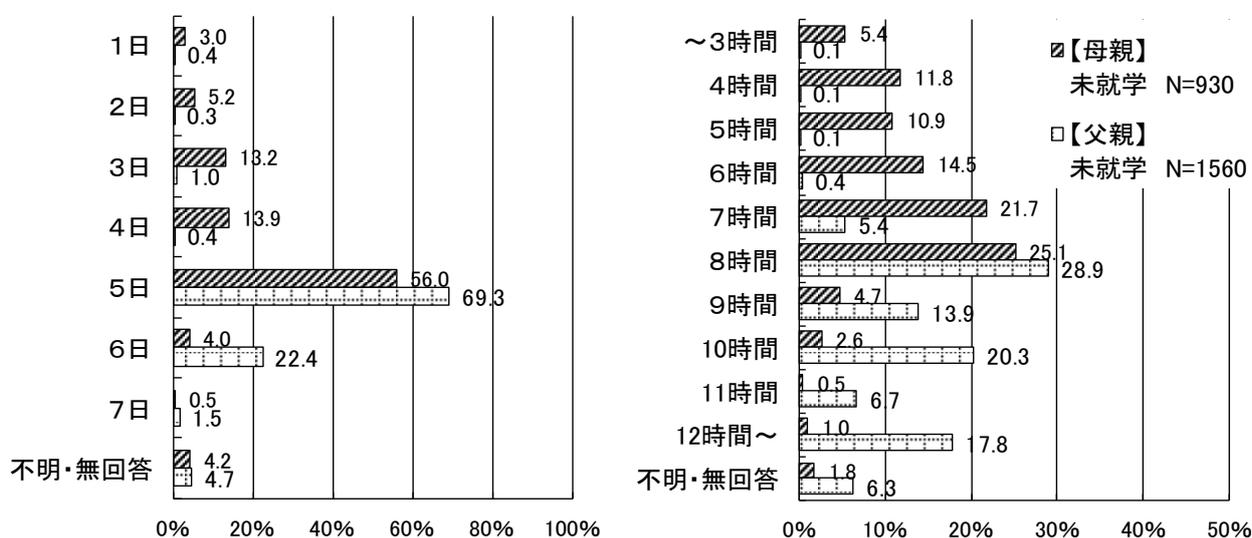
(2)

1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)を、枠内に数字で記入してください。【未就学 問10-1】【低学年 問8-1】

- 未就学の母親は、1週当たりの就労日数は「5日」が56.0%と最も高く、次いで「4日」が13.9%、「3日」が13.2%と続いています。1日当たりの就労時間は「8時間」が25.1%と最も高く、次いで「7時間」が21.7%、「6時間」が14.5%と続いています。
- 未就学の父親は、「5日」が69.3%と最も高く、次いで「6日」が22.4%、「7日」が1.5%と続いています。1日当たりの就労時間は「8時間」が28.9%と最も高く、次いで「10時間」が20.3%、「12時間～」が17.8%と続いています。

【未就学】

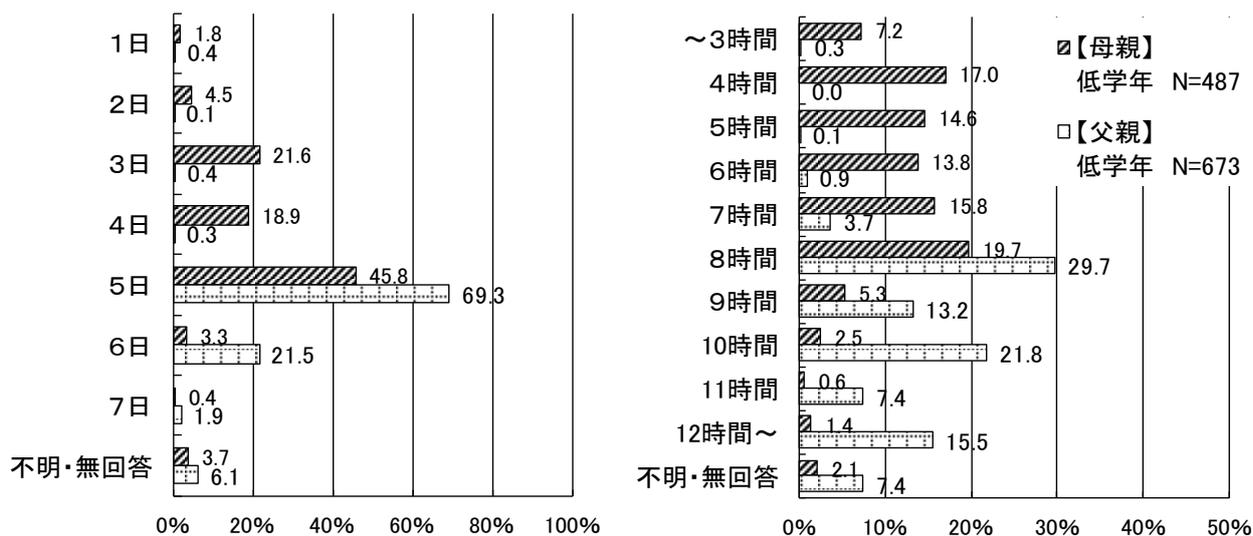
◇ 1週当たり就労日数・1日当たり就労時間



- 低学年の母親は、「5日」が45.8%と最も高く、次いで「3日」が21.6%、「4日」が18.9%と続いています。1日当たりの就労時間は「8時間」が19.7%、「4時間」が17.0%とこれらが上位2つで、次いで「7時間」が15.8%と続いています。
- 低学年の父親は、「5日」が69.3%と最も高く、次いで「6日」が21.5%、「7日」が1.9%と続いています。1日当たりの就労時間は「8時間」が29.7%と最も高く、次いで「10時間」が21.8%、「12時間～」が15.5%と続いています。

【低学年】

◇1週当たり就労日数・1日当たり就労時間



(3)

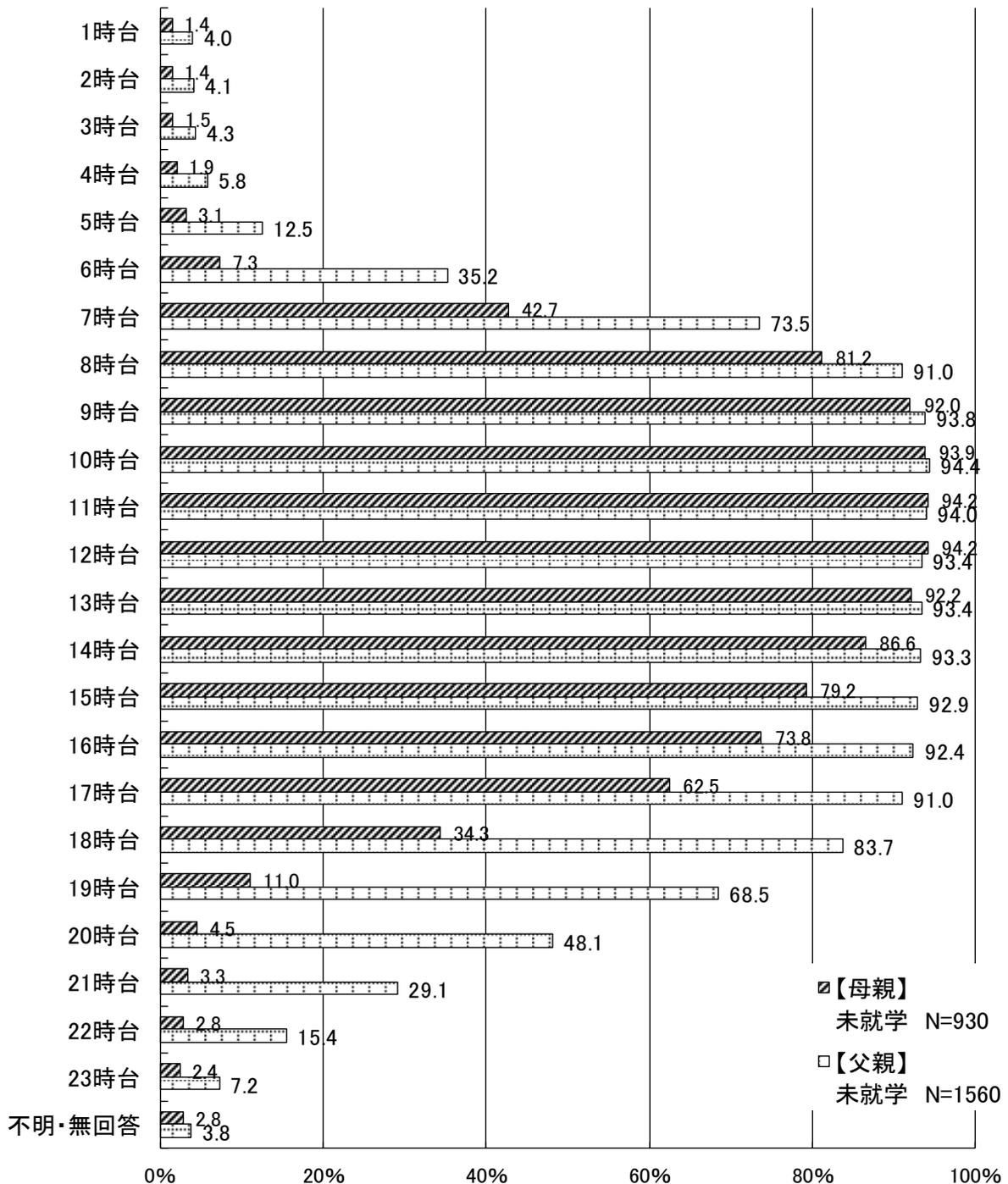
家を出る時刻と帰宅時刻について、枠内に数字で記入してください。(各時刻で、就労で外出している方の割合を計算)

【未就学 問10-1】【低学年 問8-1】

- 未就学は、母親は「8時台」から「17時台」、父親は「7時台」から「19時台」にかけて、半数(50%)以上の方が就労のために外出しており、父親は「20時台」で48.1%、「21時台」で29.1%が外出している状況です。

【未就学】

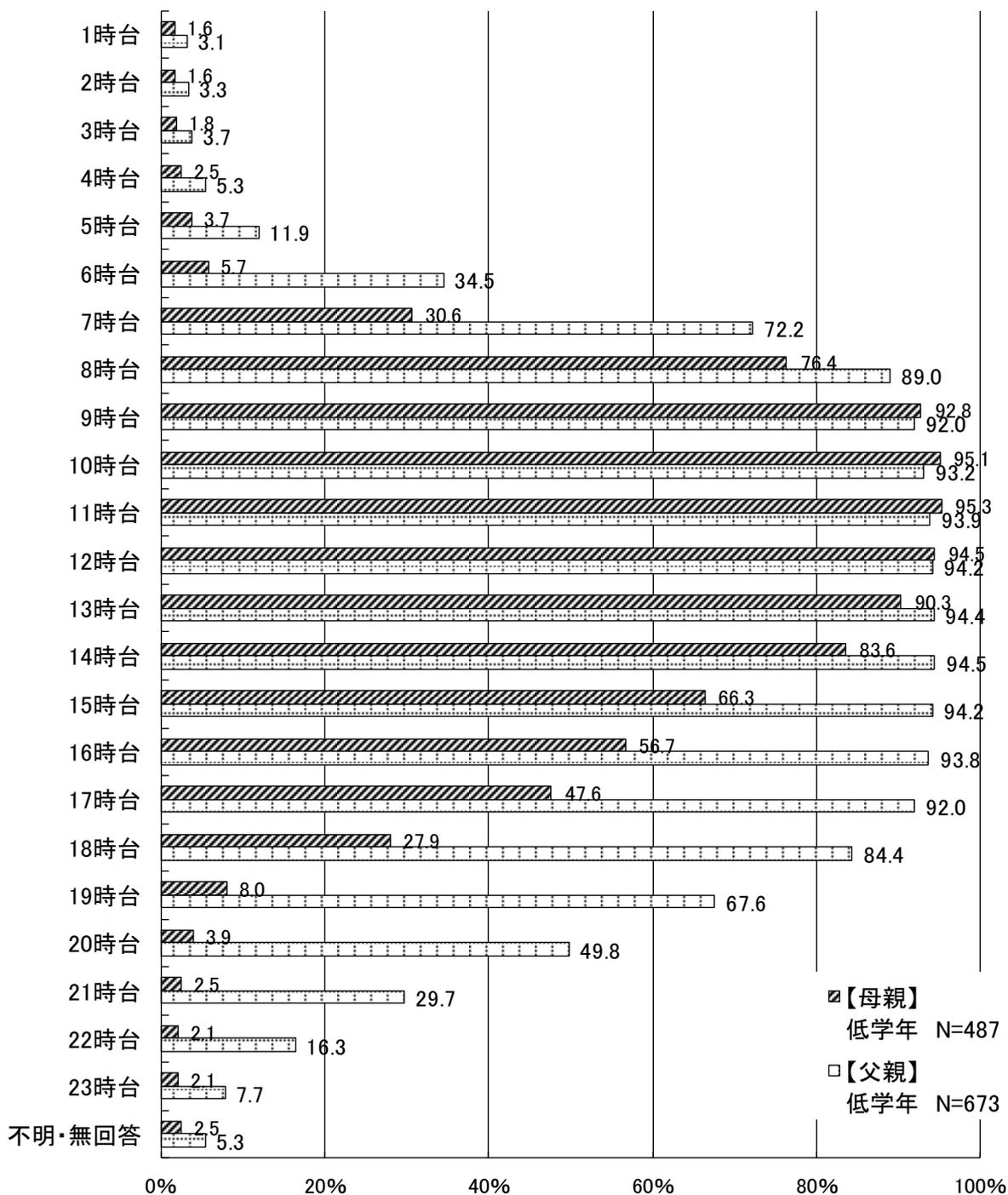
◇就労で外出している方の割合



- 低学年は、母親は「8時台」から「16時台」、父親は「7時台」から「19時台」にかけて、半数(50%)以上の方が就労のために外出しており、父親は「20時台」で49.8%、「21時台」で29.7%が外出している状況です。

【低学年】

◇就労で外出している方の割合



(4)

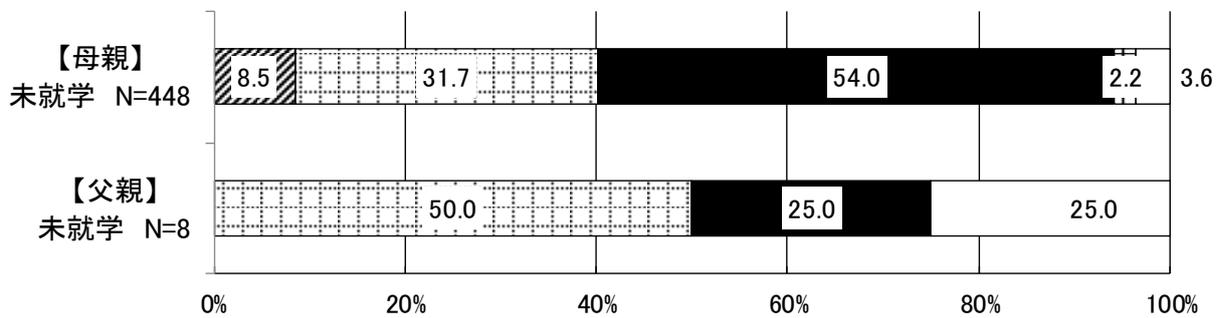
パート・アルバイト等で就労している方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

【未就学 問11】【低学年 問9】

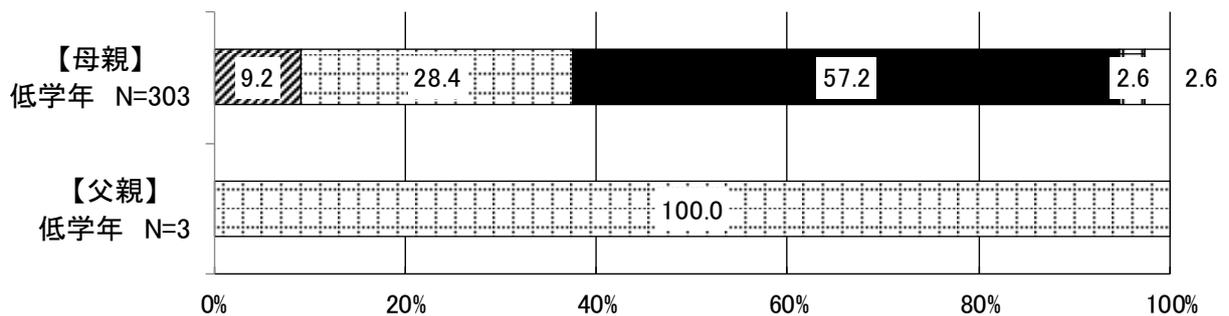
- 未就学の母親は、「今のまま(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望」が54.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が31.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.5%と続いています。
- 低学年の母親は、「今のまま(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望」が57.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.4%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.2%と続いています。

【未就学】



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 今のまま(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望
- 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
- 不明・無回答

【低学年】

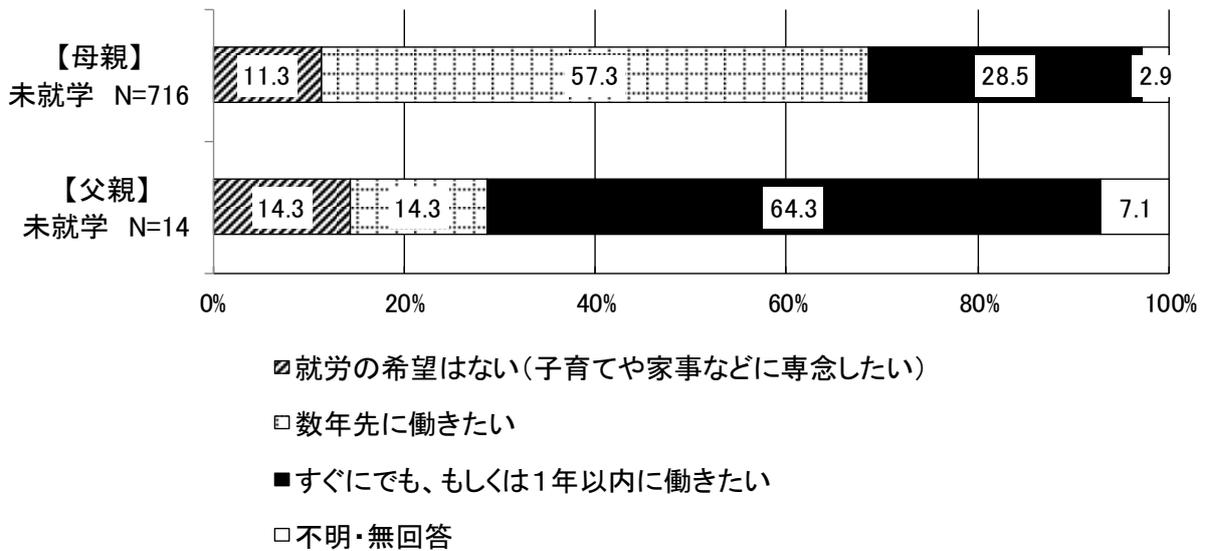


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 今のまま(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望
- 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
- 不明・無回答

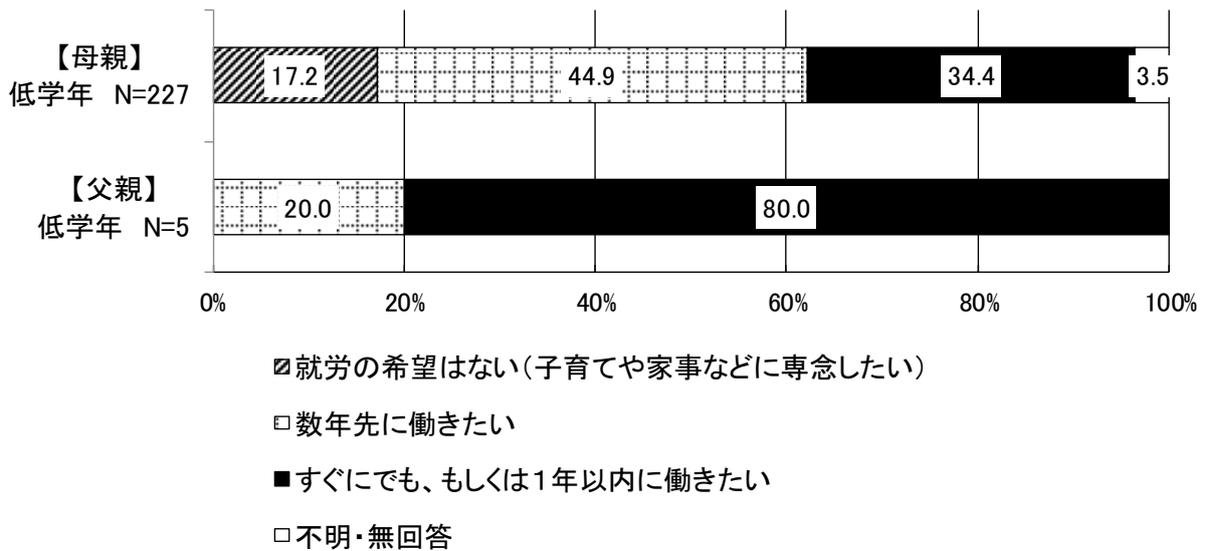
(5) 就労していない方にうかがいます。  
 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)  
 【未就学 問12】【低学年 問10】

- 未就学の母親は、「数年先に働きたい」が57.3%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が28.5%、「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したい)」が11.3%と続いています。
- 低学年の母親は、「数年先に働きたい」が44.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が34.4%、「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したい)」が17.2%と続いています。

【未就学】



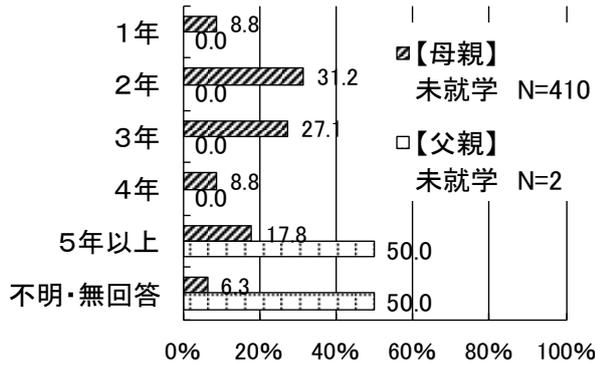
【低学年】



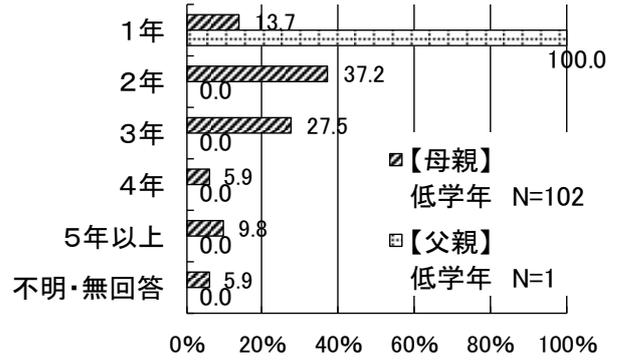
(6) (5)で「数年先に働きたい」に○をつけた方にうかがいます。  
 何年先の就労を希望しますか。(枠内に数字で記入)  
 【未就学 問12-1】【低学年 問10-1】

- 未就学の母親は、「2年」が31.2%と最も高く、次いで「3年」が27.1%、「5年以上」が17.8%と続いています。
- 低学年の母親は、「2年」が37.2%と最も高く、次いで「3年」が27.5%、「1年」が13.7%と続いています。

【未就学】



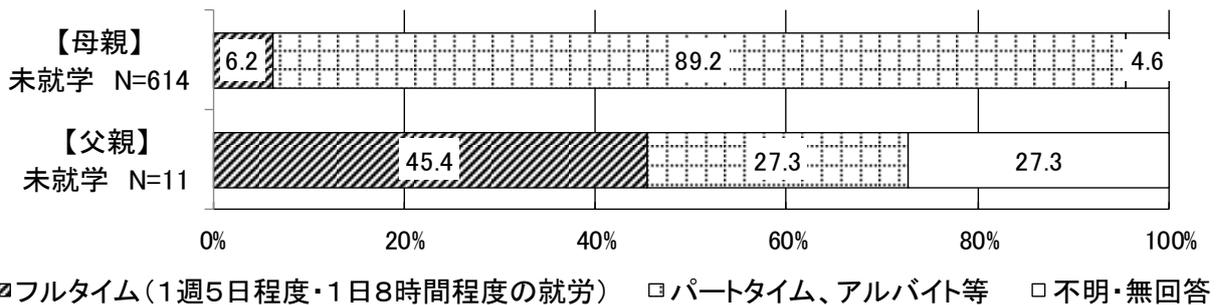
【低学年】



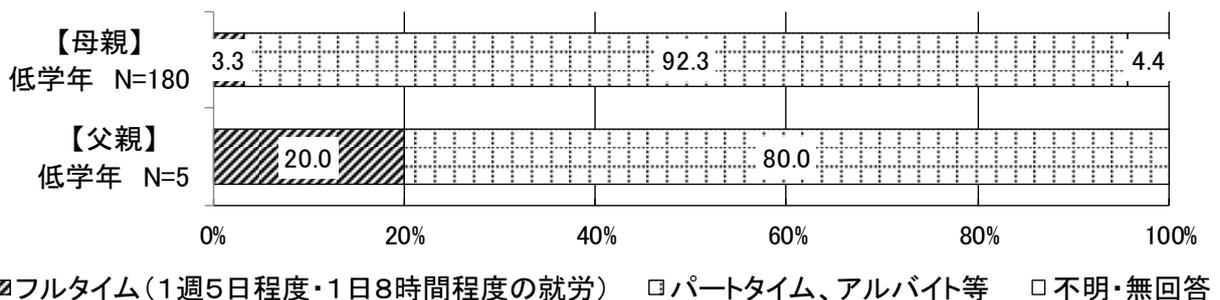
(7) (5)で「数年先に働きたい」又は「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」に○をつけた方にうかがいます。  
 いずれの就労形態を希望しますか。(○は1つ。枠内に数字で記入)  
 【未就学 問12-2】【低学年 問10-2】

- 未就学の母親は、「パートタイム、アルバイト等」が89.2%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が6.2%となっています。
- 低学年の母親は、「パートタイム、アルバイト等」が92.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が3.3%となっています。

【未就学】



【低学年】



(8)

(7)で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

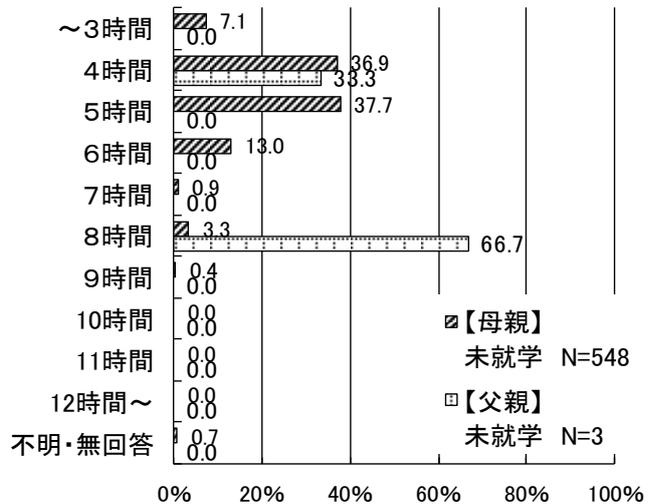
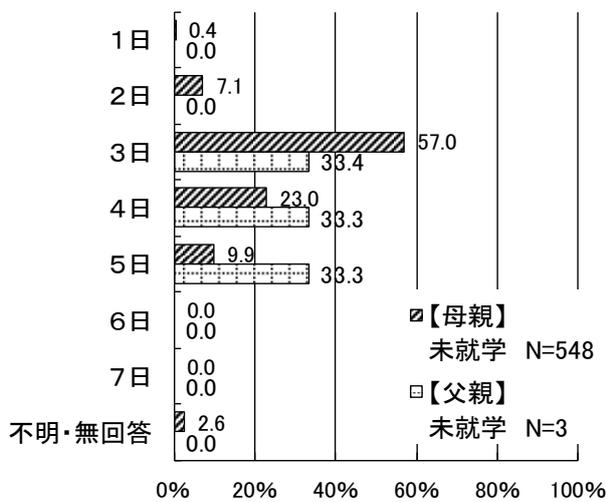
1週当たり日数と1日当たり時間を枠内に数字で記入

【未就学 問12-2】【低学年 問10-2】

- 未就学の母親は、1週当たり「3日」が57.0%と最も高く、次いで「4日」が23.0%、「5日」が9.9%と続いています。1日当たり時間は、「5時間」が37.7%、「4時間」が36.9%とこれらが上位2つで、次いで「6時間」が13.0%と続いています。
- 低学年の母親は、1週当たり「3日」が62.7%と最も高く、次いで「4日」が19.3%、「5日」が9.6%と続いています。1日当たり時間は、「5時間」が43.5%と最も高く、次いで「4時間」が33.7%、「6時間」が9.6%と続いています。

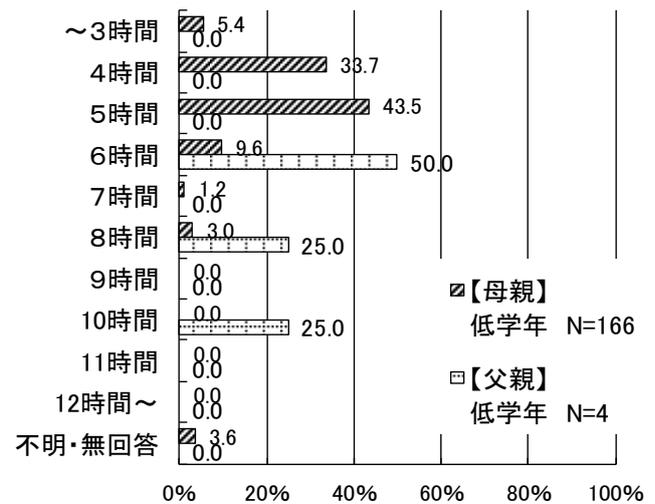
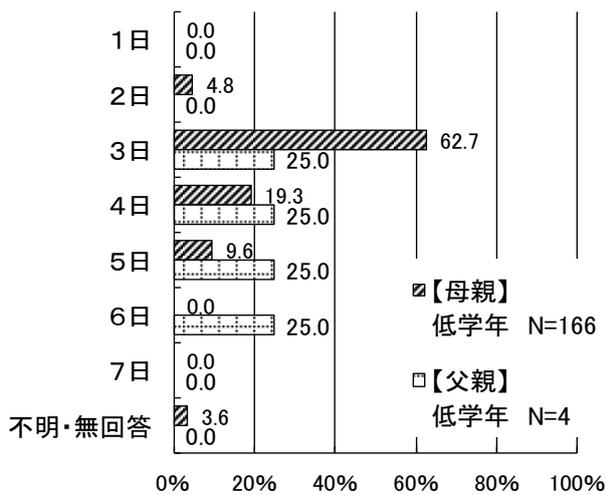
【未就学】

◇1週当たり日数・1日当たり時間



【低学年】

◇1週当たり日数・1日当たり時間



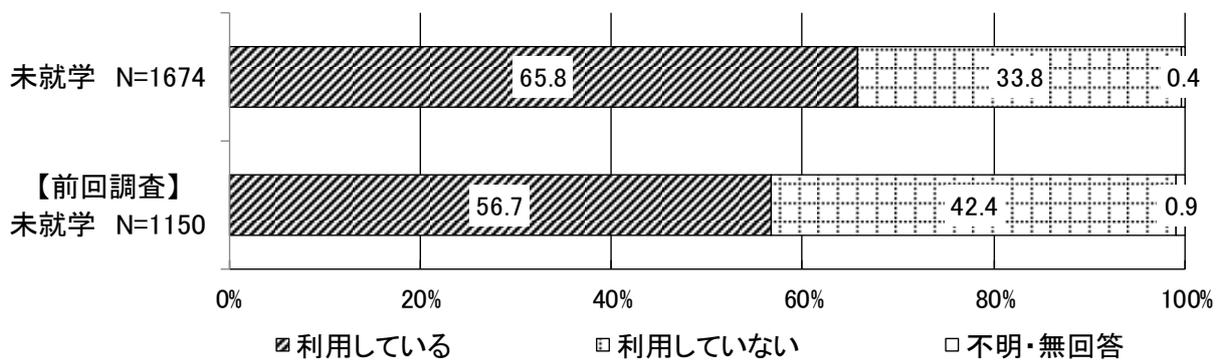
### 3. 平日の幼稚園、保育園、認定こども園などの利用【未就学のみ】

(1)

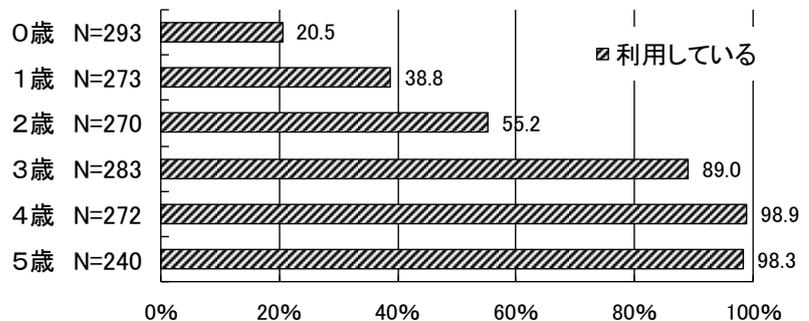
お子さんは現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に利用していますか。  
(○は1つ)【未就学 問13】

- 「利用している」が65.8%、「利用していない」が33.8%となっており、前回調査と比べて利用率が上昇しています。
- 各歳別の利用率を見ると、0歳は20.5%となっており、2歳以降は半数(50%)以上が利用している状況です。
- 主な家庭類型【現在】別の利用率を見ると、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭が89.7%と最も高く、次いでB(フルタイム×フルタイム)が81.7%と続いています。

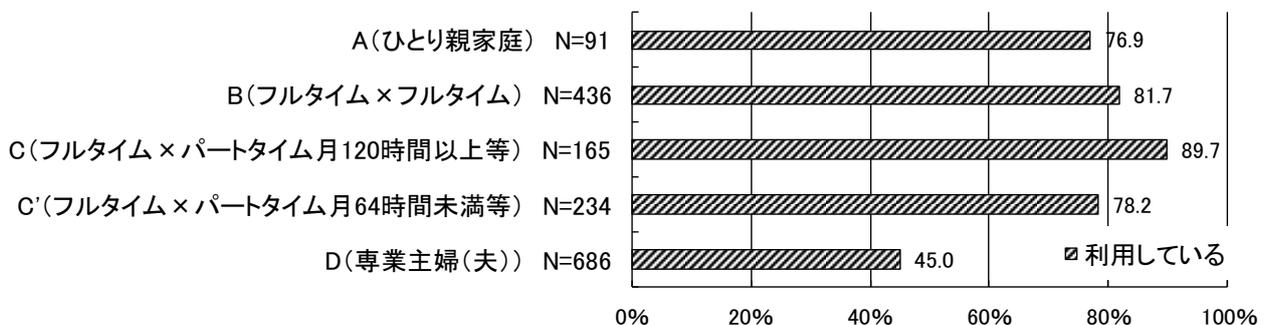
【未就学】



【未就学 各歳別 利用率】



【未就学 主な家庭類型【現在】別】



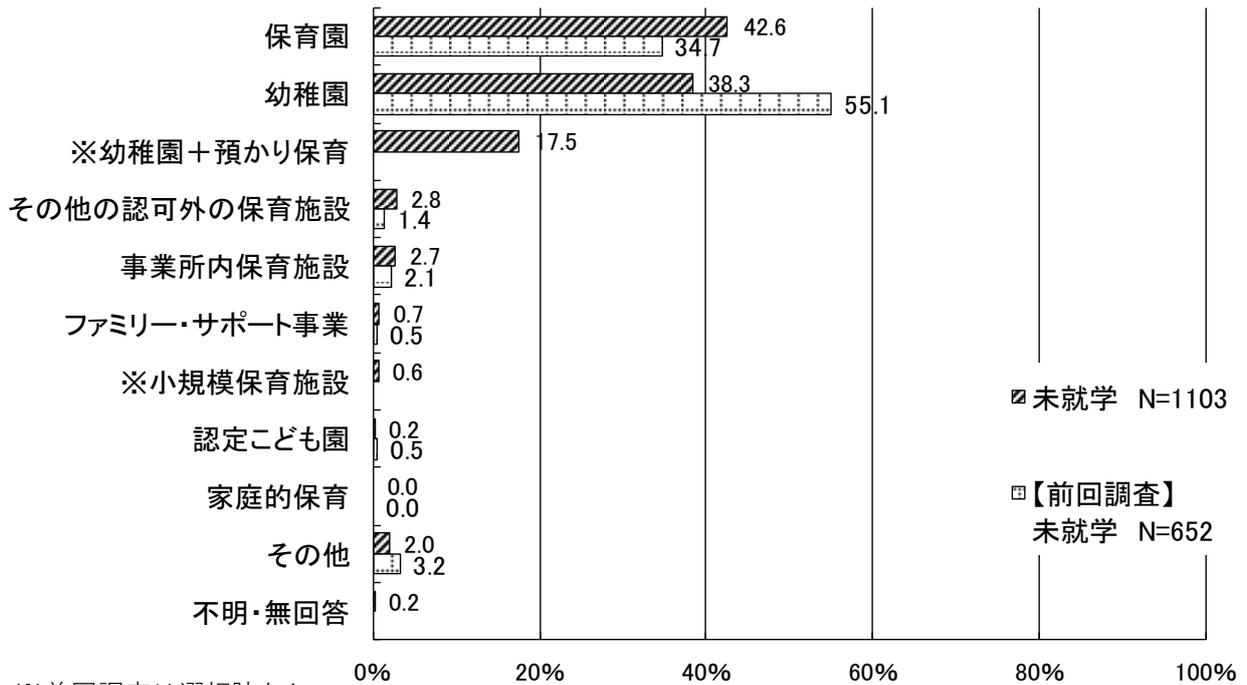
(2)

(1)で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

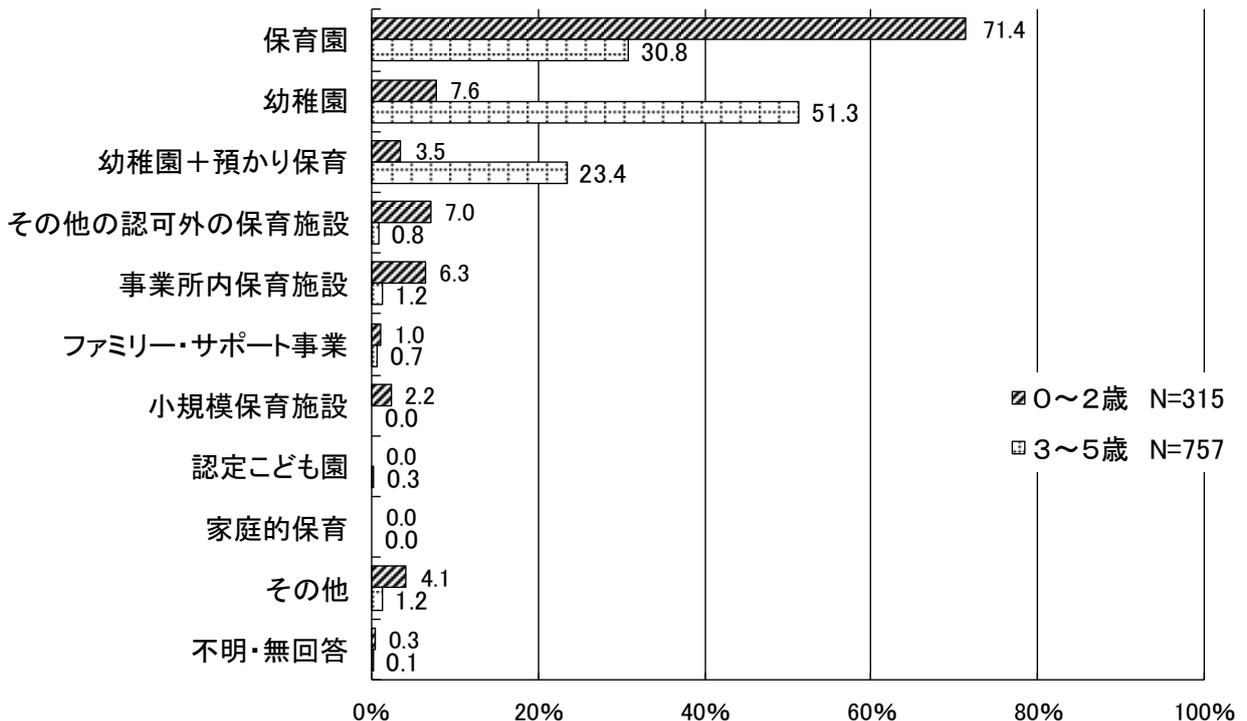
お子さんが、年間を通じて平日に「定期的に」利用している施設や事業をお答えください。  
(○はいくつでも)【未就学 問13-1】

- 「保育園」が42.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が38.3%、「幼稚園+預かり保育」が17.5%と続いています。
- 年齢区分別で見ると、0~2歳では「保育園」が71.4%、3~5歳では「幼稚園」が51.3%とそれぞれ最も高くなっています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



【未就学 年齢区分別】



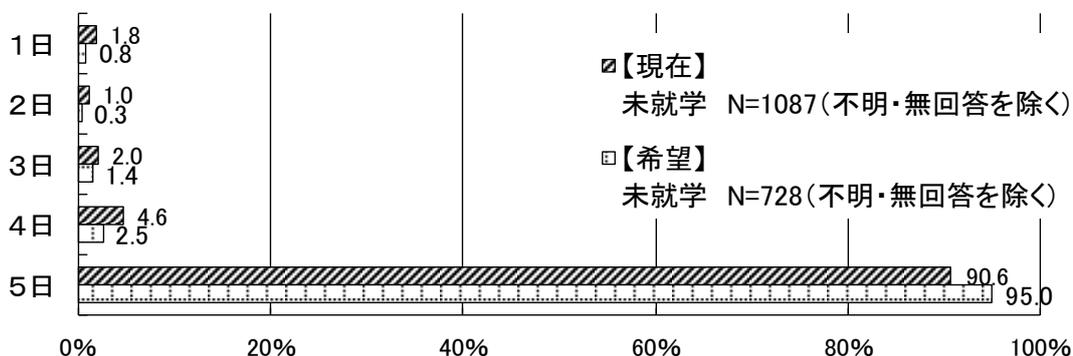
(3)

(1)で「利用している」に○をつけた方にかがいます。  
平日に定期的に利用している幼稚園、保育園、認定こども園などをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。  
【未就学 問13-1】

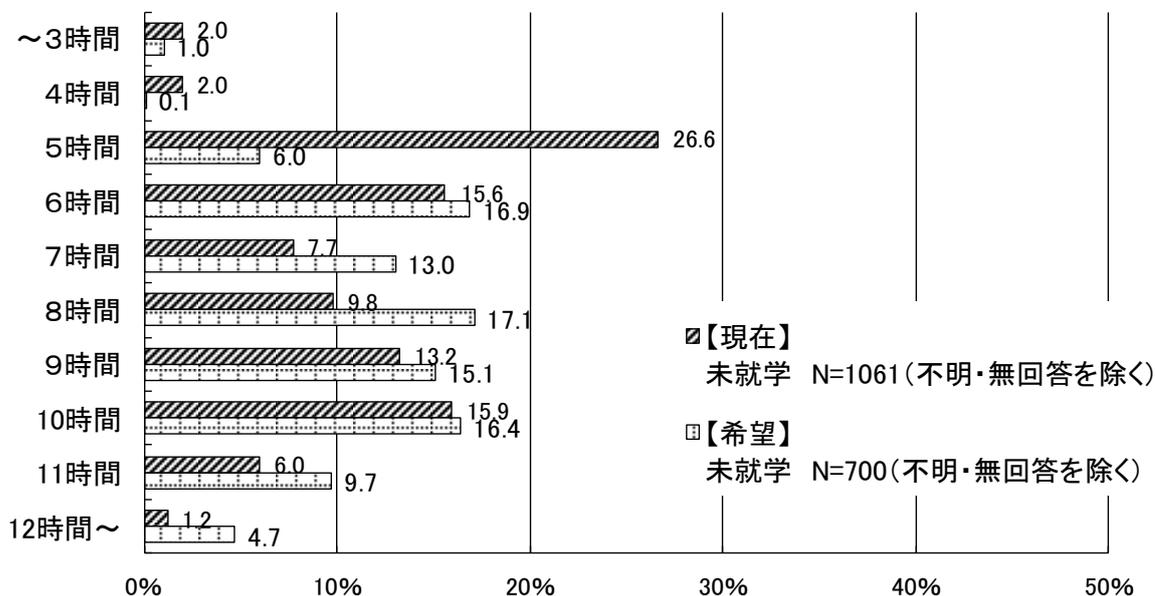
- 現在は、1週当たり「5日」が90.6%と最も高く、次いで「4日」が4.6%、「3日」が2.0%と続いています。1日当たり時間は「5時間」が26.6%と最も高く、次いで「10時間」が15.9%、「6時間」が15.6%と続いています。
- 希望は、1週当たり「5日」が95.0%と最も高く、次いで「4日」が2.5%、「3日」が1.4%と続いています。1日当たり時間は「8時間」が17.1%、「6時間」が16.9%とこれらが上位2つで、次いで「10時間」が16.4%と続いています。

【未就学】

◇1週当たり日数



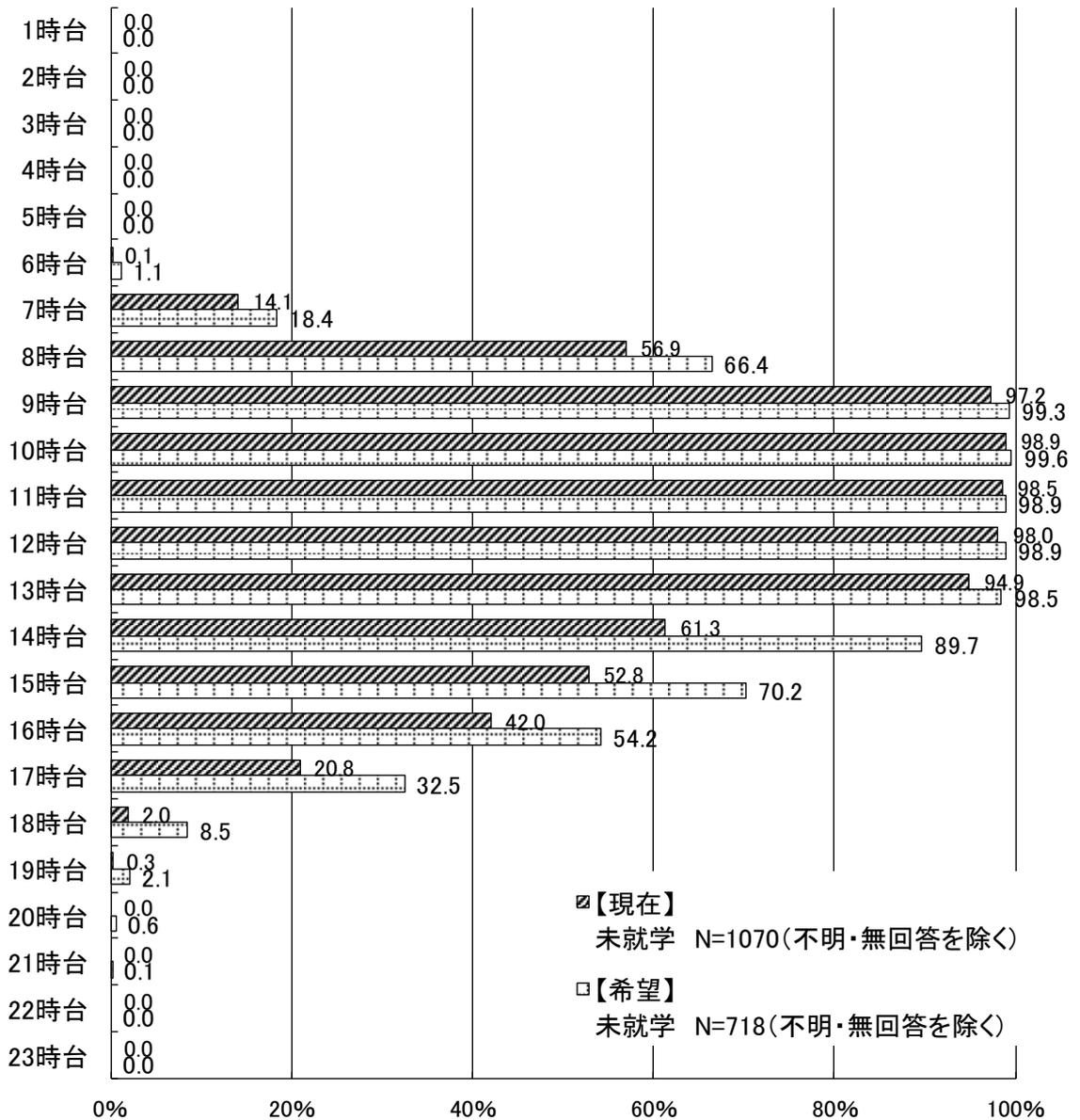
◇1日当たり時間



- 利用時間帯は、「14時台」以降などで希望の割合が現在を上回っており、特に「14時台」を希望する割合は89.7%と、現在の61.3%を大幅に上回る結果となっています。

【未就学】

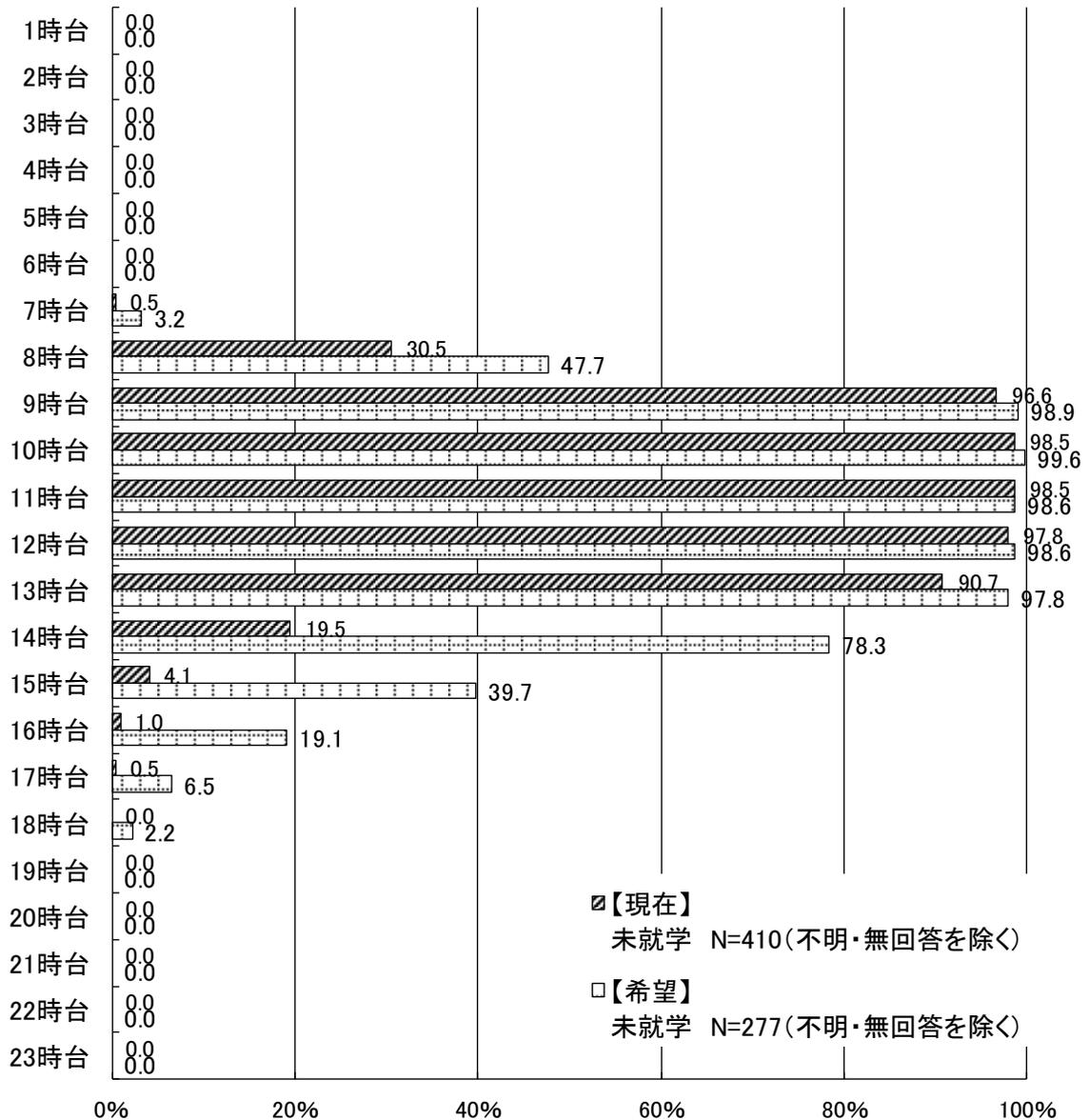
◇利用時間帯



- 幼稚園利用者の利用時間帯は、「8時台」や「14時台」以降などで希望の割合が現在を上回っており、特に「14時台」を希望する割合は78.3%と、現在の19.5%を大幅に上回る結果となっています。

【未就学 幼稚園利用者】

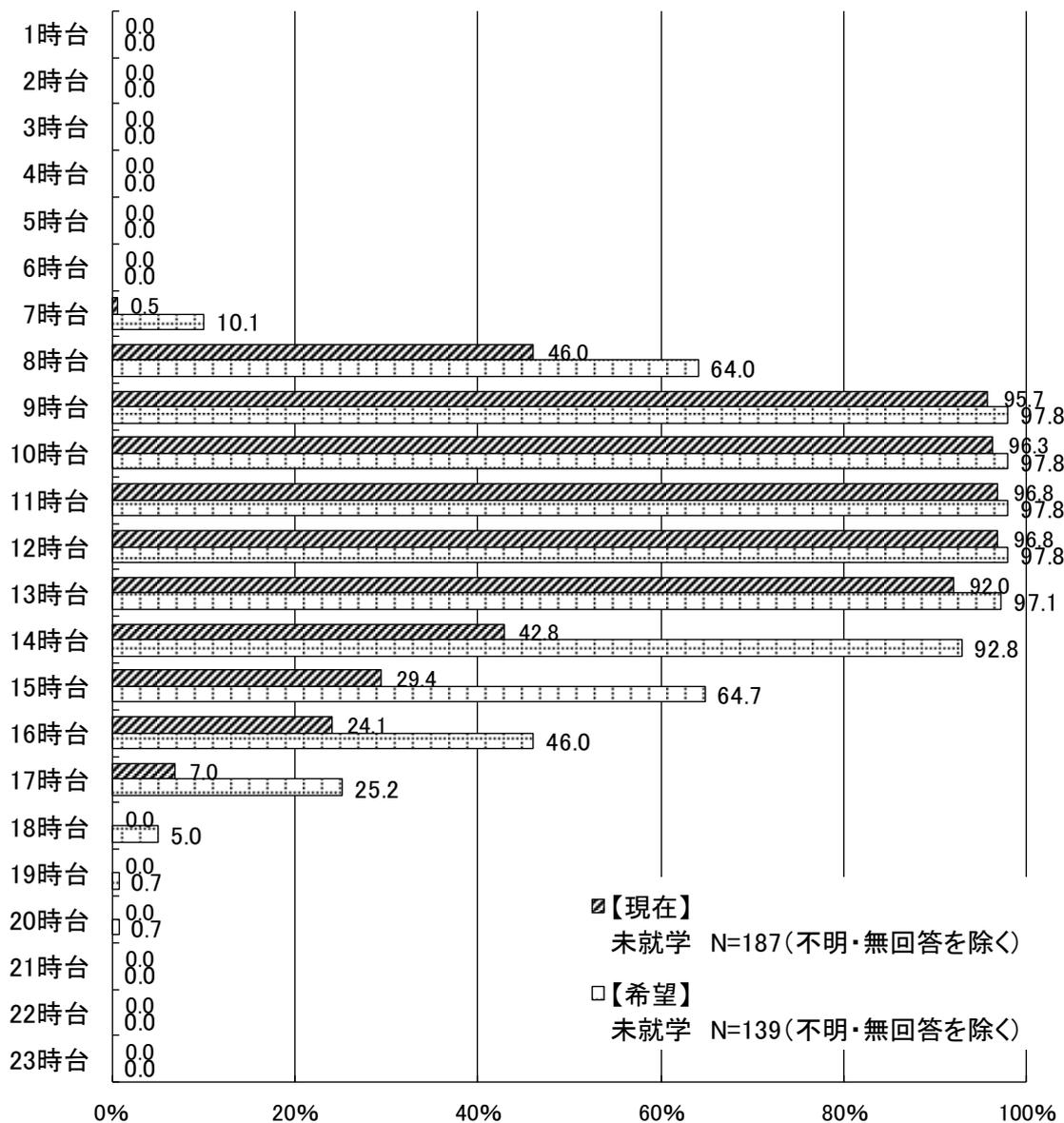
◇利用時間帯



- 幼稚園+預かり保育利用者の利用時間帯は、「8時台」や「14時台」以降などで希望の割合が現在を上回っており、特に「14時台」を希望する割合は92.8%と、現在の42.8%を大幅に上回る結果となっています。

【未就学 幼稚園+預かり保育利用者】

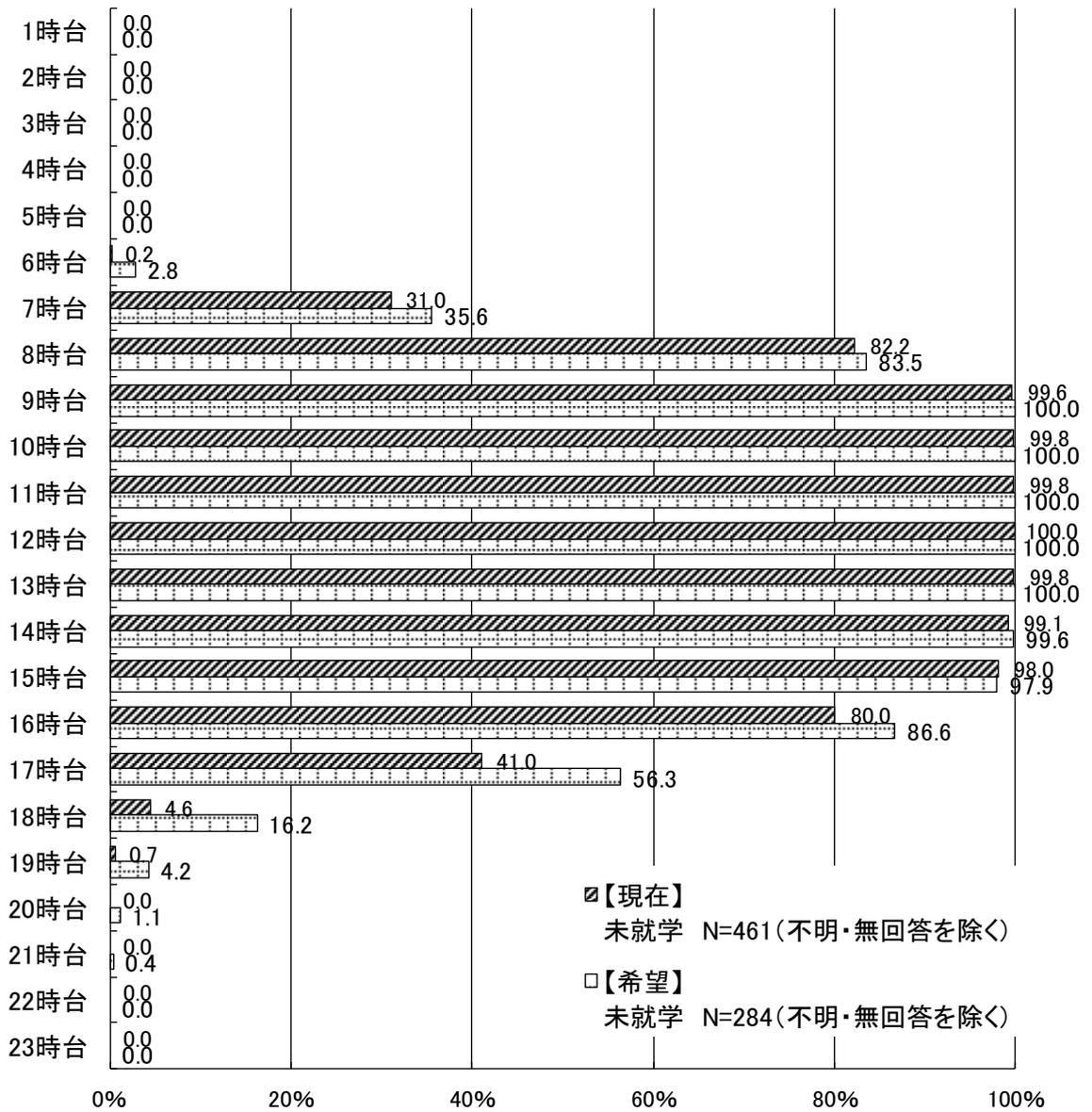
◇利用時間帯



- 保育園利用者の利用時間帯は、「17時台」や「18時台」などで希望の割合が現在を上回っており、「17時台」を希望する割合は56.3%となっています。

【未就学 保育園利用者】

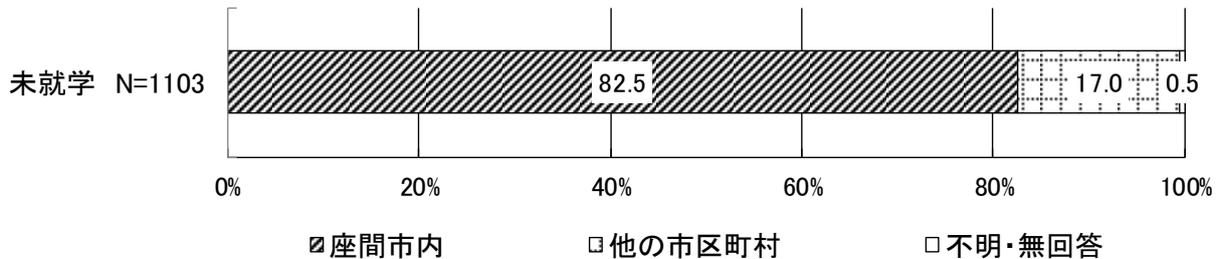
◇利用時間帯



(4) (1)で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
 現在、利用している幼稚園、保育園、認定こども園などの場所をお答えください。  
 (○は1つ)【未就学 問13-1】

- 「座間市内」が82.5%、「他の市区町村」が17.0%となっています。
- 定期利用している主な施設や事業別で見ると、幼稚園や幼稚園+預かり保育は「座間市内」が70%台、保育園は同回答が93.6%、その他の認可外の保育施設は同回答が54.8%、事業所内保育施設は「他の市区町村」が63.3%となっています。

【未就学】



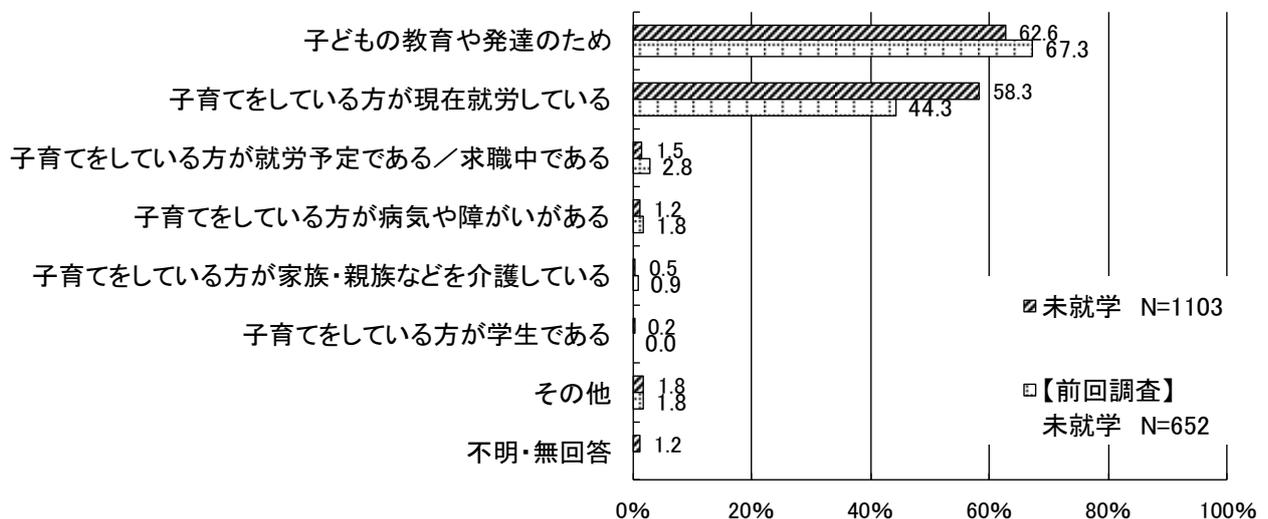
【未就学 定期利用している主な施設や事業別】

	回答者数	座間市内	他の市区町村	不明・無回答
全体	1103	82.5%	17.0%	0.5%
定期利用している主な施設や事業				
幼稚園	423	78.3%	21.0%	0.7%
幼稚園+預かり保育	193	76.6%	21.8%	1.6%
保育園	470	93.6%	6.0%	0.4%
事業所内保育施設	30	36.7%	63.3%	0.0%
その他の認可外の保育施設	31	54.8%	45.2%	0.0%

(5) (1)で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
 平日に定期的に幼稚園、保育園、認定こども園などを利用している理由をお答えください。(○はいくつでも)【未就学 問13-1】

- 「子どもの教育や発達のため」が62.6%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が58.3%と続いており、前回調査と比べて「子育てをしている方が現在就労している」との回答率が上昇しています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



(6)

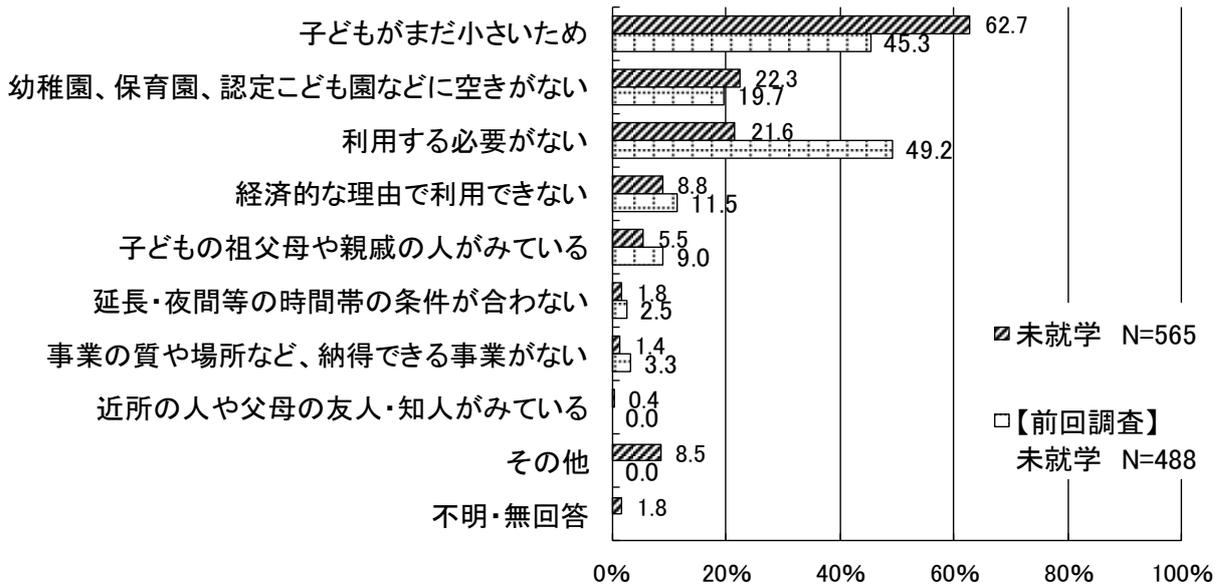
(1)で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

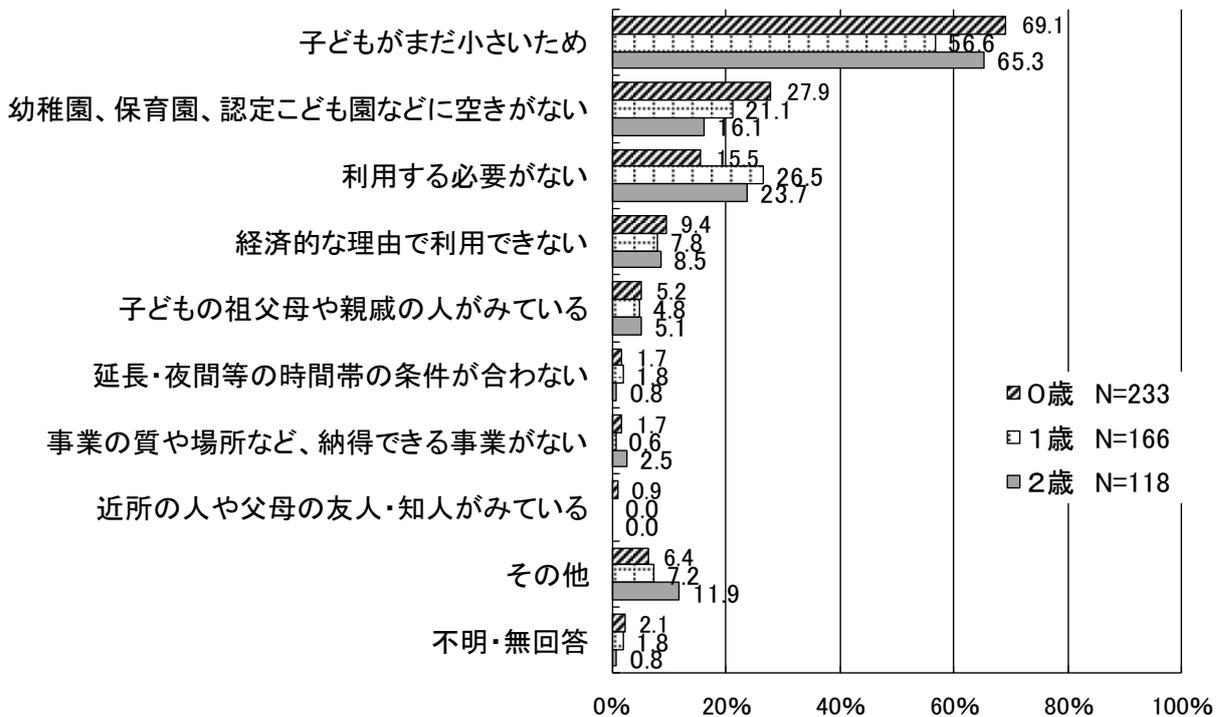
【未就学 問13-2】

- 「子どもがまだ小さいため」が62.7%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園、認定こども園などに空きがない」が22.3%と続いており、前回調査と比べて「利用する必要がない」との回答率が低下している一方、「子どもがまだ小さいため」との回答率が上昇しています。
- 0～2歳の各歳別で見ると、「幼稚園、保育園、認定こども園などに空きがない」との回答は、0歳で27.9%、1歳で21.1%、2歳で16.1%となっています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



【未就学 0～2歳の各歳別】



(7)

お子さんが2歳以下の方のみ、うかがいます。

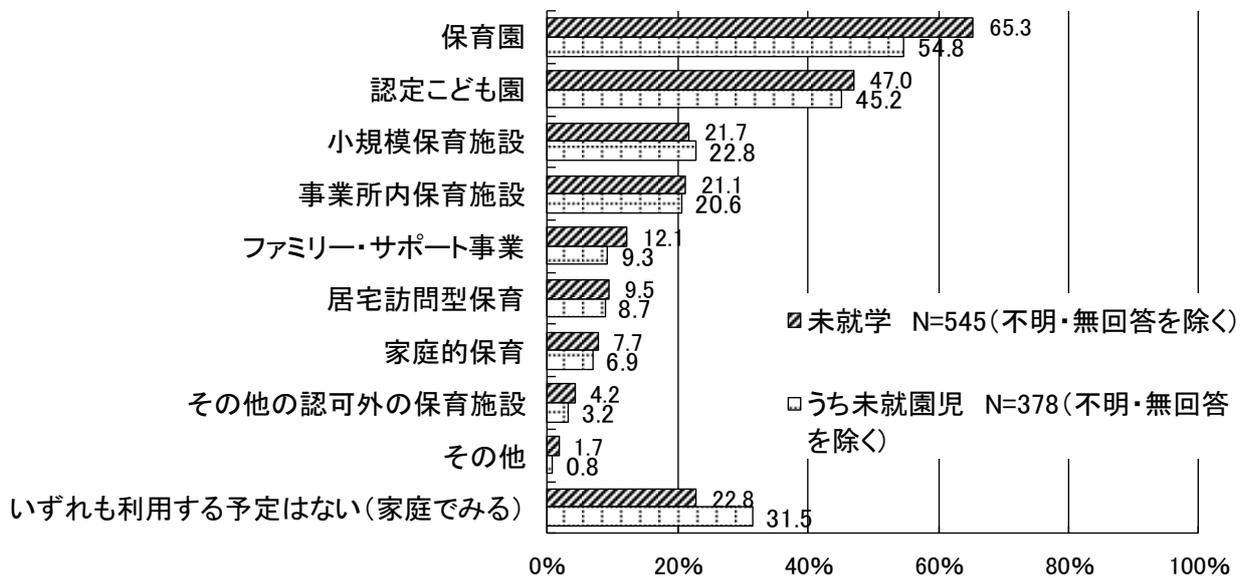
現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが2歳以下のとき、平日に定期的に利用したい(利用を続けたい)事業は何ですか。

【未就学 問14】

- 利用したいものは、「保育園」が65.3%と最も高く、次いで「認定こども園」が47.0%、「いずれも利用する予定はない(家庭でみる)」が22.8%と続いています。
- 未就園児の場合は、「いずれも利用する予定はない(家庭でみる)」が31.5%となっています。
- 最も利用したいものは、「保育園」が51.0%と最も高く、次いで「いずれも利用する予定はない(家庭でみる)」が21.8%、「認定こども園」が17.9%と続いています。
- 未就園児の場合は、「いずれも利用する予定はない(家庭でみる)」が30.9%となっています。

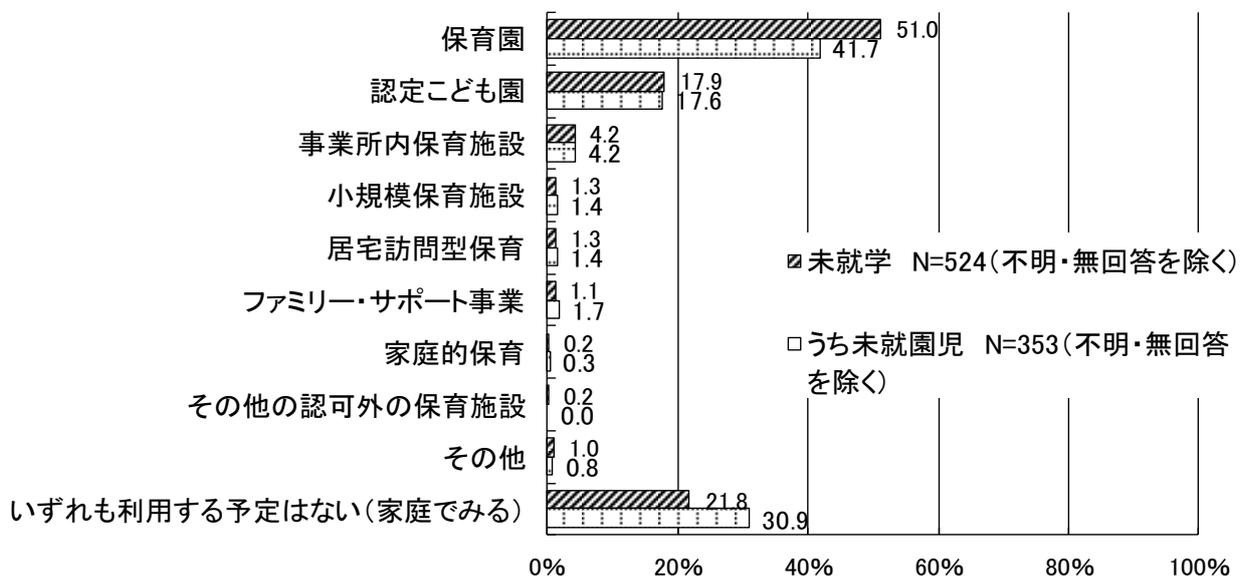
①利用したいもの(○はいくつでも)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



②最も利用したいもの(○は1つ)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)

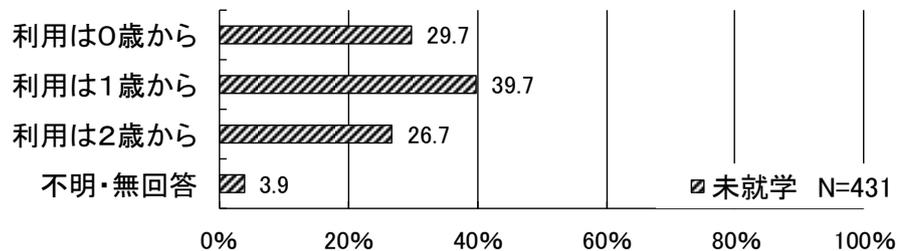


(8)

(7)でいずれかの事業に○をつけた方にうかがいます。  
事業の利用希望開始年齢(既に利用中の方は開始年齢)をお答えください。(○は1つ)  
【未就学 問14-1】

- 「利用は1歳から」が39.7%と最も高く、次いで「利用は0歳から」が29.7%、「利用は2歳から」が26.7%と続いています。

【未就学】



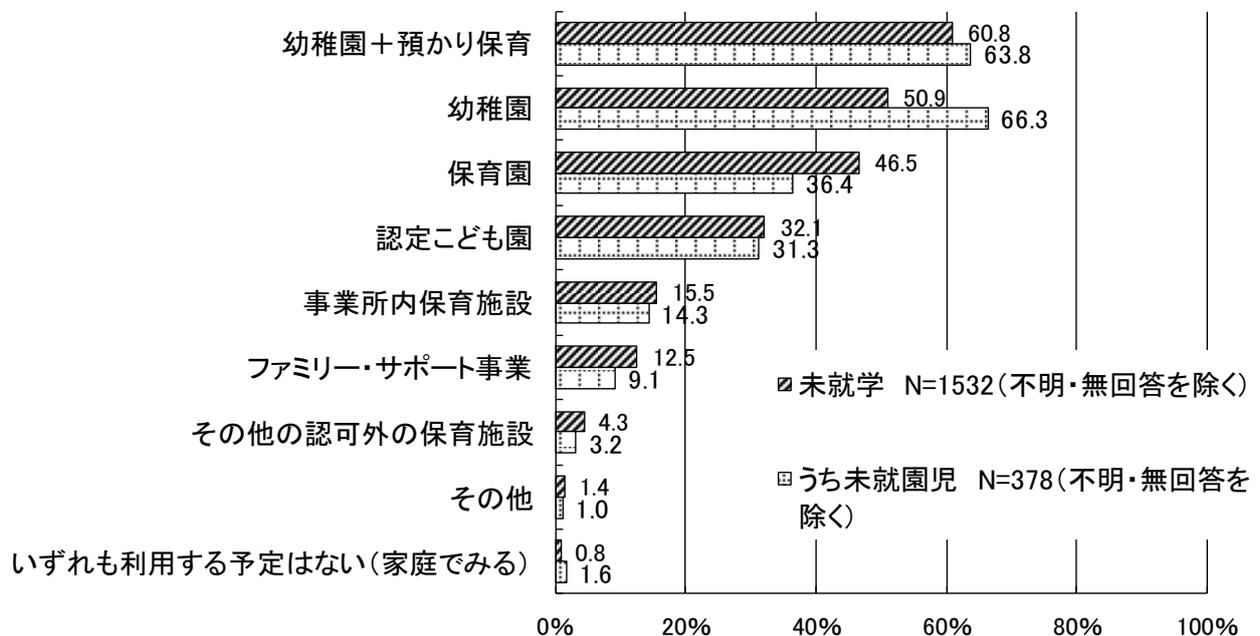
(9)

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが3歳以上のとき、平日に定期的に利用したい(利用を続けたい)事業は何ですか。  
【未就学 問15】

- 利用したいものは、「幼稚園+預かり保育」が60.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が50.9%、「保育園」が46.5%と続いています。未就園児の場合は、「幼稚園」が66.3%、「幼稚園+預かり保育」が63.8%とこれらが上位2つで、次いで「保育園」が36.4%と続いています。

①利用したいもの(○はいくつでも)

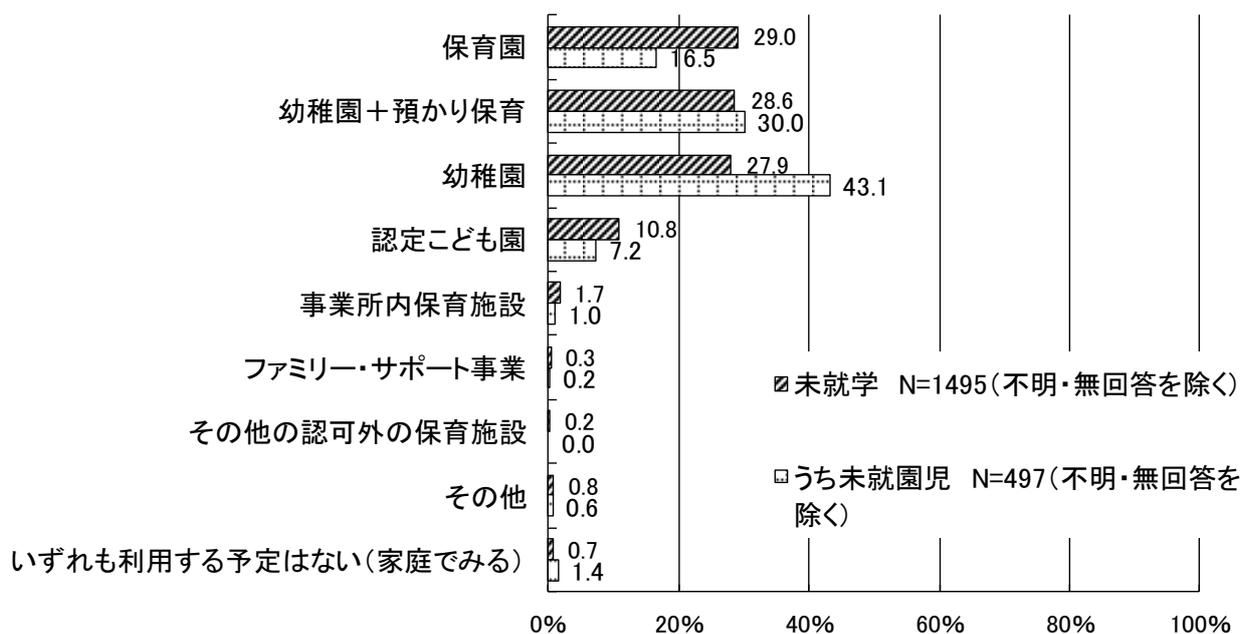
【未就学】(回答の多い順に並び替え)



- 最も利用したいものは、「保育園」が29.0%、「幼稚園+預かり保育」が28.6%とこれらが上位2つで、次いで「幼稚園」が27.9%と続いています。未就園児の場合は、「幼稚園」が43.1%と最も高くなっています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、A(ひとり親家庭)やB(フルタイム×フルタイム)、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭では、「保育園」が最も高く、C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)の家庭では「幼稚園+預かり保育」が51.2%、D(専業主婦(夫))の家庭では「幼稚園」が45.2%と最も高くなっています。

## ②最も利用したいもの(〇は1つ)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



【未就学 主な家庭類型【現在】別】

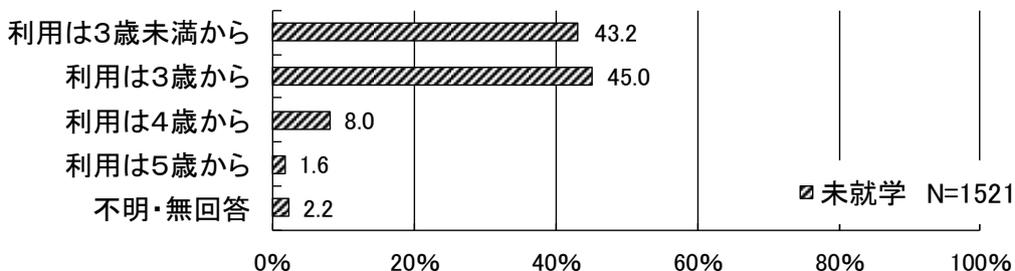
	回答者数	幼稚園	幼稚園+預かり保育	保育園	認定こども園
全体	1674	24.9%	25.6%	25.9%	9.6%
主な家庭類型【現在】					
A(ひとり親家庭)	91	12.1%	18.7%	37.3%	13.2%
B(フルタイム×フルタイム)	436	4.6%	13.1%	57.6%	11.2%
C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	3.6%	18.2%	45.5%	18.8%
C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	23.9%	51.2%	5.1%	7.7%
D(専業主婦(夫))	686	45.2%	27.8%	7.3%	6.7%

(10)

(9) でいずれかの事業に○をつけた方にうかがいます。  
事業の利用希望開始年齢(既に利用中の方は開始年齢)をお答えください。(○は1つ)  
【未就学 問15-1】

- 「利用は3歳から」が45.0%、「利用は3歳未満から」が43.2%とこれらが上位2つで、次いで「利用は4歳から」が8.0%と続いています。

【未就学】

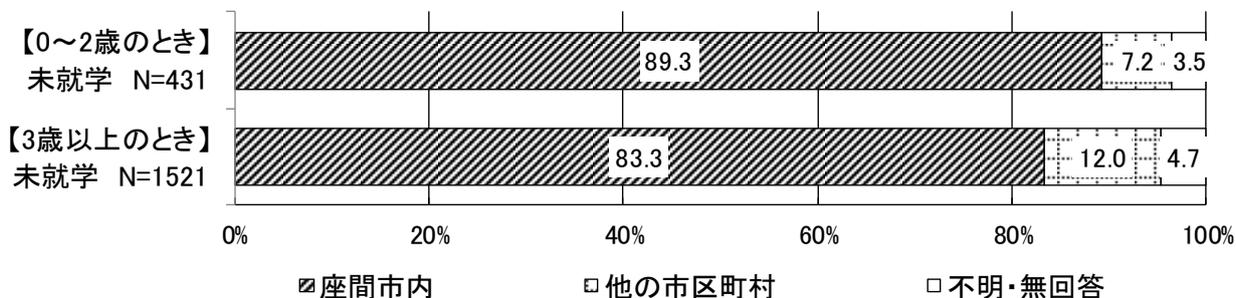


(11)

(7) 又は(9) でいずれかの事業に○をつけた方にうかがいます。  
利用したい幼稚園、保育園、認定こども園などの場所をお答えください。(○は1つ)  
【未就学 問14-1・問15-1】

- 2歳以下のときは、「座間市内」が89.3%、「他の市区町村」が7.2%となっています。
- 3歳以上のときは、「座間市内」が83.3%、「他の市区町村」が12.0%となっています。
- 3歳以上のときに幼稚園又は幼稚園+預かり保育の利用を希望している場合は、「座間市内」が約80%、保育園の利用を希望している場合は、同回答が91.3%となっています。

【未就学】



【未就学 3歳以上のとき、平日に定期的に最も利用したい事業別】

		回答者数	座間市内	他の市区町村	不明・無回答
全体		1521	83.3%	12.0%	4.7%
3歳以上のとき、平日に定期的に最も利用したい事業	幼稚園	392	82.4%	14.3%	3.3%
	幼稚園+預かり保育	405	80.9%	15.1%	4.0%
	保育園	415	91.3%	3.4%	5.3%
	認定こども園	161	75.1%	19.3%	5.6%
	事業所内保育施設	25	68.0%	20.0%	12.0%

(12)

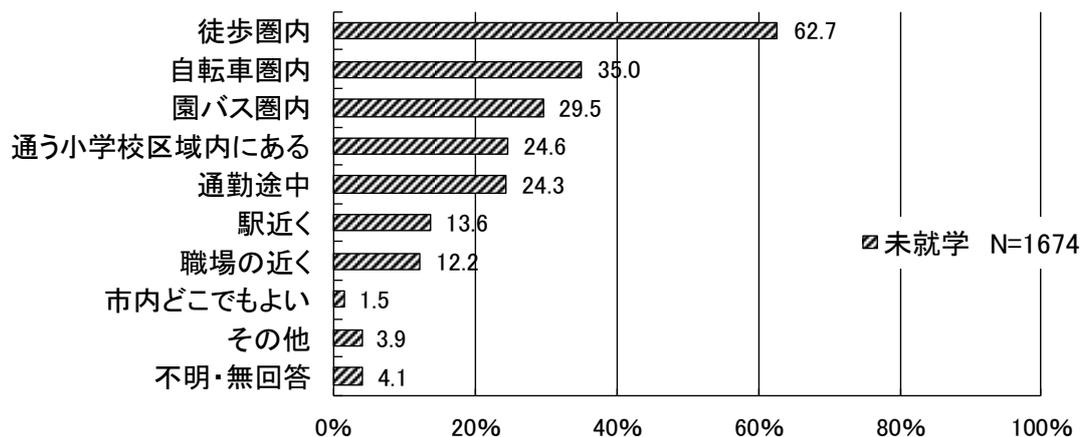
お子さんの平日の幼稚園、保育園、認定こども園などを市内で選ぶ際に、重視する条件や通園手段は何ですか。

【未就学 問16】

- 立地で重視する条件は、「徒歩圏内」が62.7%と最も高く、次いで「自転車圏内」が35.0%、「園バス圏内」が29.5%と続いています。
- 園などの方針や内容で重視する条件は、「給食がある」が69.2%と最も高く、次いで「先生や保育士の質が高い」が63.7%、「教育・保育の方針や内容が希望にあう」が60.6%と続いています。

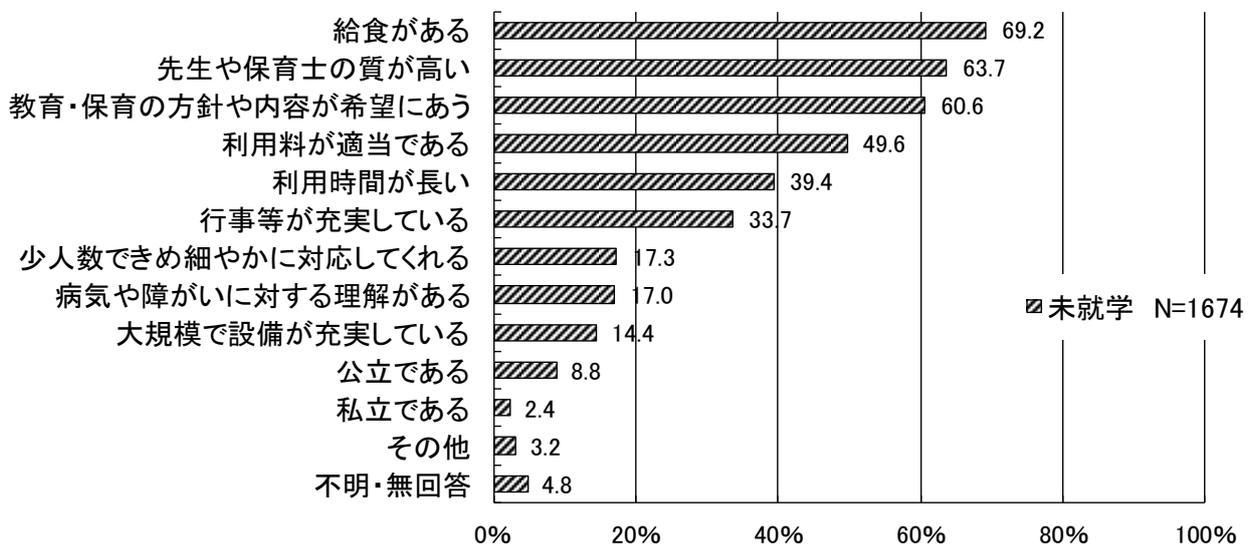
①立地で重視する条件をお答えください。(○はいくつでも)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



②園などの方針や内容で重視する条件をお答えください。(○はいくつでも)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



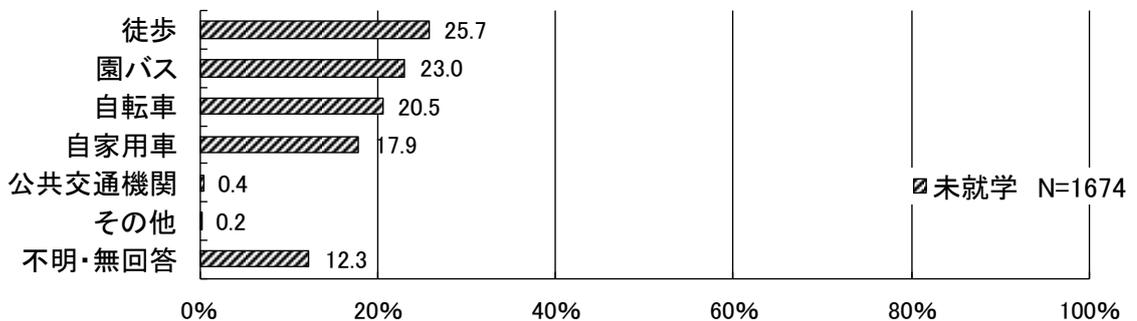
- 園などの方針や内容で重視する条件について、最も利用したい事業別で見ると、幼稚園、幼稚園+預かり保育、認定こども園は、いずれも「教育・保育の内容や方針が希望にあう」、「先生・保育士の質が高い」、「給食がある」が上位3つである一方、保育園は「給食がある」、「先生・保育士の質が高い」に加え、「利用時間が長い」が上位3つに入っています。
- 園などへの主な通園手段は、「徒歩」が25.7%、「園バス」が23.0%とこれらが上位2つとなっています。

【未就学 3歳以上のとき、平日に定期的に最も利用したい事業別 上位5つ】

幼稚園 N=417		幼稚園+預かり保育 N=428		保育園 N=434		認定こども園 N=161	
教育・保育の内容や方針が希望にあう	62.5%	給食がある	69.9%	給食がある	79.7%	給食がある	77.6%
先生・保育士の質が高い	61.9%	教育・保育の内容や方針が希望にあう	65.9%	先生・保育士の質が高い	65.7%	先生・保育士の質が高い	72.7%
給食がある	60.7%	先生・保育士の質が高い	64.5%	利用時間が長い	57.6%	教育・保育の内容や方針が希望にあう	65.8%
利用料が適当である	48.9%	利用料が適当である	59.6%	教育・保育の内容や方針が希望にあう	53.0%	利用時間が長い	49.1%
行事等が充実している	37.9%	利用時間が長い	47.0%	利用料が適当である	46.1%	利用料が適当である	48.4%

③園などへの主な通園手段をお答えください。(○は1つ)

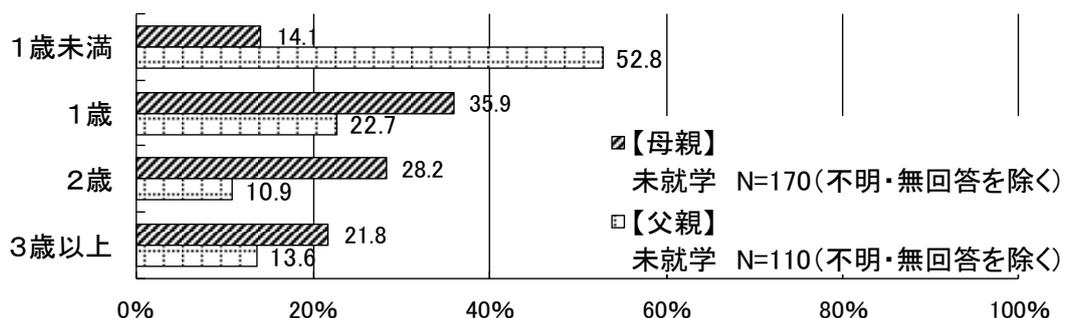
【未就学】(回答の多い順に並び替え)



(13) 現在、育児休業中の方にうかがいます。  
必ず利用できる園等があれば、何歳まで育児休業を取得しますか。(○は1つ)  
【未就学 問17】

- 母親は、「1歳」が35.9%と最も高く、次いで「2歳」が28.2%、「3歳以上」が21.8%と続いています。
- 父親は、「1歳未満」が52.8%と最も高く、次いで「1歳」が22.7%、「3歳以上」が13.6%と続いています。

【未就学】



## 4. 地域の子育て支援事業の利用【未就学のみ】

(1)

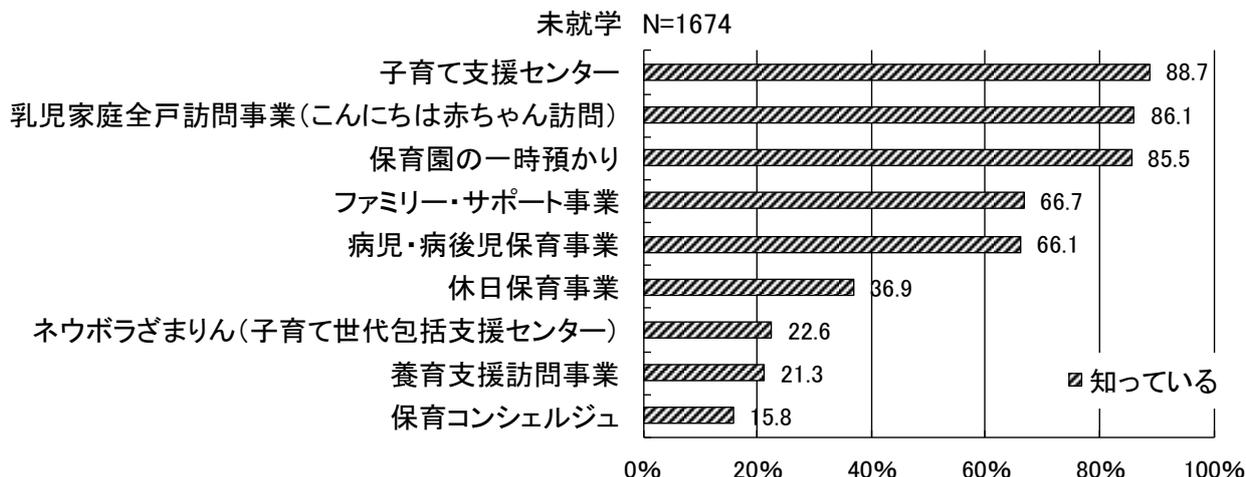
次の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(〇はいくつでも)

### 【未就学 問18】

- 知っているものは、「子育て支援センター」が88.7%、「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)」が86.1%、「保育園の一時預かり」が85.5%と、これらが上位となっています。
- 利用したことがあるものは、「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)」が75.2%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が58.9%、「保育園の一時預かり」が17.1%と続いています。
- 今後利用したいものは、「病児・病後児保育事業」が48.0%、「子育て支援センター」が44.7%とこれらが上位2つで、次いで「保育コンシェルジュ」が40.1%と続いています。

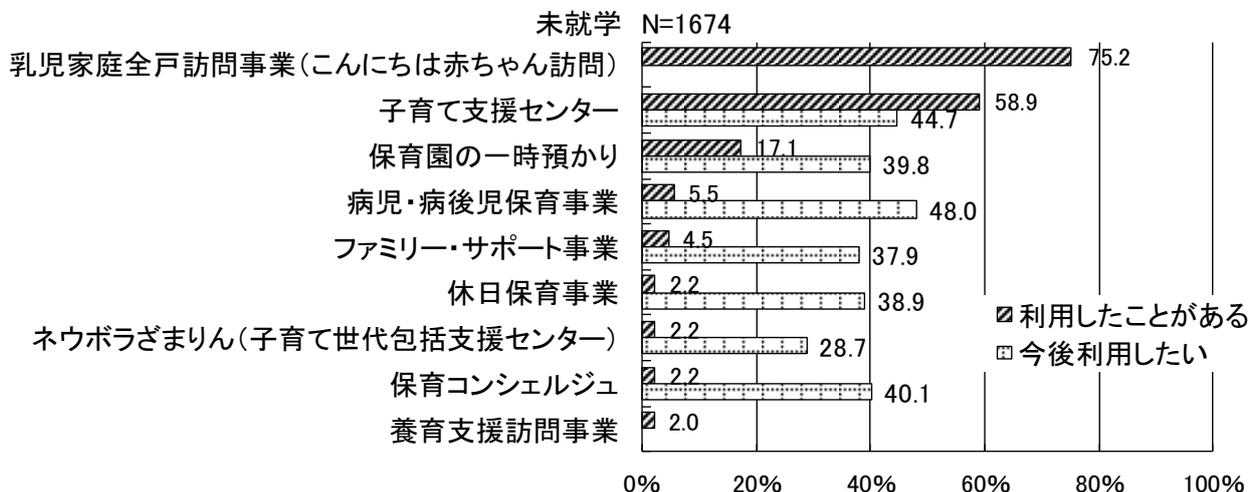
### ①知っているもの

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



### ②利用したことがあるもの、③今後(今後も)利用したいもの

【未就学】(回答の多い順に並び替え)

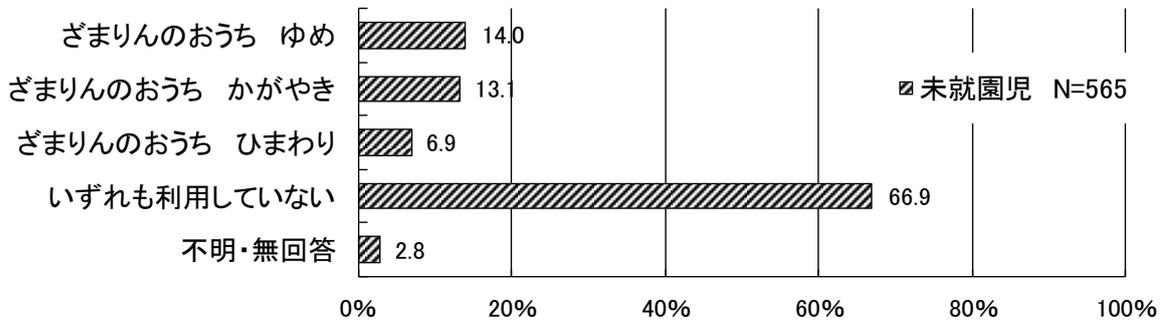


※乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)及び養育支援訪問事業は利用状況のみ

(2) **ここ3か月の間で、子育て支援センターを利用していますか。**  
**次の中から、利用している施設に○をつけてください。(○はいくつでも)**  
**【未就学 問19】**

- 未就園児については、「いずれも利用していない」が66.9%と最も高く、次いで「ざまりんのおうち ゆめ」が14.0%、「ざまりんのおうち かがやき」が13.1%と続いています。
- 未就園児についてお住まいの小学校区別で見ると、ひばりが丘や東原、栗原では「ざまりんのおうち ゆめ」、相模野や相模が丘では「ざまりんのおうち ひまわり」、入谷や立野台、中原、座間では「ざまりんのおうち かがやき」が、それぞれ20%以上の利用率となっています。相武台東、旭、立野台、座間の4校区は、「いずれも利用していない」がいずれも70%以上となっています。
- 未就園児のお子さんの年齢別で見ると、いずれかの施設を利用している割合は、0歳では「ざまりんのおうち ゆめ」が18.5%、「ざまりんのおうち かがやき」が16.7%、「ざまりんのおうち ひまわり」が9.0%となっています。子育て支援センターを利用している割合(「いずれも利用していない」「不明・無回答」を除いた割合)は、0歳が38.2%と最も高く、次いで1歳が33.7%、2歳が16.9%と続いています。

【未就学(未就園児のみ)】(回答の多い順に並び替え)



◇1か月当たり平均利用回数

ざまりんのおうち かがやき	2.65回
ざまりんのおうち ゆめ	3.40回
ざまりんのおうち ひまわり	3.51回

【未就学(未就園児のみ) お住まいの小学校区別等】

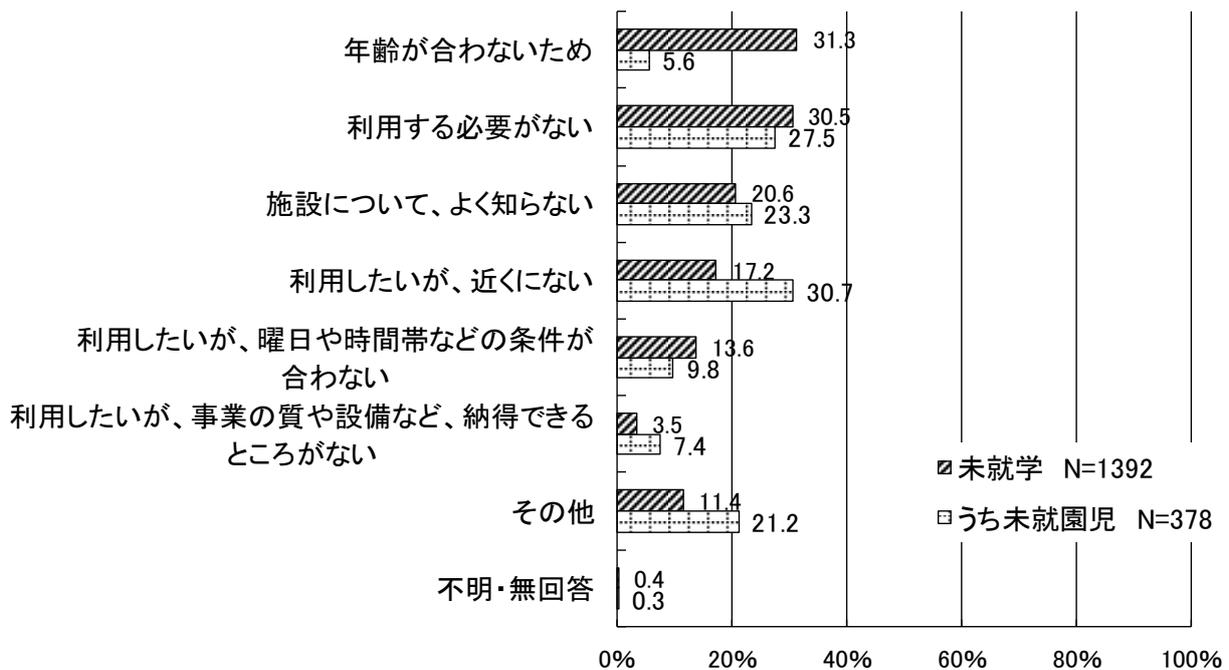
		回答者数	ざまりんのおうち ゆめ	ざまりんのおうち ひまわり	ざまりんのおうち かがやき	いずれも利用していない	不明・無回答
全体		565	14.0%	6.9%	13.1%	66.9%	2.8%
お住まいの小学校区	座間	72	8.3%	0.0%	20.8%	72.2%	0.0%
	栗原	59	27.1%	0.0%	8.5%	66.1%	3.4%
	相模野	29	3.4%	34.5%	3.4%	55.2%	3.4%
	相武台東	56	8.9%	5.4%	12.5%	78.6%	0.0%
	ひばりが丘	43	39.5%	0.0%	2.3%	58.1%	0.0%
	東原	42	28.6%	0.0%	2.4%	64.3%	7.1%
	相模が丘	69	1.4%	33.3%	1.4%	65.2%	1.4%
	立野台	56	10.7%	1.8%	23.2%	73.2%	1.8%
	入谷	45	2.2%	2.2%	37.8%	53.3%	8.9%
	旭	28	14.3%	0.0%	0.0%	78.6%	7.1%
	中原	31	12.9%	3.2%	22.6%	64.5%	3.2%
お子さんの年齢(0~3歳)	0歳	233	18.5%	9.0%	16.7%	60.1%	1.7%
	1歳	166	16.9%	4.8%	14.5%	63.3%	3.0%
	2歳	118	5.1%	6.8%	6.8%	78.8%	4.2%

(3)

(2)で「いずれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)  
【未就学 問19-1】

- 「年齢が合わないため」が31.3%、「利用する必要がない」が30.5%とこれらが上位2つで、次いで「施設について、よく知らない」が20.6%と続いています。
- 未就園児の場合は、「利用したいが、近くにない」が30.7%、「利用する必要がない」が27.5%とこれらが上位2つで、次いで「施設について、よく知らない」が23.3%と続いています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)

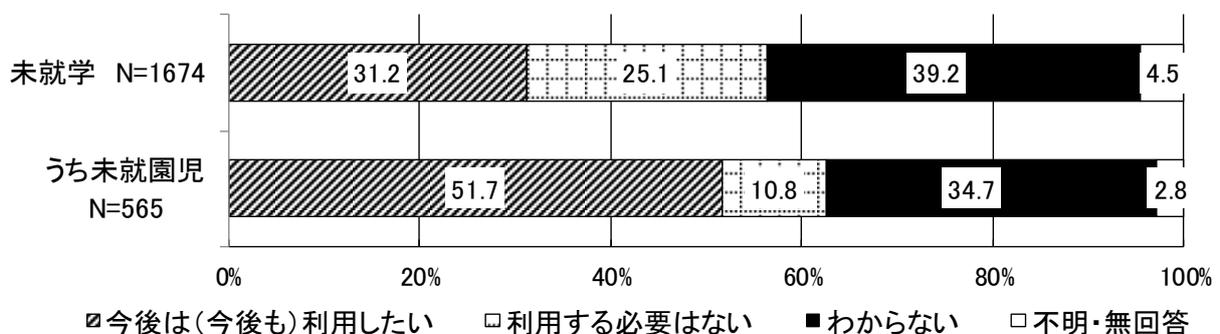


(4)

子育て支援センターについて、今後は(今後も)利用したいと思いますか。(○は1つ)  
【未就学 問20】

- 「わからない」が39.2%と最も高く、次いで「今後は(今後も)利用したい」が31.2%、「利用する必要はない」が25.1%と続いています。
- 未就園児の場合は、「今後は(今後も)利用したい」が51.7%と最も高く、次いで「わからない」が34.7%、「利用する必要はない」が10.8%と続いています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



(5)

(4)で「今後は(今後も)利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
おおよその利用希望回数(頻度)を枠内に数字でご記入ください。  
【未就学 問20-1】

- 平均で1か月当たり4.79回となっています。

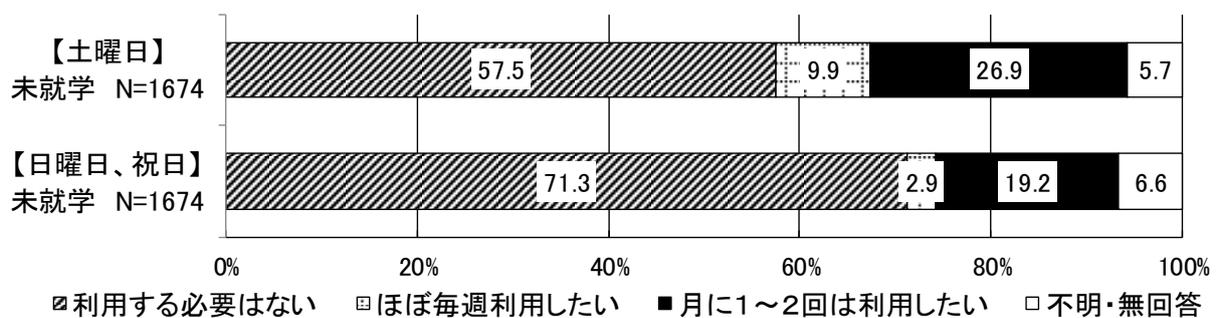
## 5. 日曜日、祝日、夏休みなどの幼稚園、保育園、認定こども園などの「定期的」な利用【未就学のみ】

(1)

お子さんについて、土曜日や日曜日、祝日に幼稚園、保育園、認定こども園などの定期的な利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)(○は1つ)  
希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。  
【未就学 問21】

- 土曜日は、「利用する必要はない」が57.5%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が26.9%、「ほぼ毎週利用したい」が9.9%と続いています。
- 日曜日、祝日は、「利用する必要はない」が71.3%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が19.2%、「ほぼ毎週利用したい」が2.9%と続いています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、いずれの家庭類型も土曜日、日曜日、祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、土曜日については、A(ひとり親家庭)では「ほぼ毎週利用したい」が22.0%、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭では同回答が18.2%と比較的高くなっています。

【未就学】



【未就学 土曜日 主な家庭類型【現在】別】

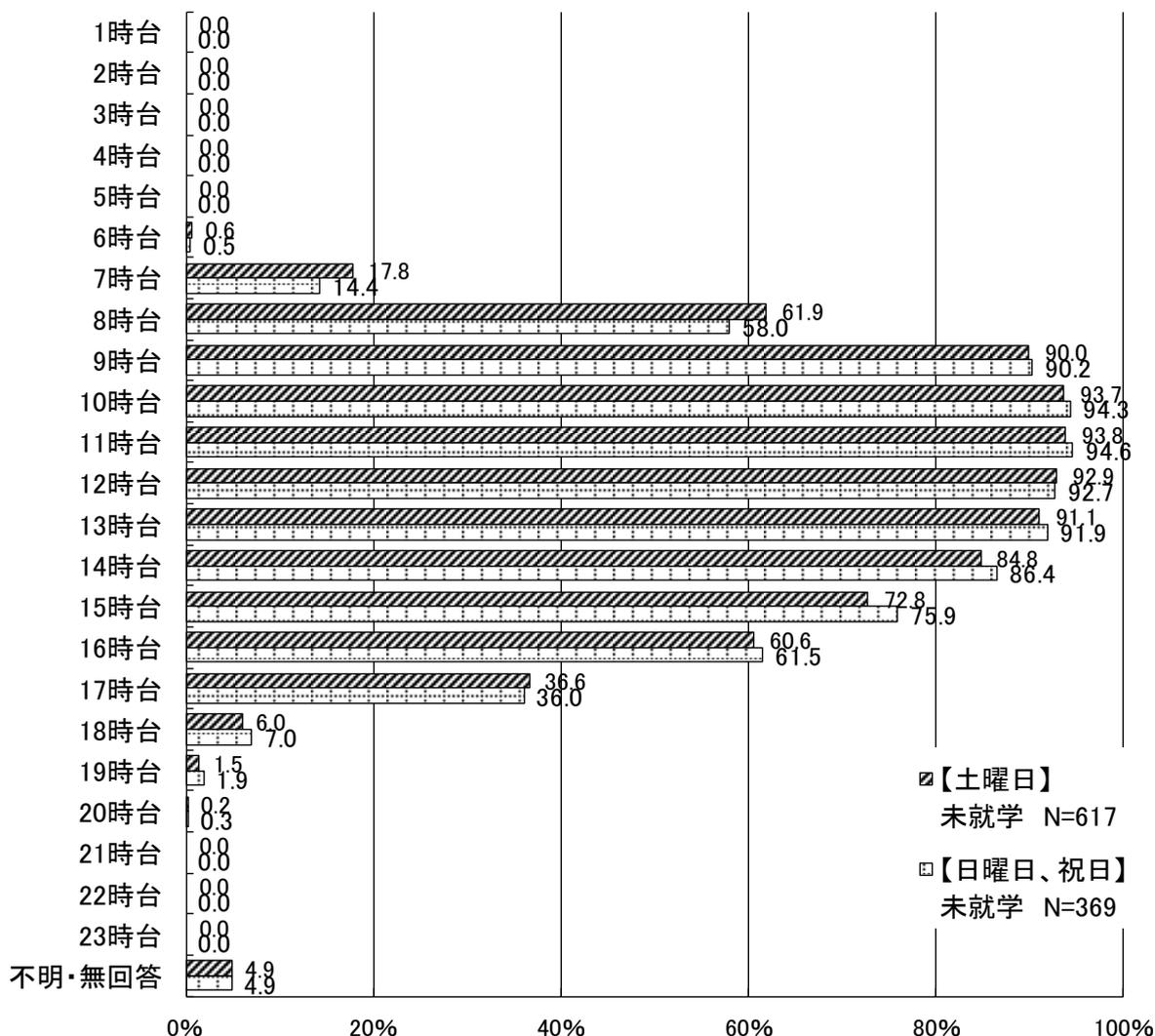
		回答者数	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1~2回は利用したい	不明・無回答
全体		1674	57.5%	9.9%	26.9%	5.7%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	38.4%	22.0%	36.3%	3.3%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	44.7%	14.7%	36.7%	3.9%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	41.8%	18.2%	33.3%	6.7%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	60.3%	7.7%	28.2%	3.8%
	D(いずれか家事専業)	686	71.9%	3.1%	18.1%	6.9%

【未就学 日曜日、祝日 主な家庭類型【現在】別】

		回答者数	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1~2回は利用したい	不明・無回答
全体		1674	71.3%	2.9%	19.2%	6.6%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	58.2%	5.5%	28.6%	7.7%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	67.0%	3.9%	23.4%	5.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	61.8%	3.6%	27.9%	6.7%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	73.9%	3.0%	18.8%	4.3%
	D(いずれか家事専業)	686	78.6%	1.3%	13.1%	7.0%

- 希望の時間帯は、土曜日、日曜日、祝日のいずれも、「8時台」から「16時台」にかけて半数（50%）以上となっています。

◇希望の時間帯

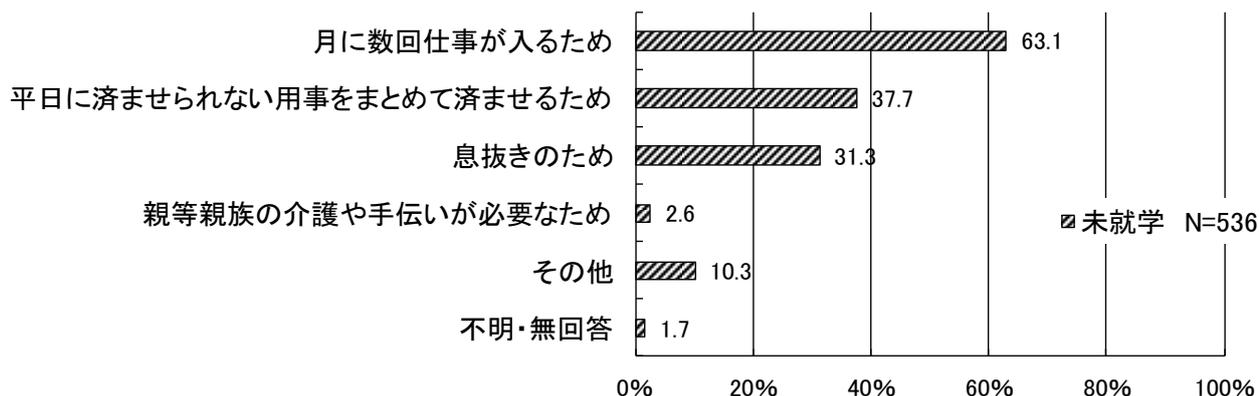


(2)

(1)で「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)  
【未就学 問21-1】

- 「月に数回仕事が入るため」が63.1%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が37.7%、「息抜きのため」が31.3%と続いています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



(3)

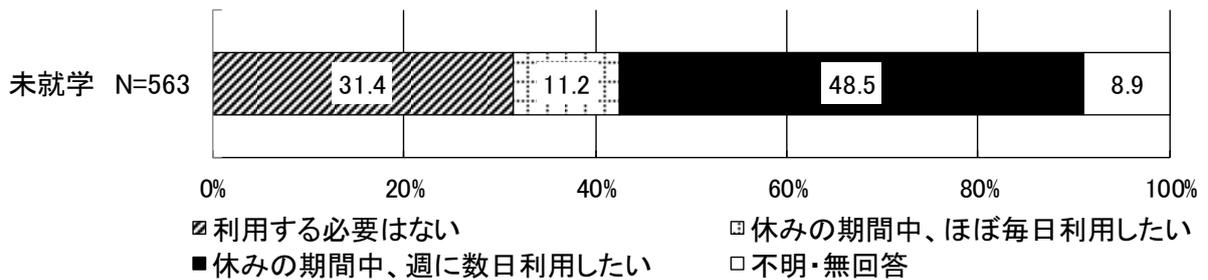
「認定こども園」又は「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

夏休みなどに認定こども園、幼稚園などの利用を希望しますか。(○は1つ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入)

【未就学 問22】

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が48.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が31.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が11.2%と続いています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、B(フルタイム×フルタイム)やC(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭では、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が約40%となっています。
- 希望の時間帯は、「9時台」から「14時台」にかけて半数(50%)以上となっています。

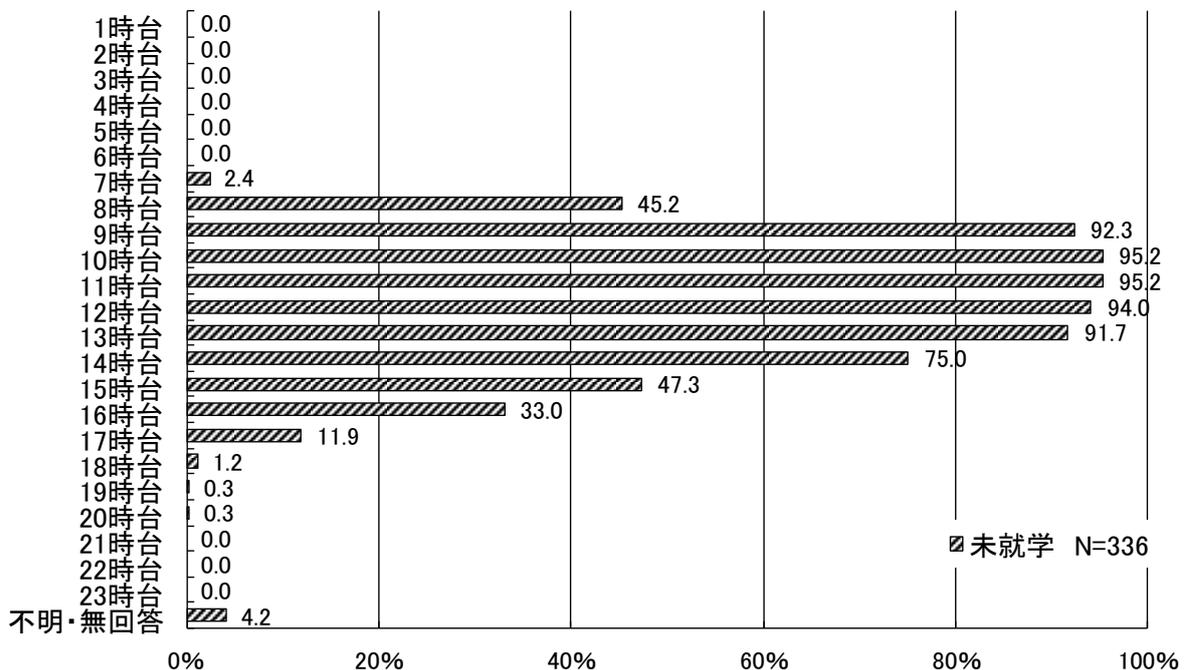
【未就学】



【未就学 主な家庭類型【現在】別】

	回答者数	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	不明・無回答	
全体	563	31.4%	11.2%	48.5%	8.9%	
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	16	31.3%	12.5%	37.4%	18.8%
	B(フルタイム×フルタイム)	38	18.4%	44.7%	21.1%	15.8%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	32	6.3%	40.6%	40.6%	12.5%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	166	24.7%	10.2%	60.9%	4.2%
	D(専業主婦(夫))	290	38.6%	4.8%	47.6%	9.0%

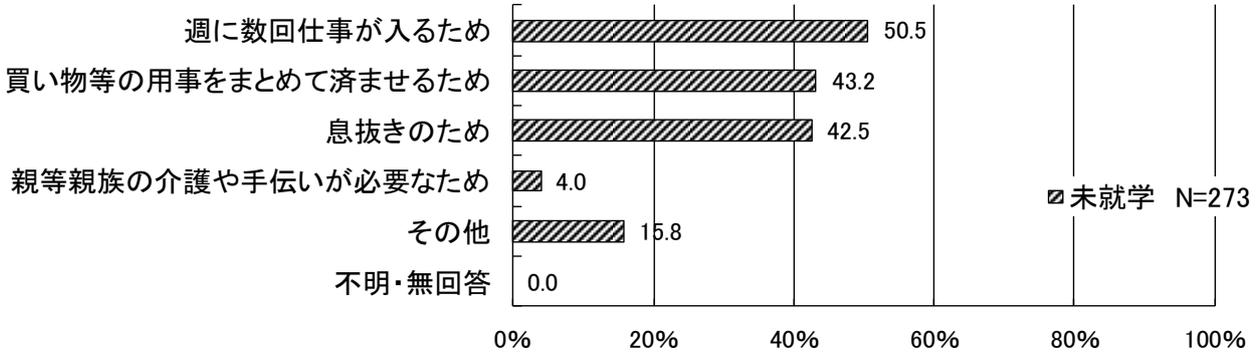
◇希望の時間帯



(4) (3)で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)  
 【未就学 問22-1】

- 「週に数回仕事が入るため」が50.5%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が43.2%、「息抜きのため」が42.5%と続いています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



## 6. 病気の際の対応※

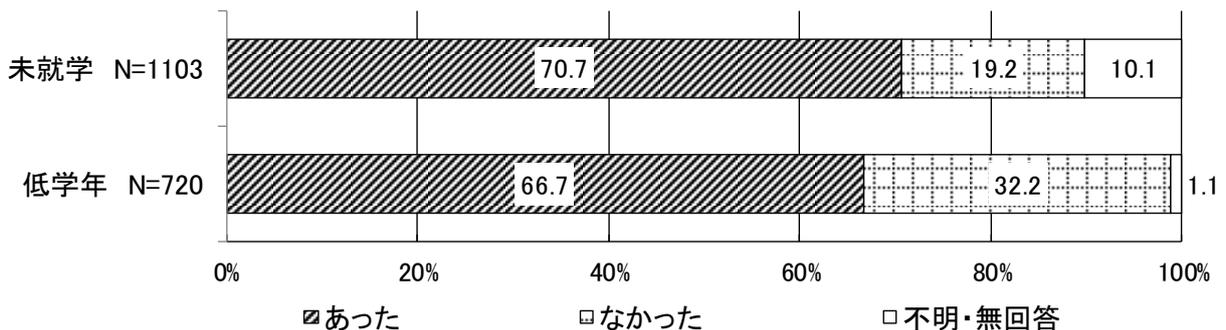
※未就学は、平日に幼稚園、保育園、認定こども園などを利用している方のみ

(1) この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育園、認定こども園などが利用できなかったことはありますか。(○は1つ)  
 【未就学 問23】

(2) この1年間に、お子さんが病気やケガで学校をお休みしたことはありますか。(○は1つ)  
 【低学年 問11】

- 未就学は、「あった」が70.7%、「なかった」が19.2%となっています。
- 低学年は、「あった」が66.7%、「なかった」が32.2%となっています。

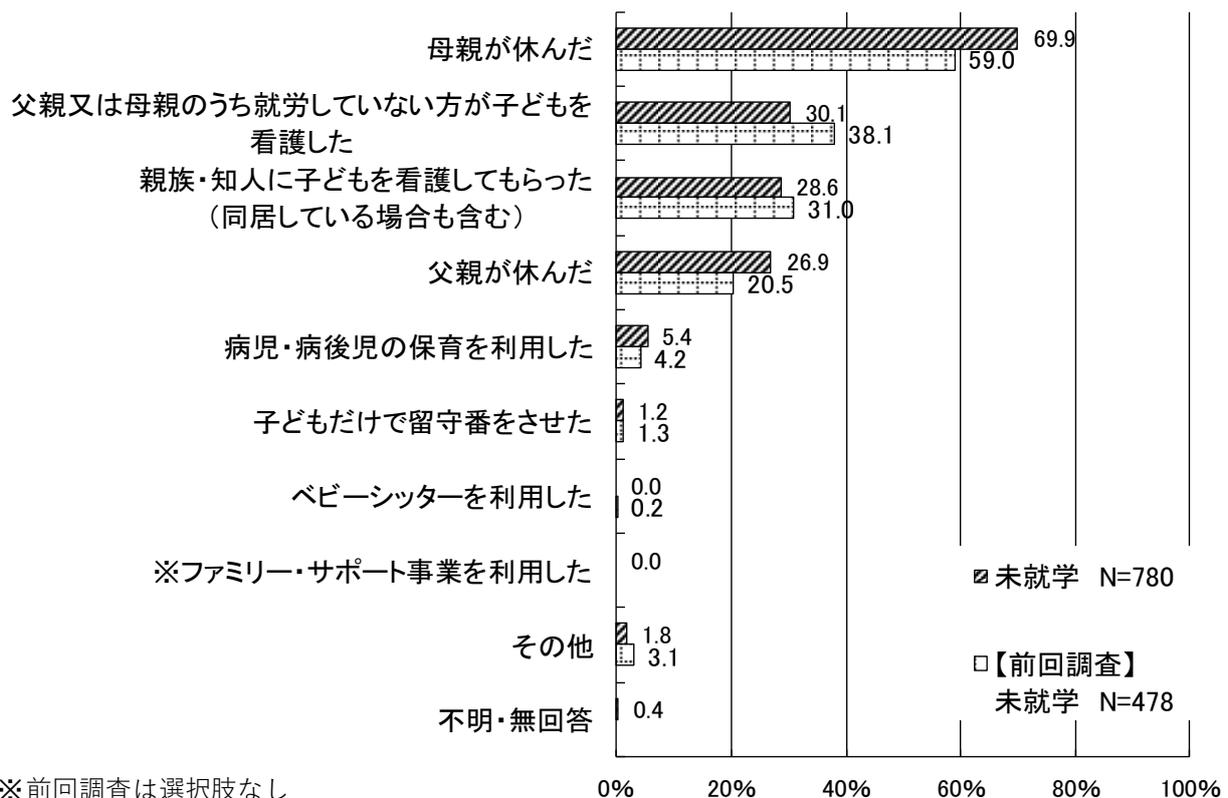
【未就学】【低学年】



(3)	お子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園、保育園、認定こども園などが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。(〇はいくつでも)【未就学 問23-1】
(4)	お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。(〇はいくつでも)【低学年 問11-1】

- 未就学は、「母親が休んだ」が69.9%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が30.1%、「親族・知人に子どもを看護してもらった(同居している場合も含む)」が28.6%と続いています。
- 前回調査と比べて「母親が休んだ」、「父親が休んだ」との回答率が上昇しています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



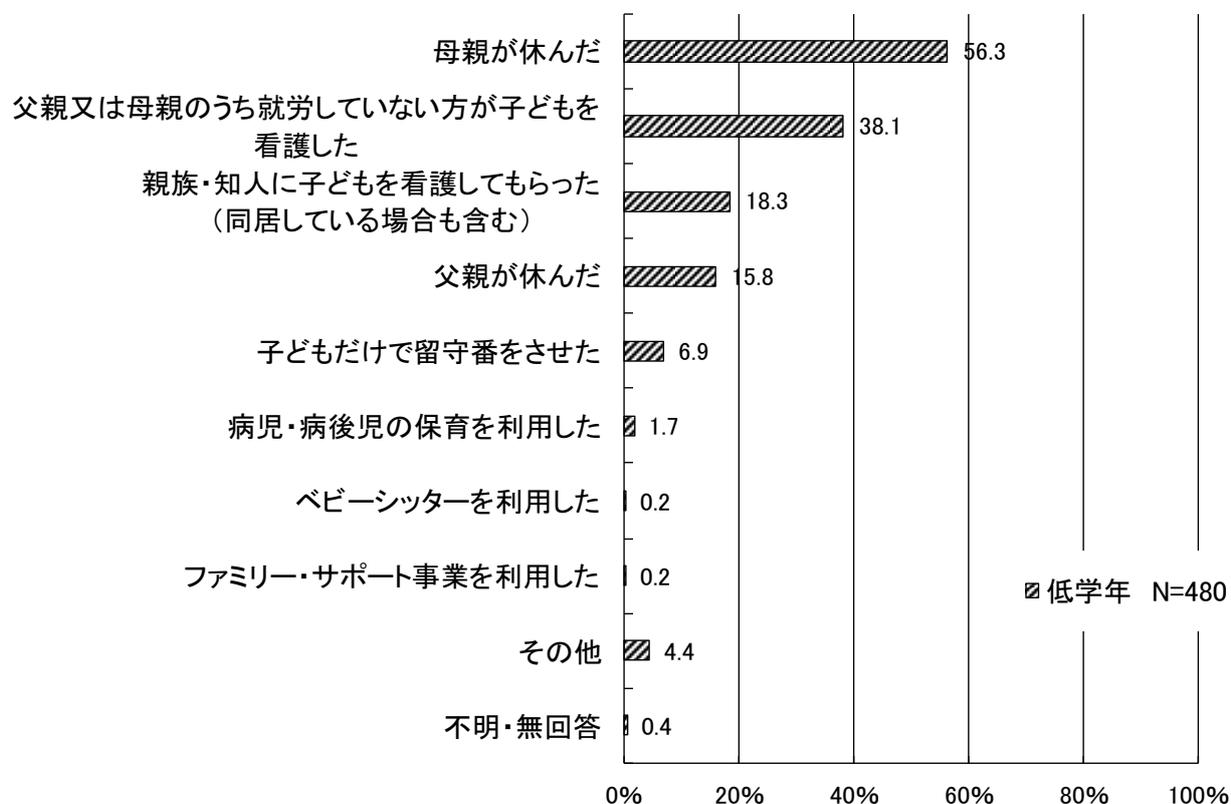
※前回調査は選択肢なし

◇年間平均対処日数

母親が休んだ	7.76日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した	9.19日
親族・知人に子どもを看護してもらった(同居している場合も含む)	7.62日
父親が休んだ	4.07日
病児・病後児の保育を利用した	4.39日
子どもだけで留守番をさせた	1.31日
ベビーシッターを利用した	—
ファミリー・サポート事業を利用した	—
その他	7.33日

- 低学年は、「母親が休んだ」が56.3%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が38.1%、「親族・知人に子どもを看護してもらった（同居している場合も含む）」が18.3%と続いています。

【低学年】（回答の多い順に並び替え）



◇年間平均対処日数

母親が休んだ	4.16日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した	7.16日
親族・知人に子どもを看護してもらった(同居している場合も含む)	3.44日
父親が休んだ	2.48日
子どもだけで留守番をさせた	1.54日
病児・病後児の保育を利用した	6.83日
ベビーシッターを利用した	3.00日
ファミリー・サポート事業を利用した	1.00日
その他	14.41日

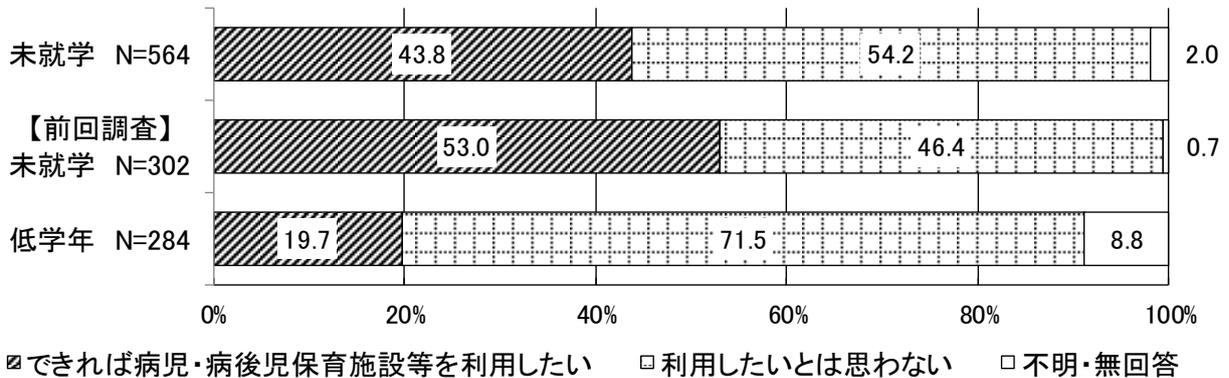
(5)

お子さんの病気などで仕事を休んだとき、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ)

【未就学 問23-2】【低学年 問11-2】

- 未就学は、「利用したいとは思わない」が54.2%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が43.8%となっており、前回調査と比べて利用希望率が低下しています。
- 低学年は、「利用したいとは思わない」が71.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が19.7%となっています。
- 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」という方の年間利用希望日数の平均は、未就学では9.51日、低学年では6.51日となっています。
- 未就学について、日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の状況別で見ると、みてもらえる親族・知人が“いずれもない”という場合では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が51.6%と比較的高くなっています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、B(フルタイム×フルタイム)の家庭では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が49.5%と比較的高くなっています。

【未就学】【低学年】



【未就学 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の状況別等】

		回答者数	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答
全体		564	43.8%	54.2%	2.0%
日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族に	76	28.9%	71.1%	0.0%
	緊急時等には祖父母等の親族に	333	42.6%	55.6%	1.8%
	日常的に友人・知人に	15	20.0%	80.0%	0.0%
	緊急時等には友人・知人に	81	35.8%	63.0%	1.2%
	いずれもない	128	51.6%	44.5%	3.9%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	36	36.1%	61.1%	2.8%
	B(フルタイム×フルタイム)	287	49.5%	48.8%	1.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	111	47.7%	48.7%	3.6%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	97	30.9%	69.1%	0.0%
	D(専業主婦(夫))	21	23.8%	71.4%	4.8%

- 低学年について、主な家庭類型【現在】別で見ると、B(フルタイム×フルタイム)の家庭では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が37.9%と比較的高くなっています。

【低学年 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の状況別等】

		回答者数	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答
全体		284	19.7%	71.5%	8.8%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	14	21.4%	64.3%	14.3%
	B(フルタイム×フルタイム)	87	37.9%	56.4%	5.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	29	13.8%	79.3%	6.9%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	120	12.5%	75.8%	11.7%
	D(いずれか家事専業)	21	4.8%	90.4%	4.8%

(6)

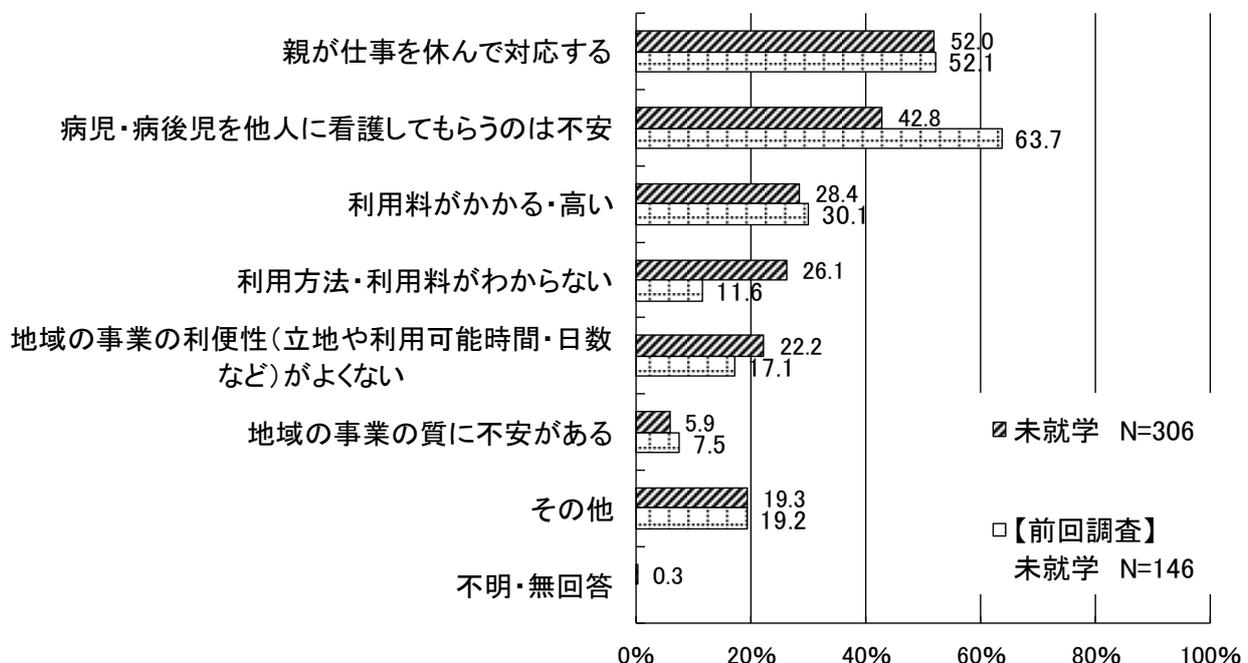
(5)で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

【未就学 問23-3】【低学年 問11-3】

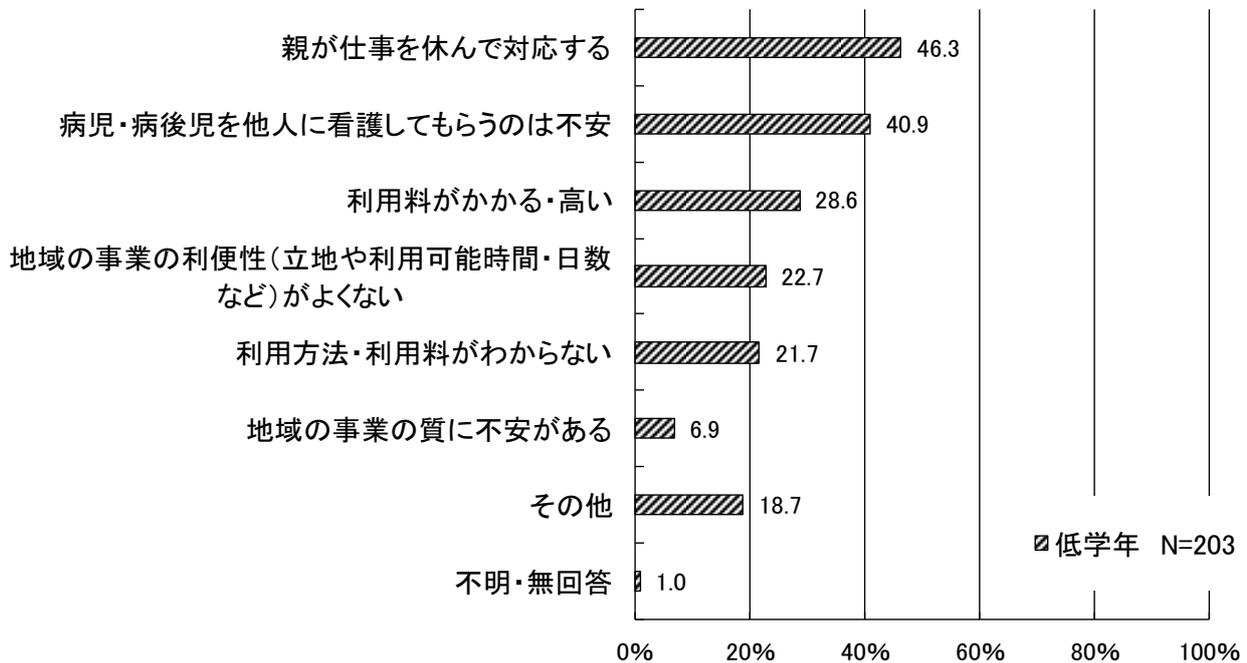
- 未就学は、「親が仕事を休んで対応する」が52.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が42.8%、「利用料がかかる・高い」が28.4%と続いています。前回調査と比べて「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」との回答率が低下している一方、「利用方法・利用料がわからない」との回答率が上昇しています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



- 低学年は、「親が仕事を休んで対応する」が46.3%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が40.9%、「利用料がかかる・高い」が28.6%と続いています。

【低学年】(回答の多い順に並び替え)



(7)

(4)で父親又は母親が休む以外の対処をされた方にうかがいます。  
仕事を休んで看護したかった日数について枠内に数字でご記入ください。  
【未就学 問23-4】【低学年 問11-4】

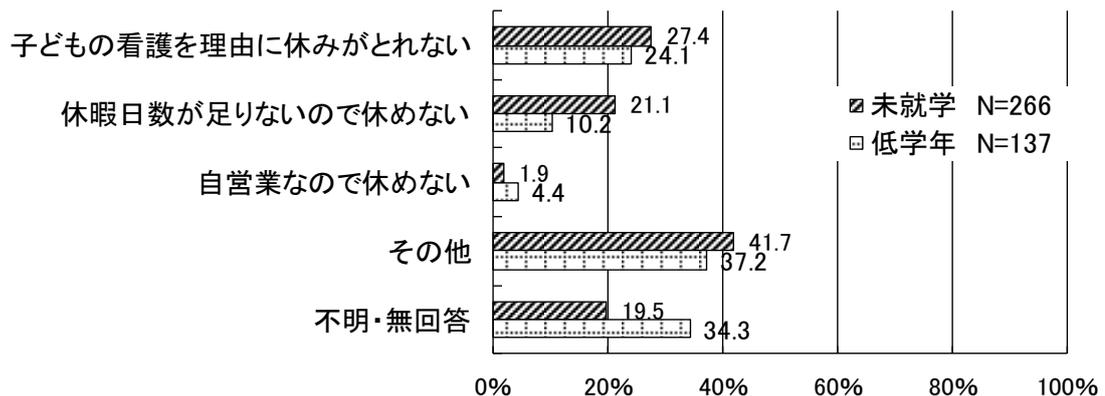
- 未就学では、平均で年当たり7.56日、低学年では、平均で年当たり4.38日となっています。

(8)

(7)で回答した希望の日数の休みをとれない理由は何ですか。(○はいくつでも)  
【未就学 問23-5】【低学年 問11-5】

- 未就学は、「その他(主な内容:人手不足、会社・同僚に迷惑がかかる、業務多忙等)」が41.7%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が27.4%、「休暇日数が足りないので休めない」が21.1%と続いています。
- 低学年は、「その他(主な内容:人手不足、休みがとりづらい、業務多忙等)」が37.2%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が24.1%、「休暇日数が足りないので休めない」が10.2%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)



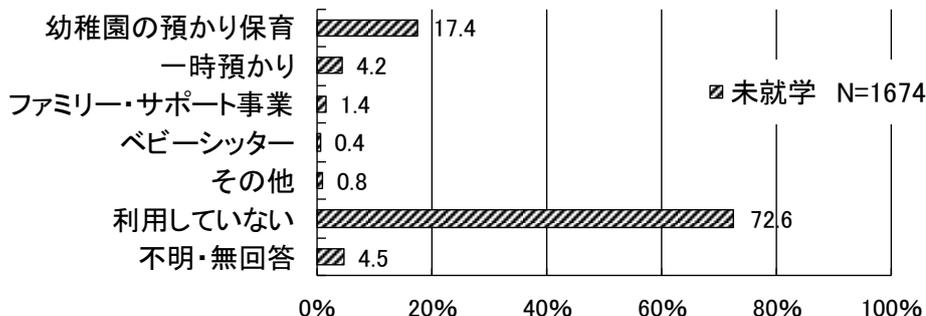
## 7. 幼稚園、保育園、認定こども園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用【未就学のみ】

(1)

お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(日中の定期的な保育や病気のためによるものは除きます。)  
(○はいくつでも)【未就学 問24】

- 「利用していない」が72.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が17.4%、「一時預かり」が4.2%と続いています。
- 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の状況別で見ると、みてもらえる親族・知人が“いずれもない”という場合には「幼稚園の預かり保育」が15.6%、「一時預かり」が7.1%、「ファミリー・サポート事業」が3.2%となっています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)の家庭では「幼稚園の預かり保育」が41.5%と比較的高く、不定期に事業を利用している割合(「利用していない」「不明・無回答」を除いた割合)が47.4%となっています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



◇年間平均利用日数

幼稚園の預かり保育	28.96日
一時預かり	19.20日
ファミリー・サポート事業	8.39日
ベビーシッター	28.33日
その他	28.36日

【未就学 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の状況別等】

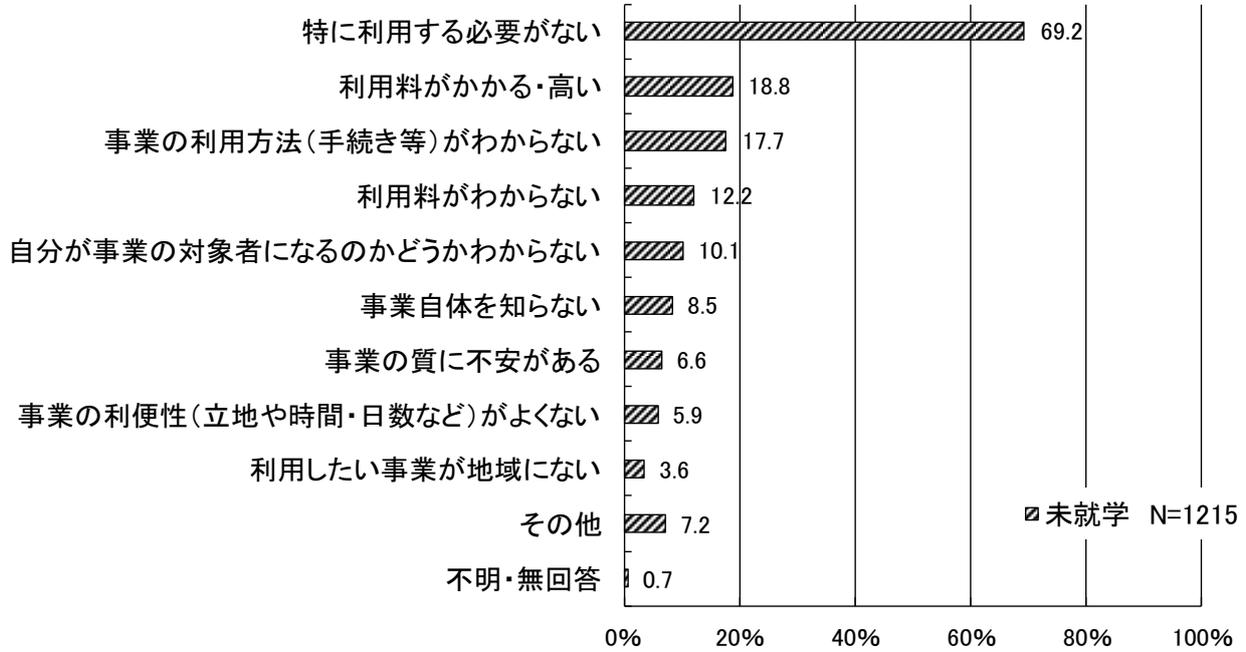
	回答者数	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート事業	ベビーシッター	その他	利用していない	不明・無回答	
全体	1674	4.2%	17.4%	1.4%	0.4%	0.8%	72.6%	4.5%	
日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族に	326	1.5%	16.0%	0.3%	0.3%	0.6%	75.8%	5.5%
	緊急時等には祖父母等の親族に	964	3.6%	16.6%	1.0%	0.5%	0.6%	74.2%	4.3%
	日常的に友人・知人に	60	1.7%	25.0%	0.0%	1.7%	1.7%	65.0%	5.0%
	緊急時等には友人・知人に	283	4.9%	29.3%	1.1%	1.1%	1.4%	61.5%	2.5%
主な家庭類型【現在】	いずれもない	308	7.1%	15.6%	3.2%	0.3%	1.0%	72.7%	3.9%
	A(ひとり親家庭)	91	1.1%	8.8%	1.1%	0.0%	2.2%	81.3%	5.5%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	4.1%	3.4%	2.8%	0.9%	1.1%	85.3%	3.9%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	6.1%	15.2%	0.6%	0.0%	1.2%	77.0%	1.2%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	6.0%	41.5%	0.0%	0.0%	0.9%	49.6%	3.0%
	D(専業主婦(夫))	686	3.6%	19.8%	1.0%	0.4%	0.4%	70.8%	5.1%

(2)

(1)で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)  
【未就学 問24-1】

- 「特に利用する必要がない」が69.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が18.8%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が17.7%と続いています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



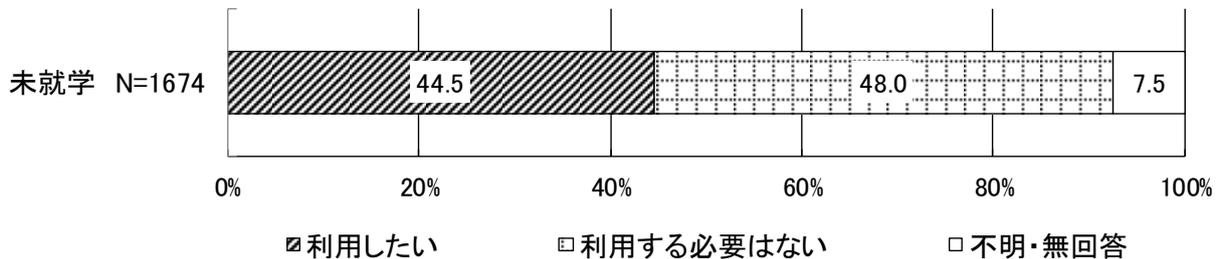
(3)

お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等を利用する必要があると思いますか。(○は1つ。日数についても枠内に数字で記入。)  
【未就学 問25】

- 「利用する必要はない」が48.0%、「利用したい」が44.5%となっています。

①利用希望(○は1つ)

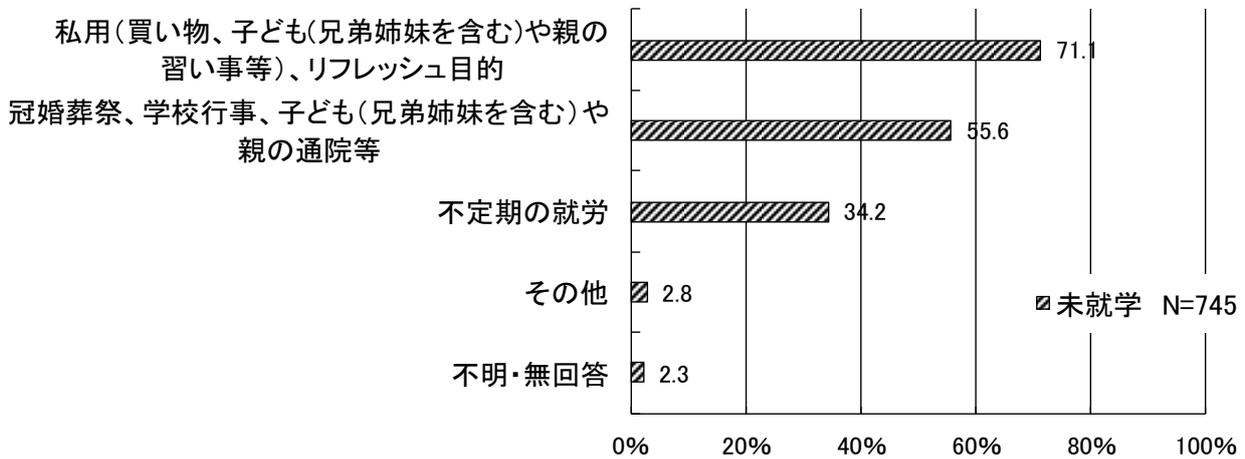
【未就学】



- 利用したい理由は、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が71.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が55.6%、「不特定の就労」が34.2%と続いています。

②利用したい理由(○はいくつでも)

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



◇年間平均利用希望日数

利用希望 計	27.48日
私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	12.73日
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	8.37日
不特定の就労	40.58日
その他	28.18日

(4)

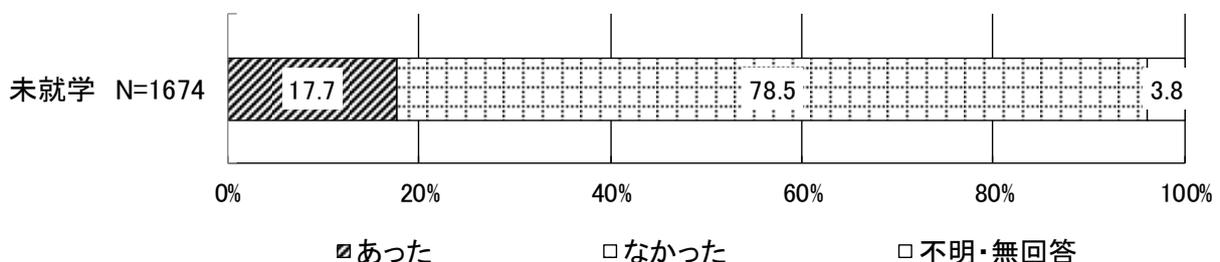
この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

【未就学 問26】

- 「なかった」が78.5%、「あった」が17.7%となっています。

①有無(○は1つ)

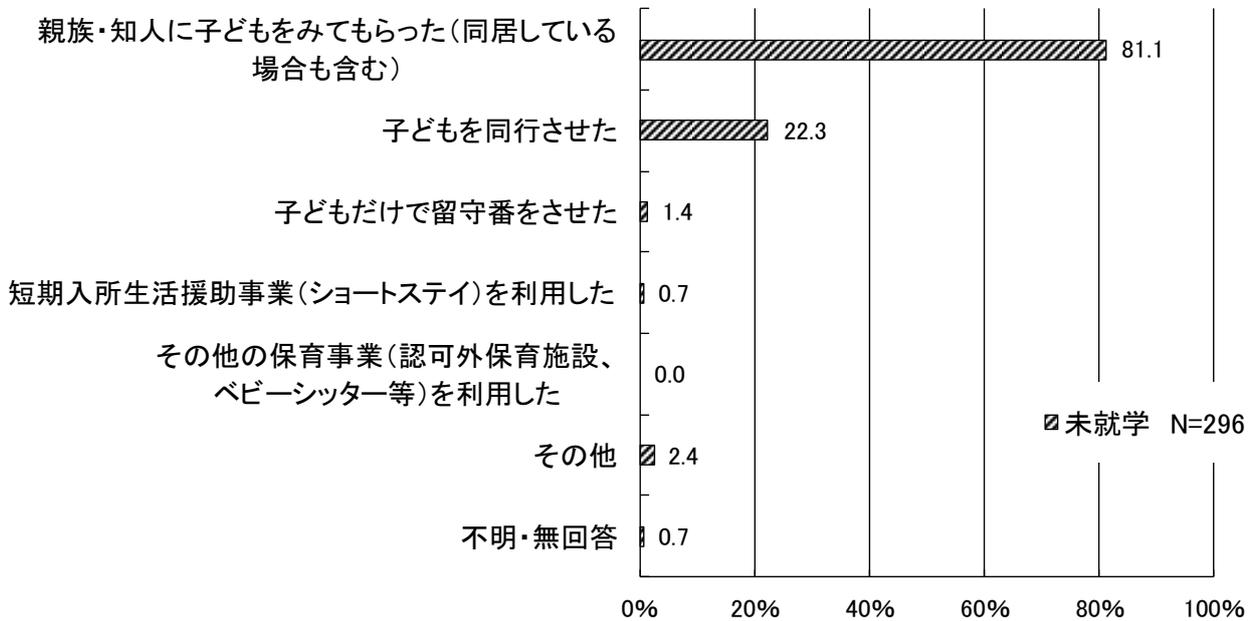
【未就学】



- 1年間の対処方法は、「親族・知人に子どもをみてもらった（同居している場合も含む）」が81.1%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」が22.3%と続いています。

②1年間の対処方法（○はいくつでも）

【未就学】（回答の多い順に並び替え）



◇年間平均対処日数

親族・知人に子どもをみてもらった（同居している場合も含む）	6.02日
子どもを同行させた	9.14日
子どもだけで留守番をさせた	4.50日
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	4.50日
その他の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	—
その他	2.40日

(5)

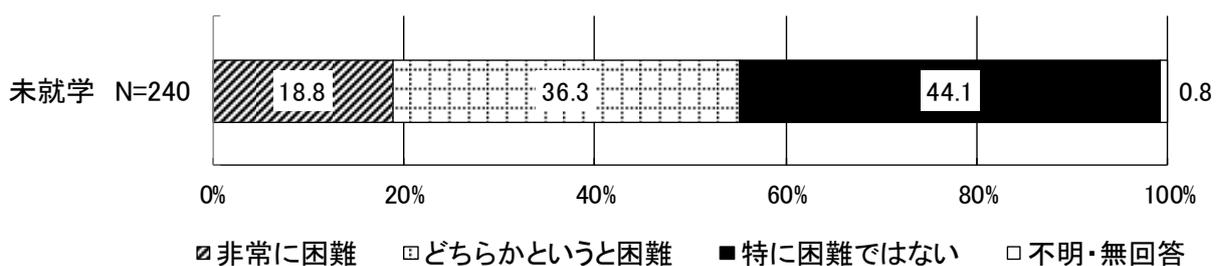
(4)で「親族・知人に子どもをみてもらった（同居している場合も含む）」に○をつけた方にかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（○は1つ）

【未就学 問26-1】

- 「特に困難ではない」が44.1%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が36.3%、「非常に困難」が18.8%と続いています。

【未就学】



## 8. 放課後の過ごし方

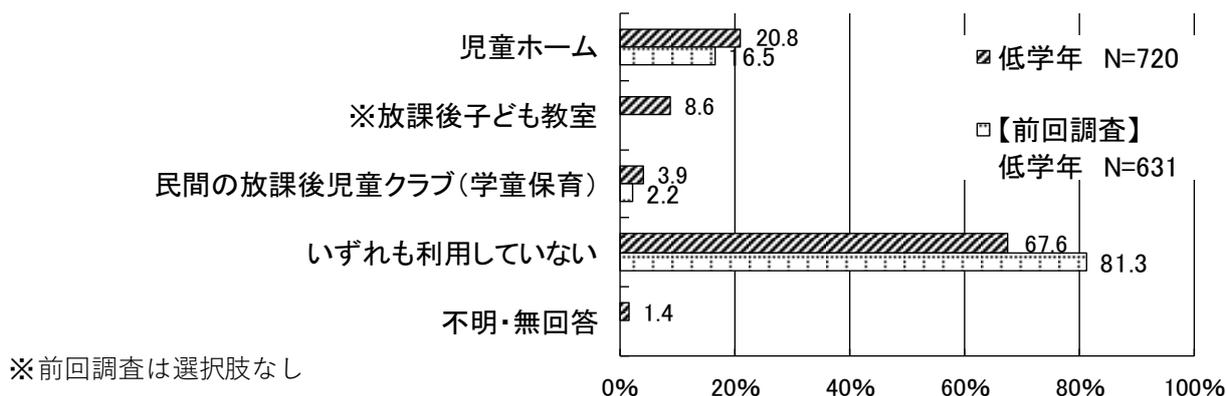
(1)

お子さんは次の放課後事業を利用していますか。(○はいくつでも)

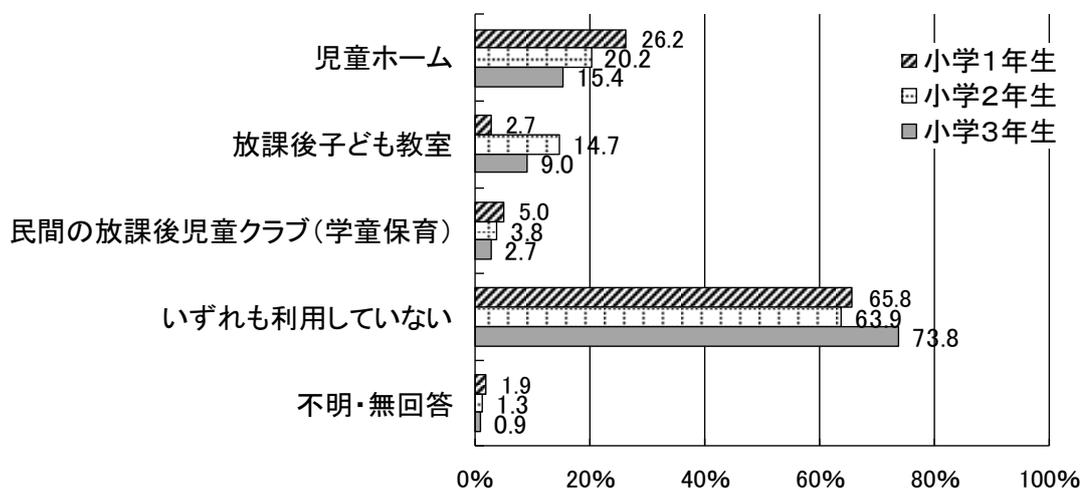
【低学年 問12】

- 低学年は、「いずれも利用していない」が67.6%と最も高く、次いで「児童ホーム」が20.8%、「放課後子ども教室」が8.6%と続いており、前回調査と比べて「いずれも利用していない」との回答率が低下しています。
- 学年別で見ると、「児童ホーム」の利用率は、1年生26.2%、2年生20.2%、3年生15.4%となっており、「放課後子ども教室」は2年生が14.7%と比較的高くなっています。

【低学年】(回答の多い順に並び替え)



【低学年 学年別】



- お住まいの小学校区別で見ると、「児童ホーム」の利用率は、相模が丘が37.3%と最も高く、中原や相武台東も比較的高くなっており、「放課後子ども教室」は、現在実施中の5つの校区（相武台東、ひばりが丘、東原、立野台、入谷）でいずれも10%台の利用率となっています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、「児童ホーム」の利用率は、B（フルタイム×フルタイム）の家庭が56.0%、A（ひとり親家庭）が47.4%、C（フルタイム×パートタイム月120時間以上等）の家庭が26.1%となっています。

【低学年 お住まいの小学校区別等】

		回答者数	放課後子ども教室	児童ホーム	民間の放課後児童クラブ(学童保育)	いずれも利用していない	不明・無回答
お住まいの小学校区	全体	720	8.6%	20.8%	3.9%	67.6%	1.4%
	座間	111	1.8%	18.9%	5.4%	72.1%	1.8%
	栗原	73	2.7%	19.2%	2.7%	75.3%	1.4%
	相模野	55	0.0%	20.0%	5.5%	74.5%	0.0%
	相武台東	61	16.4%	26.2%	1.6%	60.7%	0.0%
	ひばりが丘	42	19.0%	16.7%	0.0%	66.7%	4.8%
	東原	75	17.3%	14.7%	2.7%	68.0%	1.3%
	相模が丘	75	1.3%	37.3%	2.7%	60.0%	1.3%
	立野台	86	16.3%	18.6%	8.1%	59.3%	0.0%
	入谷	61	18.0%	14.8%	4.9%	60.7%	3.3%
	旭	32	0.0%	6.3%	0.0%	93.8%	0.0%
主な家庭類型【現在】	中原	47	2.1%	29.8%	4.3%	66.0%	2.1%
	A(ひとり親家庭)	38	5.3%	47.4%	7.9%	36.8%	5.3%
	B(フルタイム×フルタイム)	150	10.0%	56.0%	7.3%	33.3%	0.0%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	46	10.9%	26.1%	10.9%	54.3%	2.2%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	238	9.2%	10.5%	2.1%	77.3%	2.1%
	D(専業主婦(夫))	222	8.1%	2.3%	1.4%	88.7%	0.0%

(2)

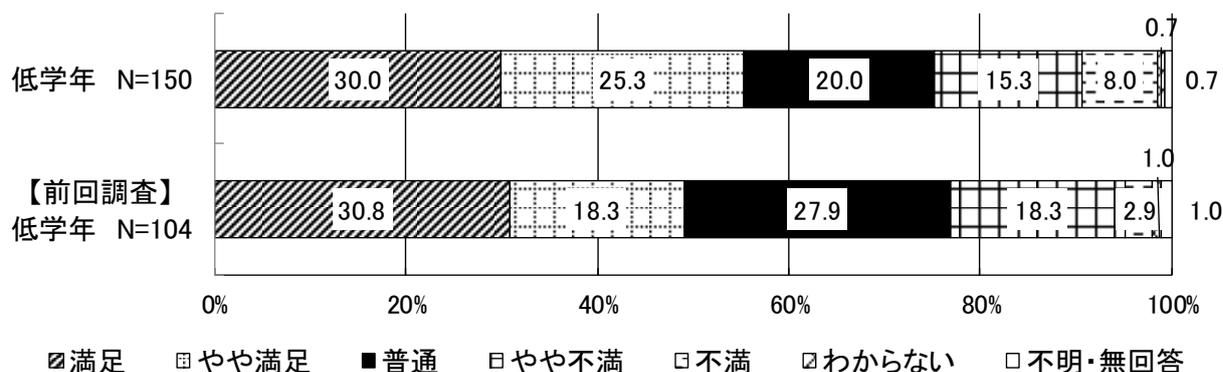
(1)で「児童ホーム」に○をつけた方にうかがいます。

児童ホームに対する満足度を教えてください。(○は1つ)

【低学年 問12-1】

- 低学年は、「満足」が30.0%と最も高く、次いで「やや満足」が25.3%、「普通」が20.0%と続いており、満足(満足、やや満足)との評価は55.3%と、不満(やや不満、不満)の23.3%を大幅に上回っています。
- 前回調査と比べて、満足(満足、やや満足)との評価が上昇しています。

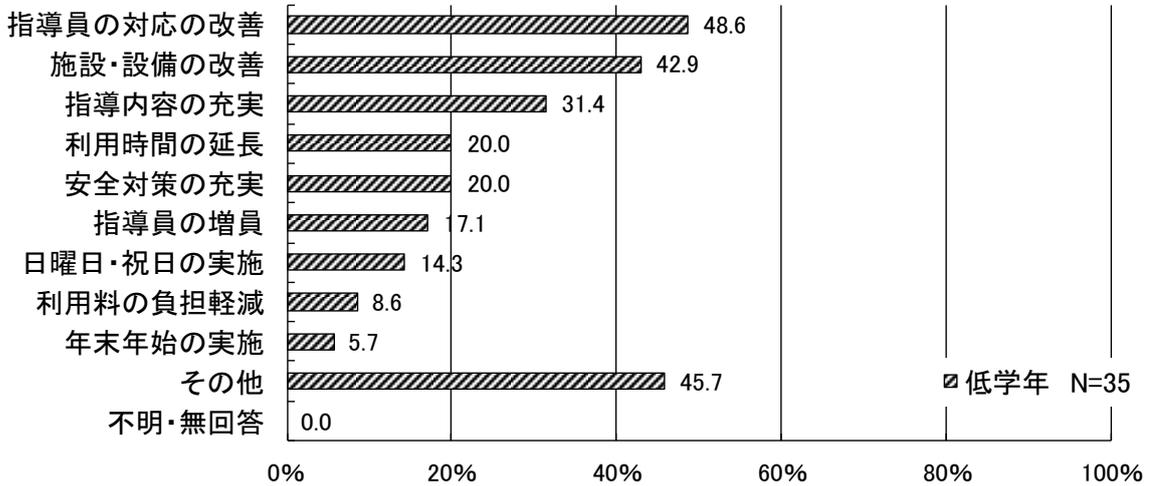
【低学年】



(3) (2)で「やや不満」又は「不満」に○をつけた方にうかがいます。  
 今後の利用にあたり、どのような要望がありますか。(○はいくつでも)  
 【低学年 問12-2】

- 低学年は、「指導員の対応の改善」が48.6%、「その他(主な内容:利用定員の拡大、土曜日の早朝保育がない、遠い等)」が45.7%とこれらが上位2つで、次いで「施設・設備の改善」が42.9%と続いています。

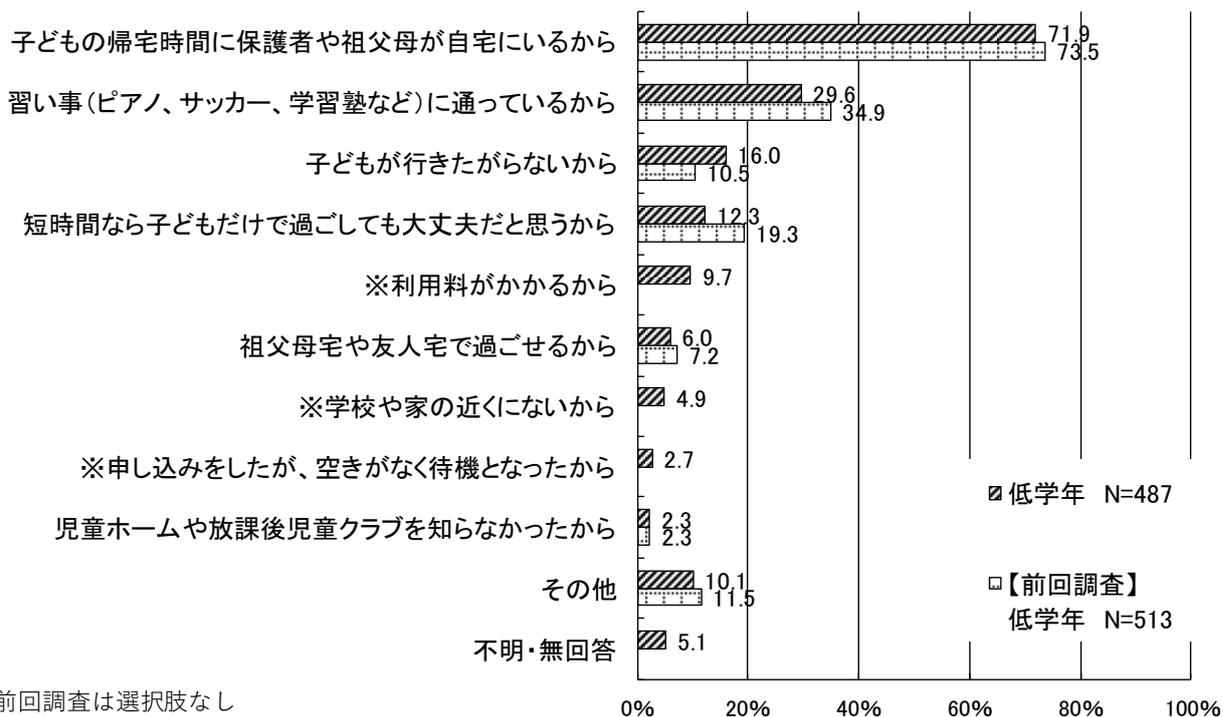
【低学年】(回答の多い順に並び替え)



(4) (1)で「いずれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)  
 【低学年 問12-3】

- 低学年は、「子どもの帰宅時間に保護者や祖父母が自宅にいるから」が71.9%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)に通っているから」が29.6%、「子どもが行きたがらないから」が16.0%と続いています。
- 前回調査と比べて、「子どもが行きたがらないから」との回答率が上昇しています。

【低学年】(回答の多い順に並び替え)



※前回調査は選択肢なし

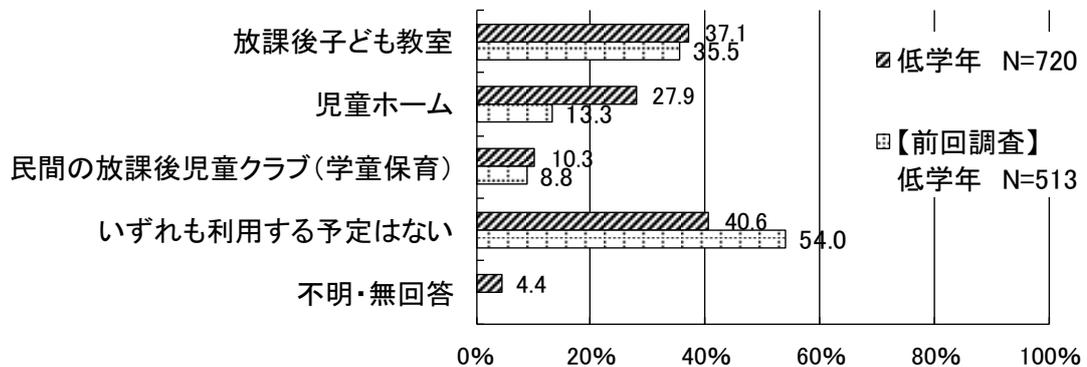
(5)

お子さんについて、今後(今後も)利用したいものはありますか。(〇はいくつでも)

【低学年 問13】

- 低学年は、「いずれも利用する予定はない」が40.6%と最も高く、次いで「放課後子ども教室」が37.1%、「児童ホーム」が27.9%と続いており、前回調査と比べて「児童ホーム」の利用希望率が上昇しています。
- お住まいの小学校区別で見ると、「児童ホーム」の利用希望率は、相模が丘が44.0%と最も高く、いずれの校区も現在の利用率(55ページ参照)を上回る利用希望率となっています。「放課後子ども教室」の利用希望率は、現在実施中の5つの校区(相武台東、ひばりが丘、東原、立野台、入谷)で比較的高い一方、他の校区も20%以上の利用希望率となっています。
- お子さんの学年別で見ると、小学1年生では「放課後子ども教室」が42.7%、「児童ホーム」が36.9%と、上の学年と比べて高くなっています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、「児童ホーム」の利用希望率は、B(フルタイム×フルタイム)の家庭が58.7%、A(ひとり親家庭)が44.7%、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭が26.1%となっています。

【低学年】(回答の多い順に並び替え)



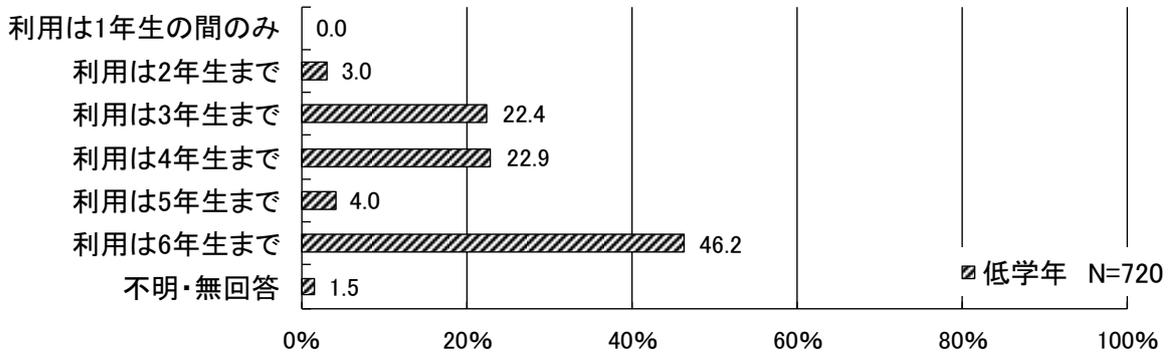
【低学年 お住まいの小学校区別等】

		回答者数	放課後子ども教室	児童ホーム	民間の放課後児童クラブ(学童保育)	いずれも利用する予定はない	不明・無回答
お住まいの小学校区	全体	720	37.1%	27.9%	10.3%	40.6%	4.4%
	座間	111	25.2%	23.4%	10.8%	53.2%	3.6%
	栗原	73	28.8%	31.5%	6.8%	49.3%	4.1%
	相模野	55	30.9%	34.5%	12.7%	45.5%	1.8%
	相武台東	61	59.0%	29.5%	6.6%	24.6%	4.9%
	ひばりが丘	42	61.9%	19.0%	11.9%	21.4%	7.1%
	東原	75	56.0%	25.3%	5.3%	29.3%	4.0%
	相模が丘	75	20.0%	44.0%	16.0%	40.0%	2.7%
	立野台	86	40.7%	24.4%	14.0%	39.5%	5.8%
	入谷	61	37.7%	23.0%	6.6%	39.3%	6.6%
	旭	32	34.4%	12.5%	9.4%	50.0%	6.3%
	中原	47	27.7%	31.9%	12.8%	44.7%	4.3%
	お子さんの学年	小学1年生	260	42.7%	36.9%	14.2%	31.2%
小学2年生		238	39.1%	29.0%	8.8%	39.9%	3.8%
小学3年生		221	28.5%	16.3%	7.2%	52.0%	5.4%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	38	36.8%	44.7%	7.9%	23.7%	5.3%
	B(フルタイム×フルタイム)	150	32.7%	58.7%	18.7%	23.3%	4.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	46	39.1%	26.1%	15.2%	32.6%	4.3%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	238	34.0%	18.5%	8.8%	50.0%	3.4%
	D(専業主婦(夫))	222	44.6%	14.9%	5.4%	46.4%	3.6%

(6) (5)で「児童ホーム」に○をつけた方にうかがいます。  
 何年生までの利用を希望しますか。(○は1つ)  
 【低学年 問13-1】

- 低学年は、「利用は6年生まで」が46.2%と最も高く、次いで「利用は4年生まで」が22.9%、「利用は3年生まで」が22.4%と続いています。

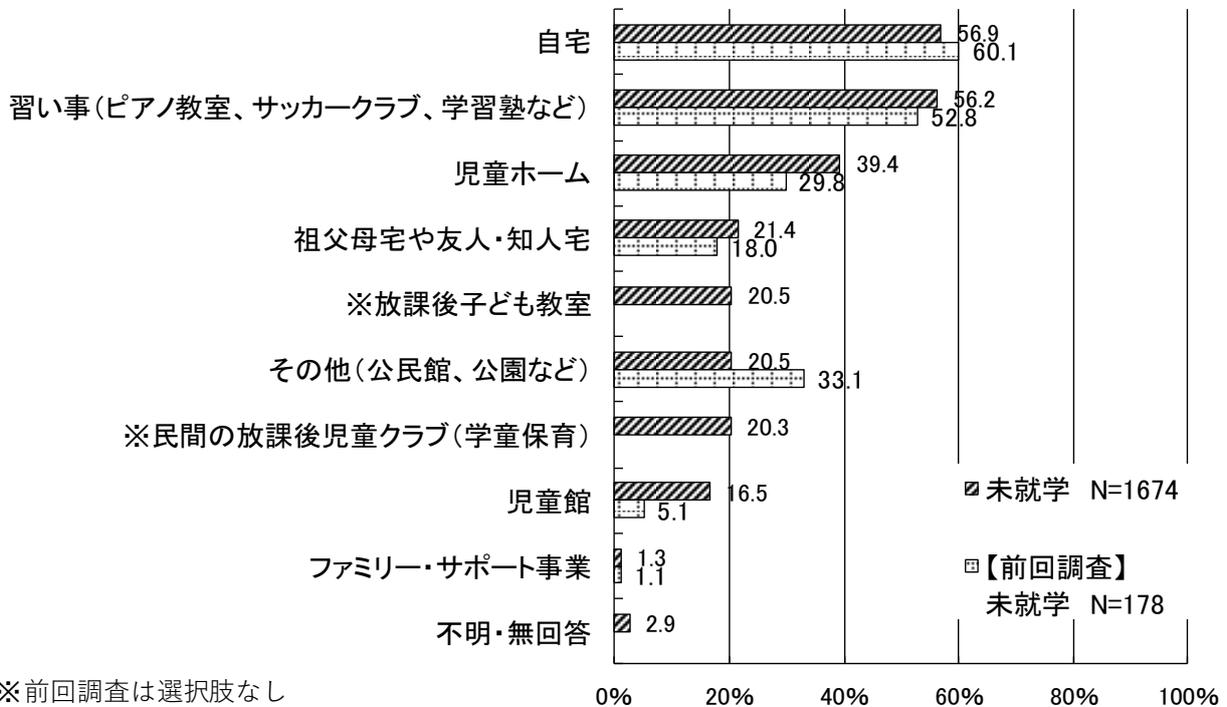
【低学年】



(7) お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所や事業で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)  
 【未就学 問27】

- 未就学は、「自宅」が56.9%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が56.2%とこれらが上位2つで、次いで「児童ホーム」が39.4%と続いており、前回調査と比べて「児童ホーム」の利用希望率が上昇しています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



◇1週当たり平均希望日数

自宅	3.11日	その他(公民館、公園など)	2.33日
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	1.82日	民間の放課後児童クラブ(学童保育)	3.97日
児童ホーム	4.21日	児童館	2.75日
祖父母宅や友人・知人宅	1.93日	ファミリー・サポート事業	2.94日
放課後子ども教室	2.67日		

- 未就学の主な家庭類型【現在】別で見ると、「児童ホーム」の利用希望率は、B(フルタイム×フルタイム)の家庭が69.5%、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭が67.9%、A(ひとり親家庭)が49.5%となっています。B(フルタイム×フルタイム)の家庭では、「民間の放課後児童クラブ(学童保育)」が38.8%となっており、C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)やD(専業主婦(夫))の家庭では、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が比較的高くなっています。

【未就学 主な家庭類型【現在】別】

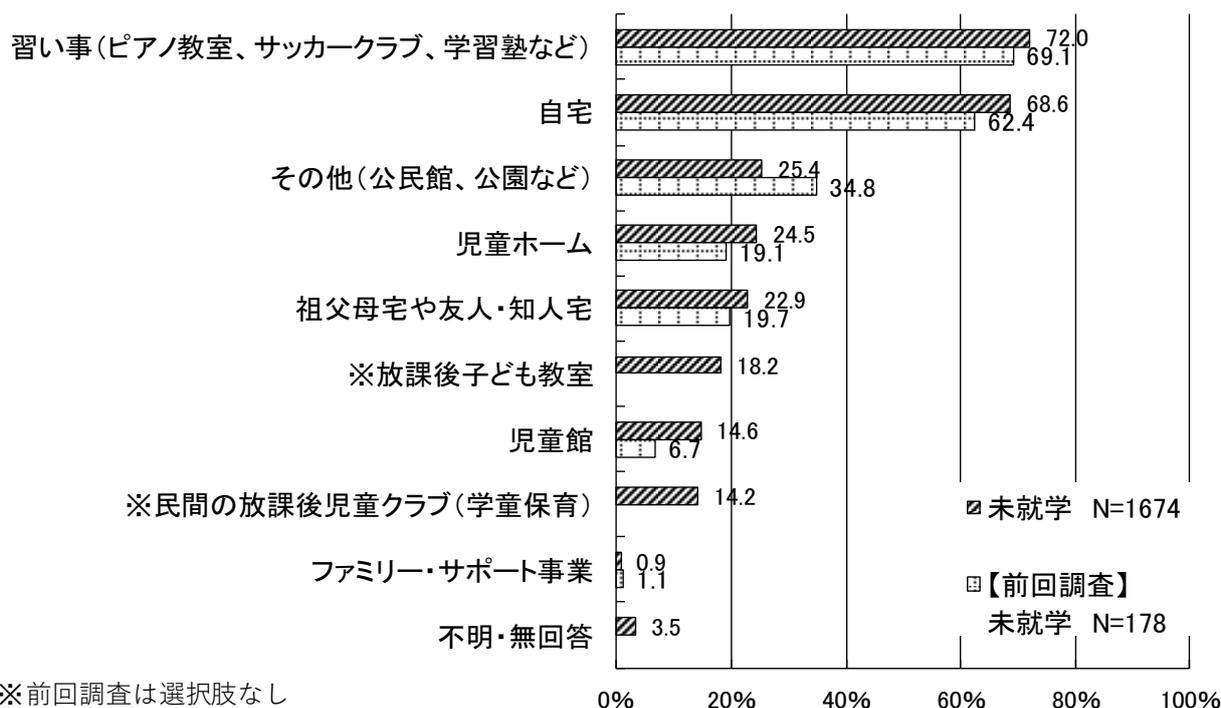
		回答者数	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾 など)	放課後 子ども 教室	児童 ホーム	民間の 放課後 児童ク ラブ(学 童保 育)	その他 (公民 館、公 園など)
全体		1674	56.2%	20.5%	39.4%	20.3%	20.5%
主な家庭類 型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	47.3%	13.2%	49.5%	20.9%	7.7%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	36.7%	21.1%	69.5%	38.8%	6.0%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	38.8%	24.2%	67.9%	23.0%	9.1%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	65.8%	20.1%	28.2%	13.2%	25.2%
	D(専業主婦(夫))	686	71.6%	21.0%	17.5%	10.6%	32.8%

(8)

お子さんについて、小学校高学年(4~6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所や事業で過ごさせたいと思いますか。(〇はいくつでも)  
【未就学 問28】

- 未就学は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が72.0%と最も高く、次いで「自宅」が68.6%、「その他(公民館、公園など)」が25.4%と続いており、前回調査と比べて「児童ホーム」の利用希望率が上昇しています。

【未就学】(回答の多い順に並び替え)



◇1週当たり平均希望日数

習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	2.15日	放課後子ども教室	2.73日
自宅	3.01日	児童館	2.45日
その他(公民館、公園など)	2.31日	民間の放課後児童クラブ(学童保育)	3.76日
児童ホーム	3.95日	ファミリー・サポート事業	2.60日
祖父母宅や友人・知人宅	1.98日		

- 未就学の主な家庭類型【現在】別で見ると、いずれの類型も「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が60%以上と比較的高くなっており、「児童ホーム」の利用希望率は、B(フルタイム×フルタイム)の家庭が42.9%、C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)の家庭が34.5%、A(ひとり親家庭)が34.1%となっています。

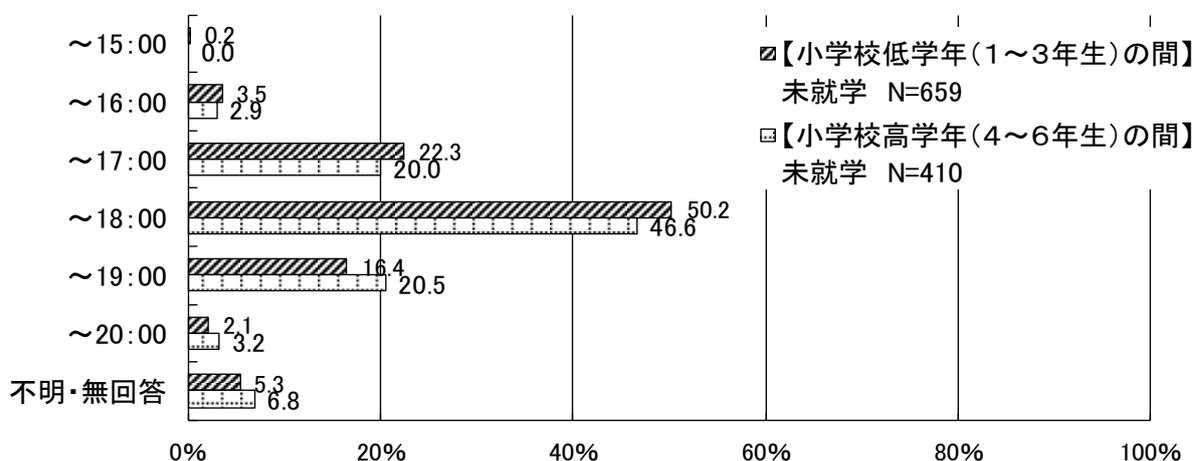
【未就学 主な家庭類型【現在】別】

		回答者数	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾 など)	放課後 子ども 教室	児童 ホーム	民間の 放課後 児童ク ラブ(学 童保 育)	その他 (公民 館、公 園など)
全体		1674	72.0%	18.2%	24.5%	14.2%	25.4%
主な家庭類 型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	60.4%	13.2%	34.1%	11.0%	14.3%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	61.9%	19.3%	42.9%	25.0%	13.3%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	66.7%	25.5%	34.5%	17.6%	16.4%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	78.6%	15.0%	15.0%	7.7%	30.3%
	D(専業主婦(夫))	686	79.9%	18.1%	13.6%	9.2%	35.6%

(9) (7)又は(8)で「児童ホーム」に○をつけた方にうかがいます。  
児童ホームの利用を希望する時間を枠内に数字で記入してください。  
【未就学 問27・問28】

- 小学校低学年(1~3年生)の間は、「~18:00」が50.2%と最も高く、次いで「~17:00」が22.3%、「~19:00」が16.4%と続いています。
- 小学校高学年(4~6年生)の間は、未就学は、「~18:00」が46.6%と最も高く、次いで「~19:00」が20.5%、「~17:00」が20.0%と続いています。

【未就学】



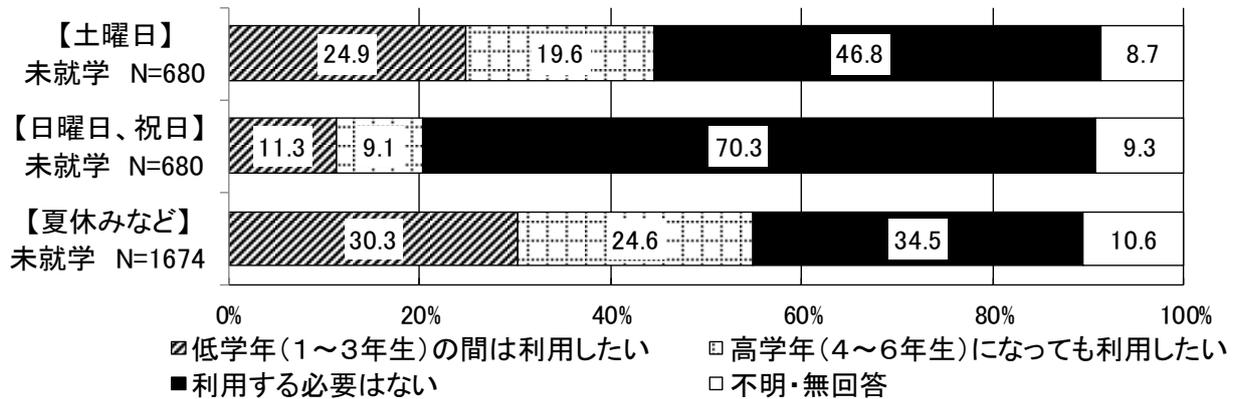
(10)

土曜日や日曜日、祝日、夏休みなどの児童ホームの利用希望はありますか。

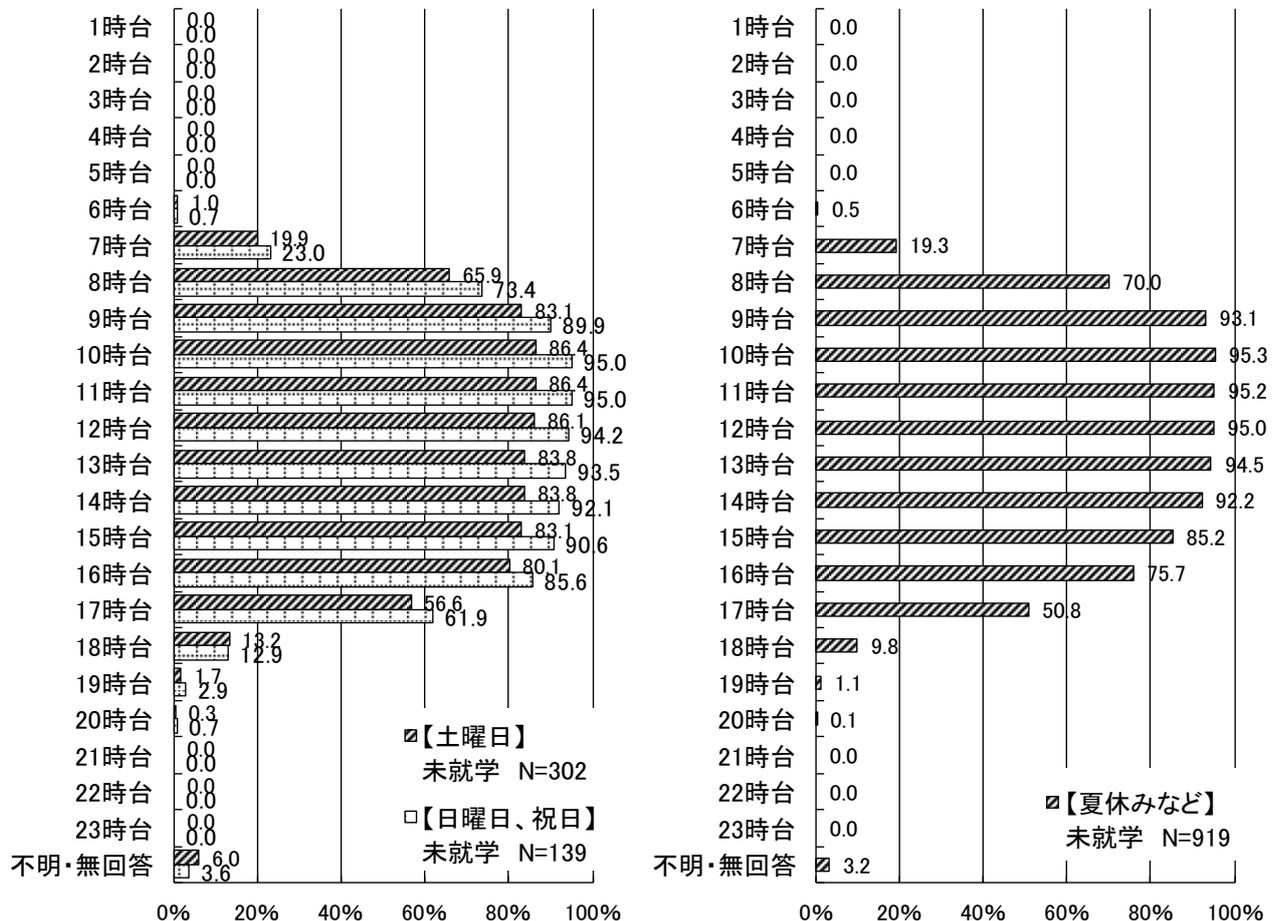
(○は1つ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入)【未就学 問29・問30】

- 土曜日は、「利用する必要はない」が46.8%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が24.9%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が19.6%と続いています。
- 日曜日、祝日は、「利用する必要はない」が70.3%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が11.3%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が9.1%と続いています。
- 夏休みなどは、「利用する必要はない」が34.5%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が30.3%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が24.6%と続いています。
- 希望の時間帯は、土曜日、日曜日、祝日、夏休みなどのいずれも、「8時台」から「17時台」にかけて半数(50%)以上となっています。

【未就学】



◇希望の時間帯



## 9. 座間市の子育ての環境や支援など

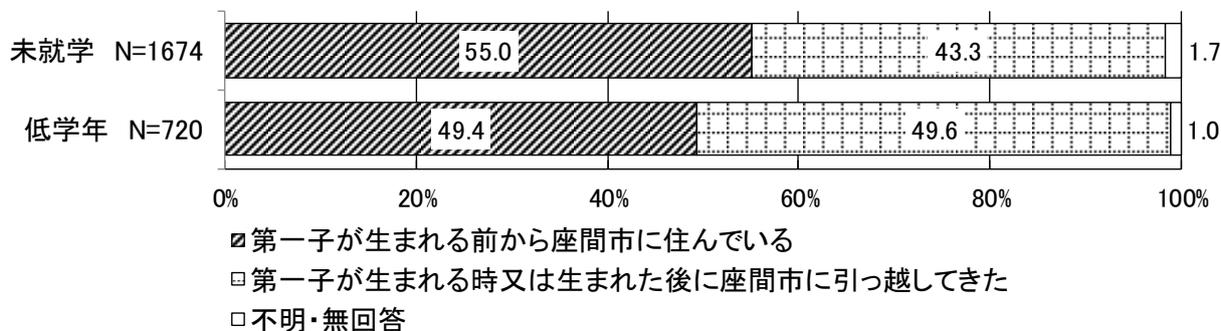
(1)

いつごろから座間市にお住まいですか。(○は1つ)

【未就学 問31】【低学年 問14】

- 未就学は、「第一子が生まれる前から座間市に住んでいる」が55.0%、「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が43.3%となっています。
- 低学年は、「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が49.6%、「第一子が生まれる前から座間市に住んでいる」が49.4%となっています。
- 未就学についてお住まいの小学校区別で見ると、旭と中原は「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が50%以上となっています。
- 未就学についてお子さんの年齢3区分別で見ると、1・2歳と3～5歳は、0歳と比べて「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が比較的高くなっています。

【未就学】【低学年】



【未就学 お住まいの小学校区別等】

		回答者数	第一子が生まれる前から座間市に住んでいる	第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた	不明・無回答
全体		1674	55.0%	43.3%	1.7%
お住まいの小学校区	座間	218	57.3%	40.4%	2.3%
	栗原	182	53.9%	45.6%	0.5%
	相模野	81	51.8%	45.7%	2.5%
	相武台東	185	58.4%	40.5%	1.1%
	ひばりが丘	110	56.4%	43.6%	0.0%
	東原	146	50.6%	47.3%	2.1%
	相模が丘	204	57.3%	40.2%	2.5%
	立野台	177	54.8%	42.4%	2.8%
	入谷	134	65.7%	34.3%	0.0%
	旭	80	43.8%	54.9%	1.3%
中原	77	46.8%	51.9%	1.3%	
お子さんの年齢3区分	0歳	293	64.2%	33.8%	2.0%
	1・2歳	543	54.0%	44.9%	1.1%
	3～5歳	795	52.7%	45.5%	1.8%

- 低学年についてお住まいの小学校区別で見ると、相模野と東原は「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が60%以上となっています。
- お子さんの学年別で見ると、学年による大きな差は見られません。

【低学年 お住まいの小学校区別等】

		回答者数	第一子が生まれる前 から座間市に住 んでいる	第一子が生まれる 時又は生まれた後 に座間市に引っ越 してきた	不明・無回答
全体		720	49.4%	49.6%	1.0%
お住まいの 小学校区	座間	111	51.4%	48.6%	0.0%
	栗原	73	50.7%	47.9%	1.4%
	相模野	55	34.5%	65.5%	0.0%
	相武台東	61	59.0%	41.0%	0.0%
	ひばりが丘	42	45.2%	50.0%	4.8%
	東原	75	36.0%	61.3%	2.7%
	相模が丘	75	56.0%	44.0%	0.0%
	立野台	86	46.5%	53.5%	0.0%
	入谷	61	59.1%	39.3%	1.6%
	旭	32	59.4%	40.6%	0.0%
	中原	47	46.8%	51.1%	2.1%
お子さんの 学年	小学1年生	260	48.8%	49.7%	1.5%
	小学2年生	238	51.3%	48.3%	0.4%
	小学3年生	221	48.0%	51.1%	0.9%

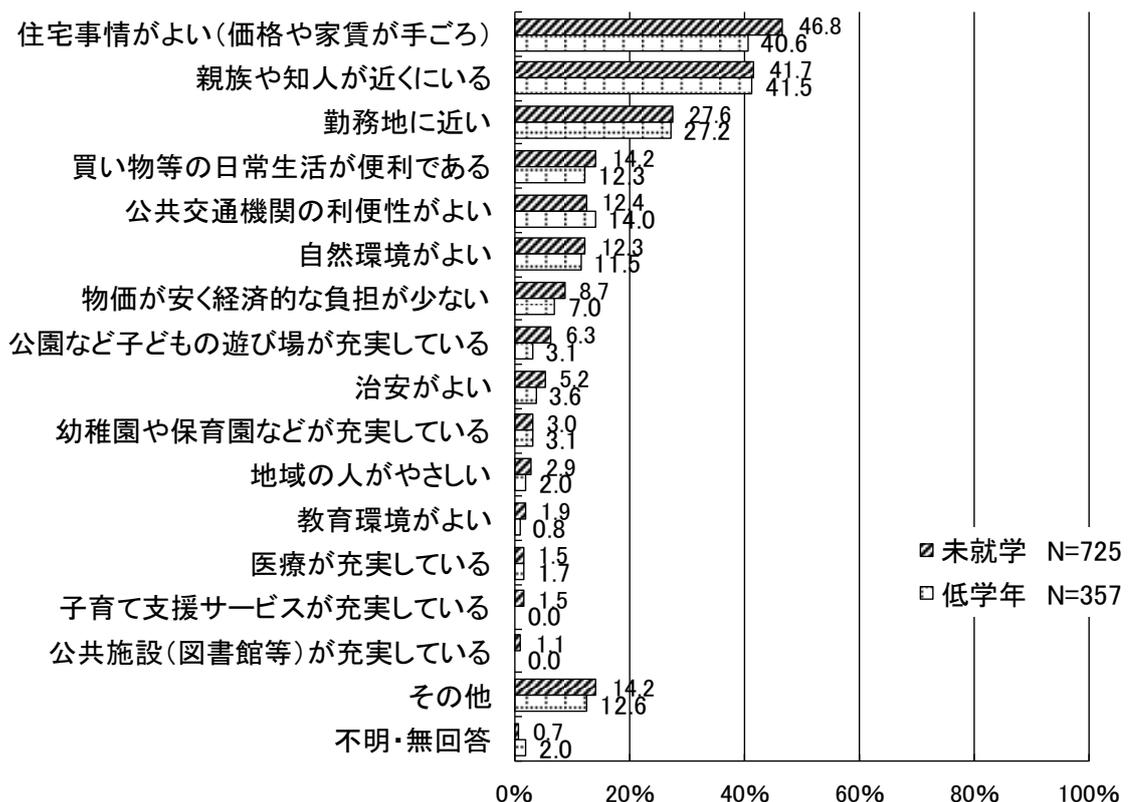
(2)

(1)で「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」に○をつけた方にうかがいます。座間市への転入を決めた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【未就学 問31-1】【低学年 問14-1】

- 未就学は、「住宅事情がよい(価格や家賃が手ごろ)」が46.8%と最も高く、次いで「親族や知人が近くにいる」が41.7%、「勤務地に近い」が27.6%と続いています。
- 低学年は、「親族や知人が近くにいる」が41.5%、「住宅事情がよい(価格や家賃が手ごろ)」が40.6%とこれらが上位2つで、次いで「勤務地に近い」が27.2%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)



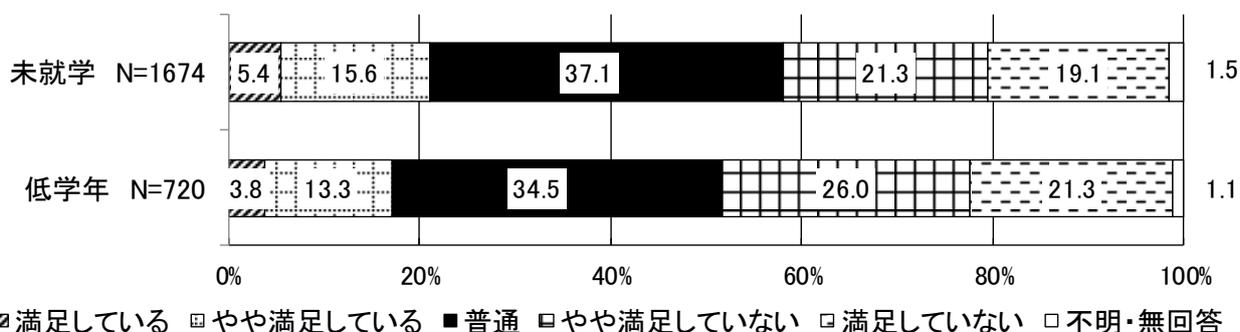
(3)

座間市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(〇は1つ)

【未就学 問32】【低学年 問15】

- 未就学は、「普通」が37.1%と最も高く、次いで「やや満足していない」が21.3%、「満足していない」が19.1%と続いており、満足(満足している、やや満足している)との評価は21.0%と、不満(やや満足していない、満足していない)の40.4%を大幅に下回っています。
- 低学年は、「普通」が34.5%と最も高く、次いで「やや満足していない」が26.0%、「満足していない」が21.3%と続いており、満足(満足している、やや満足している)との評価は17.1%と、不満(やや満足していない、満足していない)の47.3%を大幅に下回っています。
- 未就学についてお住まいの小学校区別で見ると、満足(満足している、やや満足している)との評価は、旭が15.1%、相模が丘が15.7%と、それぞれ比較的低くなっています。
- 気軽な相談先が“ない”という場合は、「満足していない」が34.5%と比較的高く、ご家庭の現在の暮らしの状況が“大変苦しい”という場合も、同回答が46.7%と比較的高くなっています。
- 市への転入状況による大きな差は見られません。

【未就学】【低学年】



【未就学 お住まいの小学校区別等】

		回答者数	満足している	やや満足している	普通	やや満足していない	満足していない	不明・無回答
お住まいの小学校区	全体	1674	5.4%	15.6%	37.1%	21.3%	19.1%	1.5%
	座間	218	5.0%	17.9%	37.6%	21.1%	16.1%	2.3%
	栗原	182	6.0%	13.2%	39.6%	23.1%	17.0%	1.1%
	相模野	81	7.4%	16.0%	34.6%	18.5%	21.0%	2.5%
	相武台東	185	4.9%	16.2%	38.3%	19.5%	21.1%	0.0%
	ひばりが丘	110	4.5%	13.6%	31.9%	27.3%	21.8%	0.9%
	東原	146	4.1%	21.2%	37.0%	18.5%	17.1%	2.1%
	相模が丘	204	2.5%	13.2%	38.7%	25.0%	18.6%	2.0%
	立野台	177	5.6%	15.8%	41.8%	20.9%	15.3%	0.6%
	入谷	134	4.5%	16.4%	30.6%	23.1%	25.4%	0.0%
	旭	80	3.8%	11.3%	37.3%	23.8%	21.3%	2.5%
中原	77	7.8%	15.6%	36.3%	14.3%	24.7%	1.3%	
気軽な相談先の有無	ある	1556	5.5%	15.7%	38.0%	21.5%	17.9%	1.4%
	ない	113	3.5%	13.3%	29.2%	18.6%	34.5%	0.9%
市への転入状況	第一子が生まれる前から住んでいる	921	5.6%	15.0%	38.2%	21.3%	18.9%	1.0%
	第一子出生前後に引っ越してきた	725	5.0%	16.7%	36.4%	22.1%	19.7%	0.1%
ご家庭の現在の暮らしの状況	大変ゆとりがある	24	12.5%	4.2%	41.7%	20.8%	20.8%	0.0%
	ややゆとりがある	231	7.4%	21.2%	33.8%	21.6%	15.6%	0.4%
	普通	893	5.7%	16.0%	41.2%	20.7%	15.7%	0.7%
	やや苦しい	389	4.4%	14.4%	35.4%	23.9%	21.1%	0.8%
	大変苦しい	118	1.7%	9.3%	23.7%	18.6%	46.7%	0.0%

- 低学年についても、市への転入状況による大きな差は見られません。

【低学年 市への転入状況別】

	回答者数	満足している	やや満足している	普通	やや満足していない	満足していない	不明・無回答	
全体	720	3.8%	13.3%	34.5%	26.0%	21.3%	1.1%	
市への転入状況	第一子が生まれる前から住んでいる	356	3.7%	13.2%	35.1%	29.2%	18.5%	0.3%
	第一子出生後に引っ越してきた	357	3.9%	13.7%	34.2%	22.7%	23.8%	1.7%

(4)

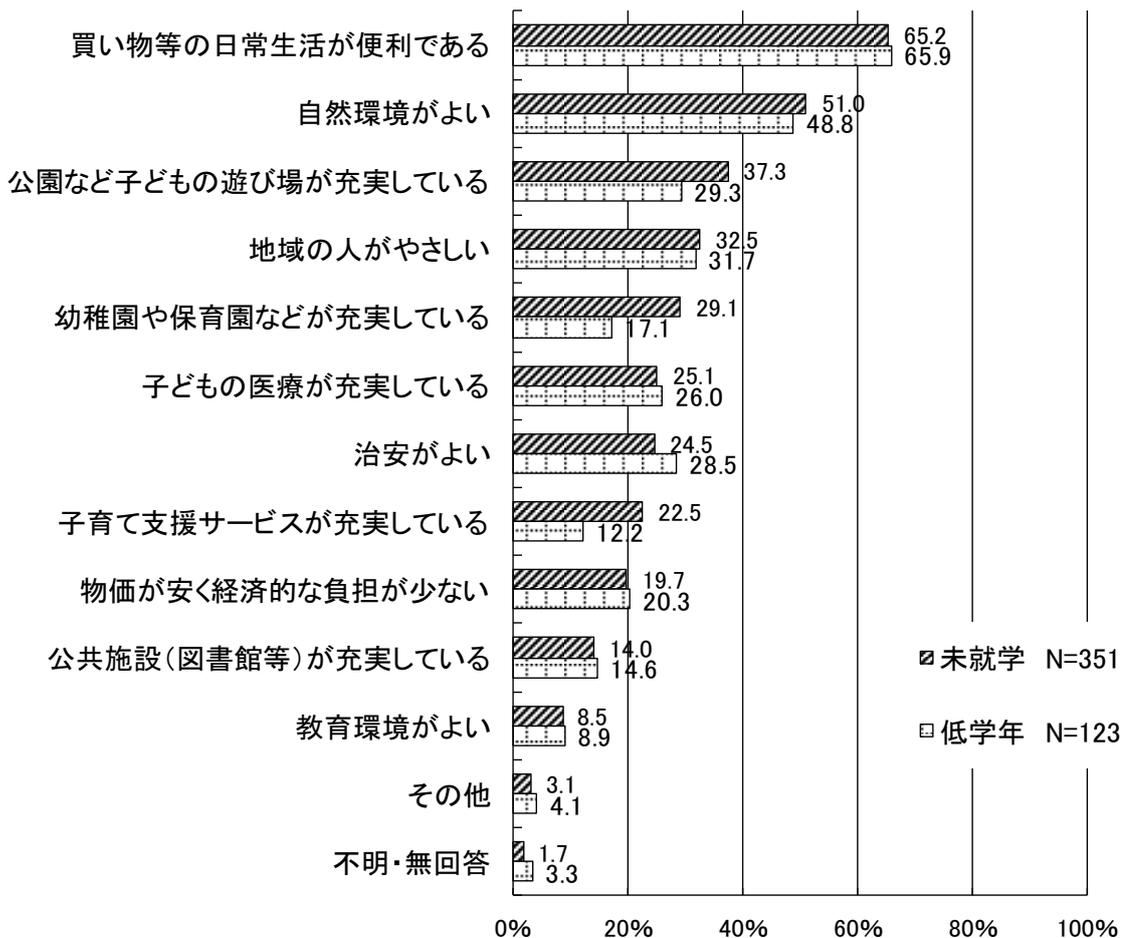
(3)で「満足している」又は「やや満足している」に○をつけた方にうかがいます。

満足している理由は何ですか。(○はいくつでも)

【未就学 問32-1】【低学年 問15-1】

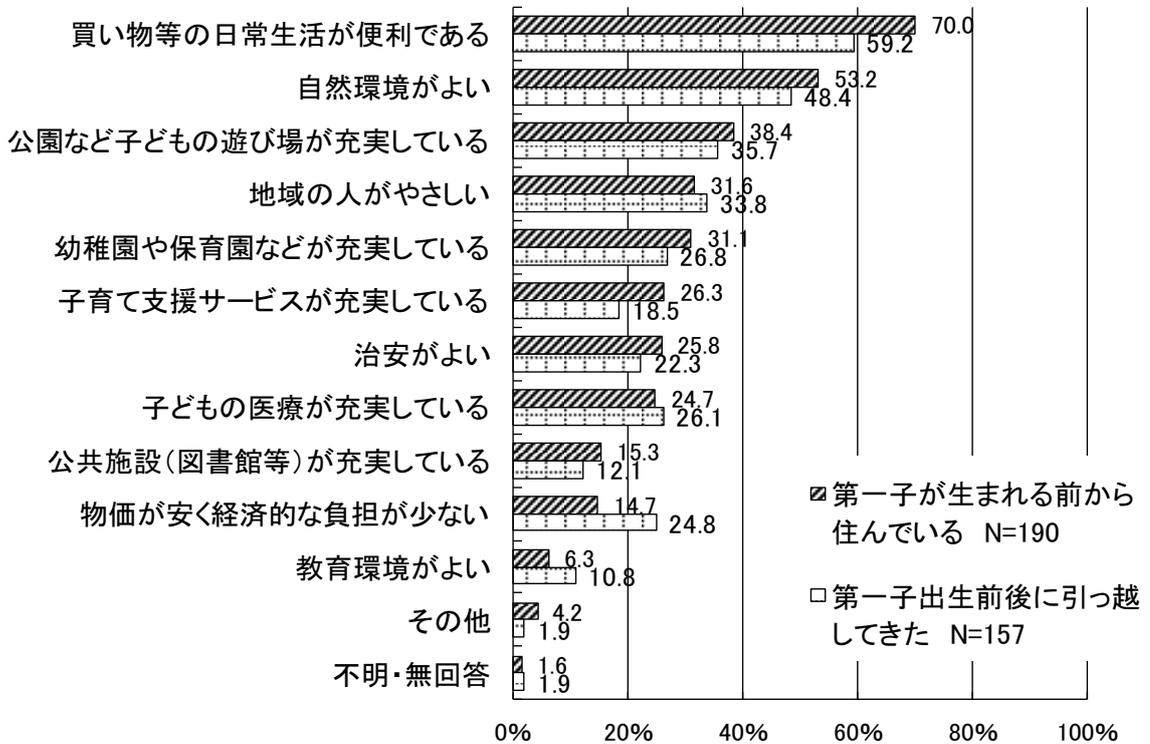
- 未就学は、「買い物等の日常生活が便利である」が65.2%と最も高く、次いで「自然環境がよい」が51.0%、「公園など子どもの遊び場が充実している」が37.3%と続いています。
- 低学年は、「買い物等の日常生活が便利である」が65.9%と最も高く、次いで「自然環境がよい」が48.8%、「地域の人やさしい」が31.7%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)

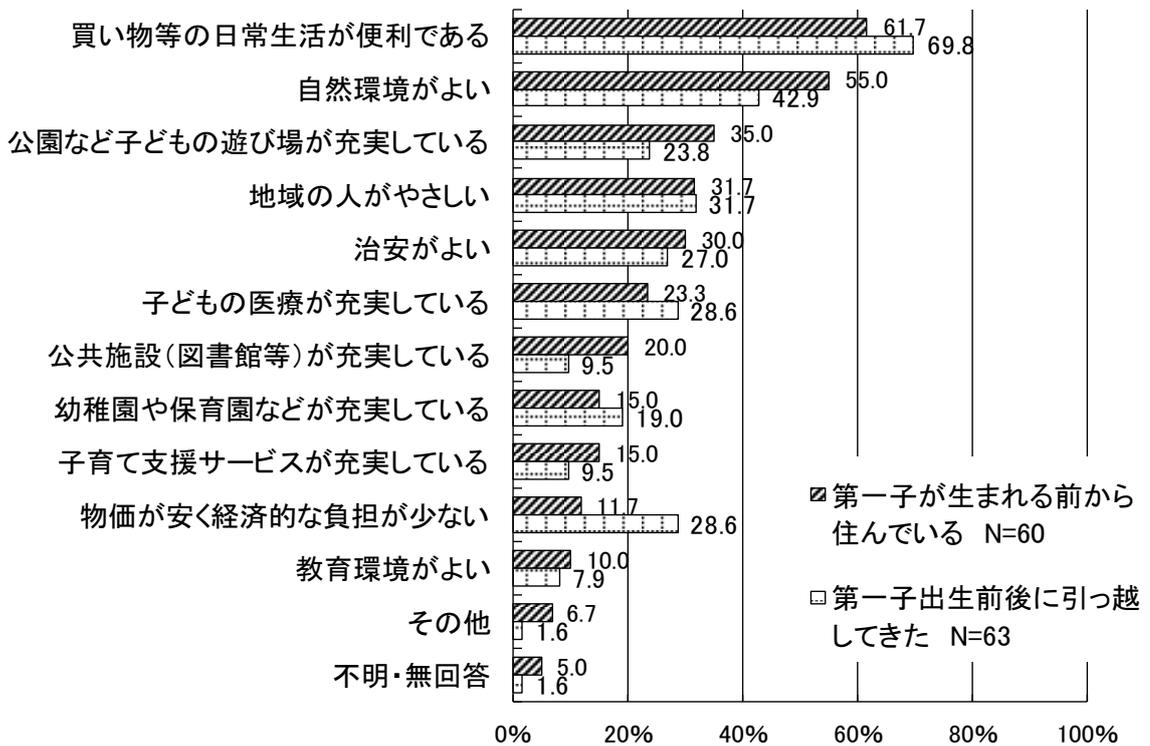


- 未就学、低学年ともに、市への転入状況に関わらず「買い物等の日常生活が便利である」、「自然環境がよい」、「公園など子どもの遊び場が充実している」が上位3つとなっています。
- “第一子出生前後に引っ越してきた”場合は、“第一子が生まれる前から住んでいる”という場合と比べて「物価が安く経済的な負担が少ない」との回答率が高く、低学年では「子どもの医療が充実している」との回答率も比較的高くなっています。

【未就学 市への転入状況別】



【低学年 市への転入状況別】



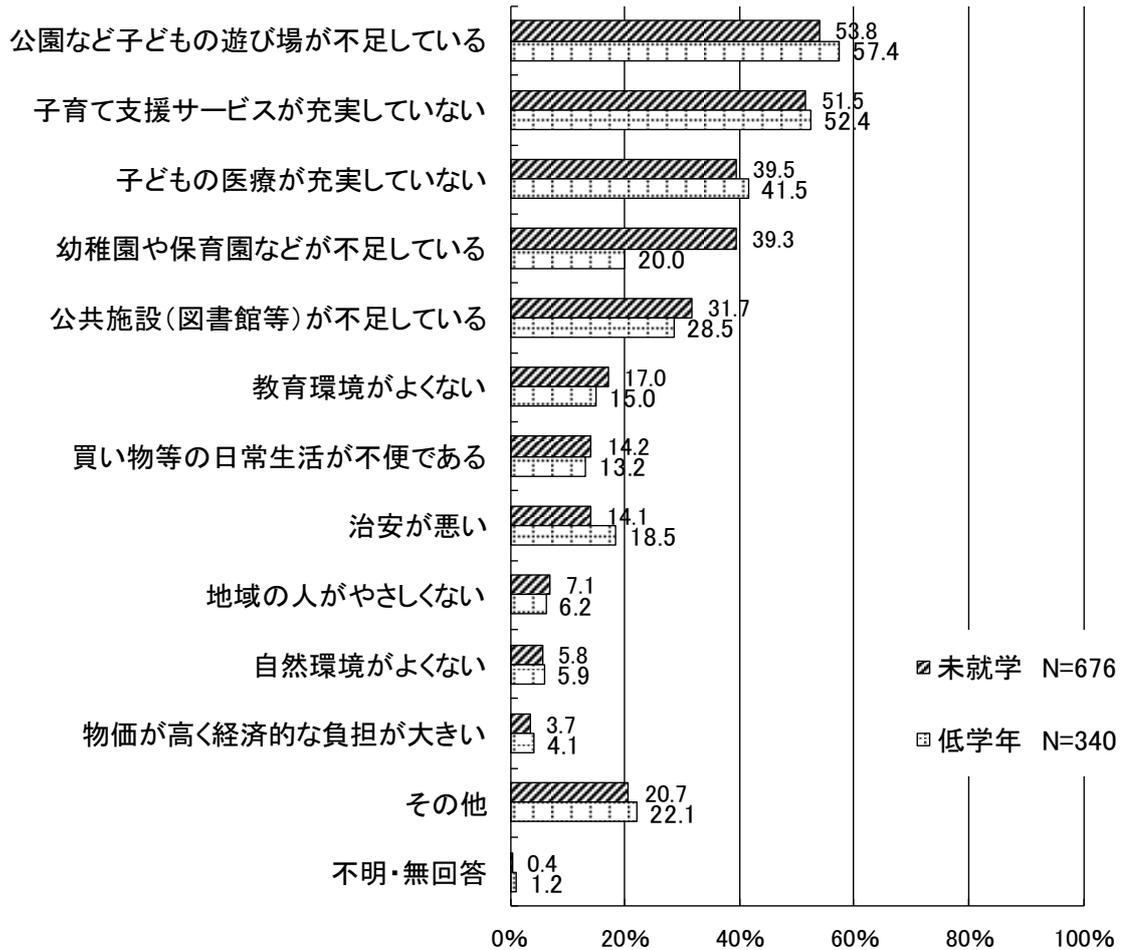
(5)

(3)で「やや満足していない」又は「満足していない」に○をつけた方にうかがいます。  
満足していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

【未就学 問32-2】【低学年 問15-2】

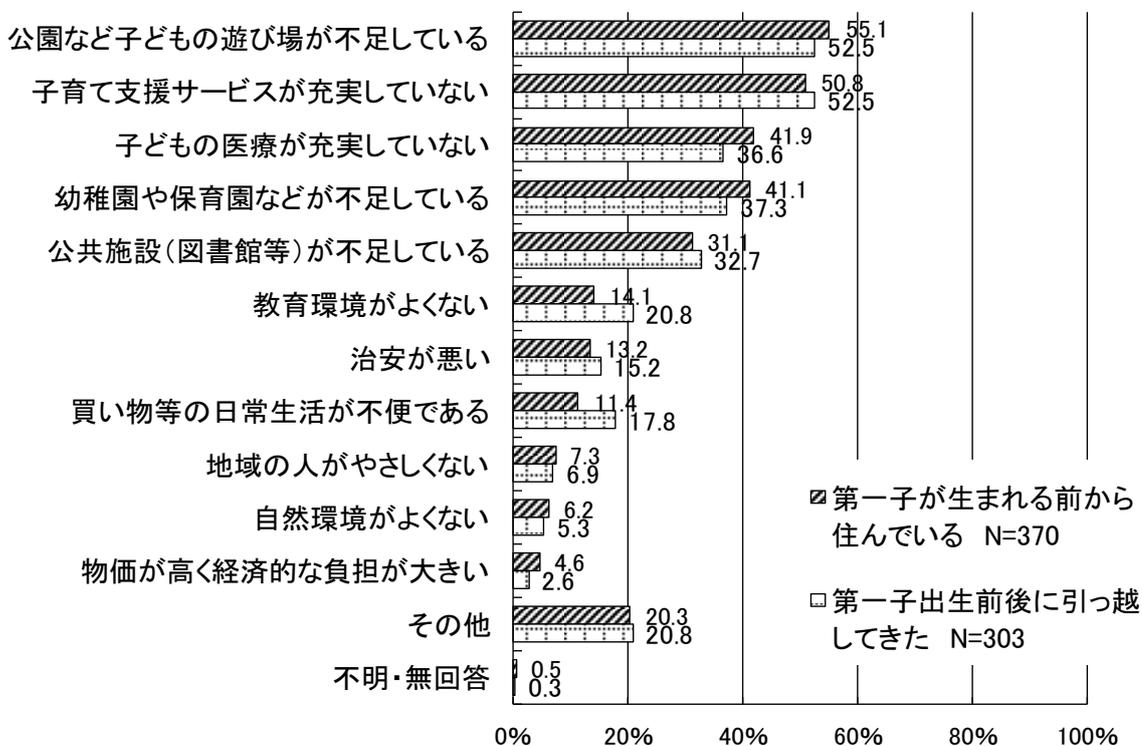
- 未就学は、「公園など子どもの遊び場が不足している」が53.8%、「子育て支援サービスが充実していない」が51.5%とこれらが上位2つで、次いで「子どもの医療が充実していない」が39.5%と続いています。
- 低学年は、「公園など子どもの遊び場が不足している」が57.4%と最も高く、次いで「子育て支援サービスが充実していない」が52.4%、「子どもの医療が充実していない」が41.5%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)

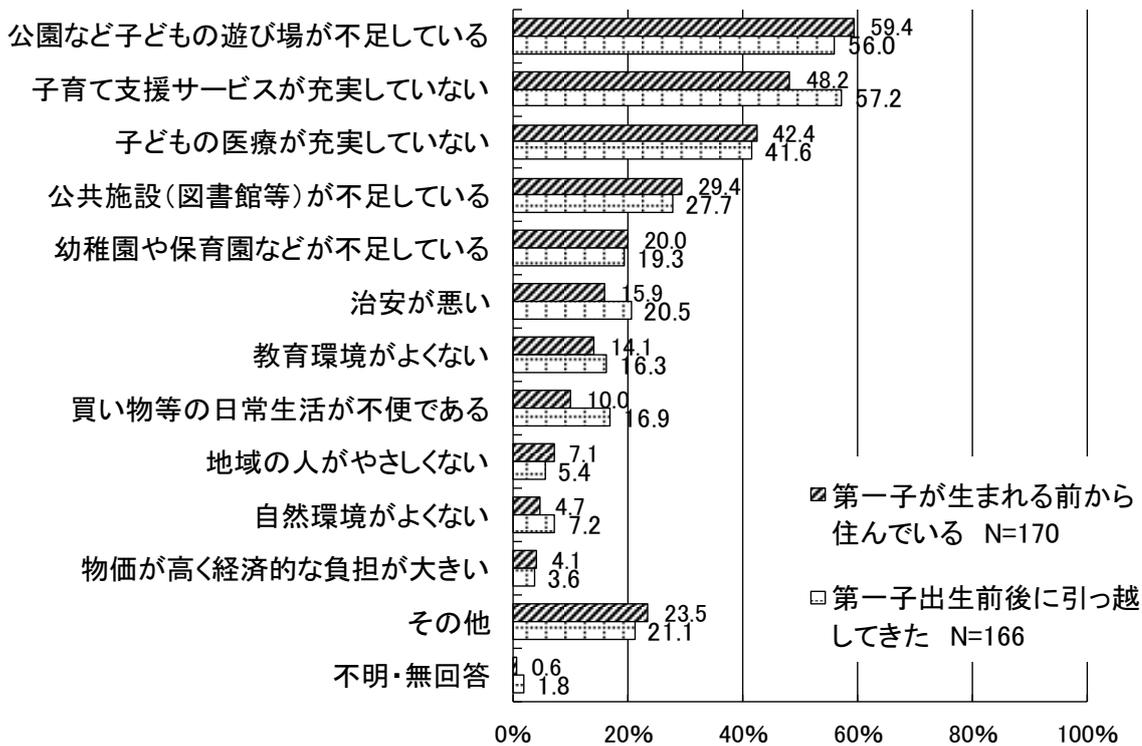


- 未就学、低学年ともに、市への転入状況に関わらず「公園など子どもの遊び場が不足している」と「子育て支援サービスが充実していない」が上位2つとなっています。
- “第一子出生前後に引っ越してきた”場合は、“第一子が生まれる前から住んでいる”という場合と比べて、未就学では「教育環境がよくない」との回答率が高く、低学年では「子育て支援サービスが充実していない」との回答率が比較的高くなっています。

【未就学 市への転入状況別】



【低学年 市への転入状況別】



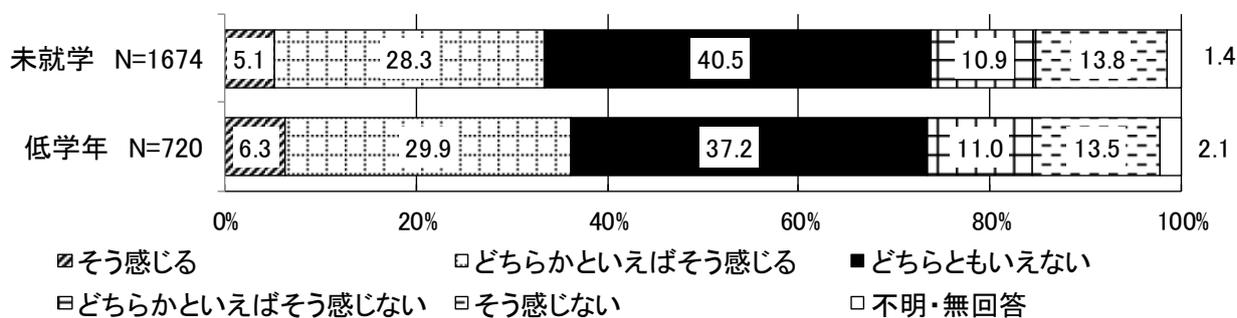
(6)

子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。

(○は1つ)【未就学 問33】【低学年 問16】

- 未就学は、「どちらともいえない」が40.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じる」が28.3%、「そう感じない」が13.8%と続いており、肯定的な評価(そう感じる、どちらかといえばそう感じる)は33.4%となっています。
- 低学年は、「どちらともいえない」が37.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じる」が29.9%、「そう感じない」が13.5%と続いており、肯定的な評価(そう感じる、どちらかといえばそう感じる)は36.2%となっています。
- 未就学についてお住まいの小学校区別で見ると、肯定的な評価(そう感じる、どちらかといえばそう感じる)は、立野台が41.3%と最も高く、次いで座間が34.8%と続いており、東原や旭、中原はいずれも肯定的な評価が20%台と比較的低くなっています。

【未就学】【低学年】



【未就学 お住まいの小学校区別】

		回答者数	そう感じる	どちらかとい えばそ う感じる	どちらとも いえない	どちらかとい えばそ う感じない	そう感じな い	不明・無 回答
全体		1674	5.1%	28.3%	40.5%	10.9%	13.8%	1.4%
お住まいの 小学校区	座間	218	7.3%	27.5%	39.5%	9.2%	14.2%	2.3%
	栗原	182	3.8%	29.1%	41.3%	10.4%	14.3%	1.1%
	相模野	81	6.2%	27.2%	41.9%	12.3%	9.9%	2.5%
	相武台東	185	3.8%	29.2%	47.0%	7.6%	12.4%	0.0%
	ひばりが丘	110	7.3%	27.3%	41.8%	12.7%	10.9%	0.0%
	東原	146	3.4%	21.2%	43.9%	14.4%	16.4%	0.7%
	相模が丘	204	2.9%	29.4%	43.7%	9.3%	13.2%	1.5%
	立野台	177	6.8%	34.5%	32.2%	14.1%	10.7%	1.7%
	入谷	134	3.7%	30.6%	35.8%	12.7%	17.2%	0.0%
	旭	80	3.8%	23.8%	38.6%	10.0%	18.8%	5.0%
	中原	77	6.5%	20.8%	45.4%	14.3%	13.0%	0.0%

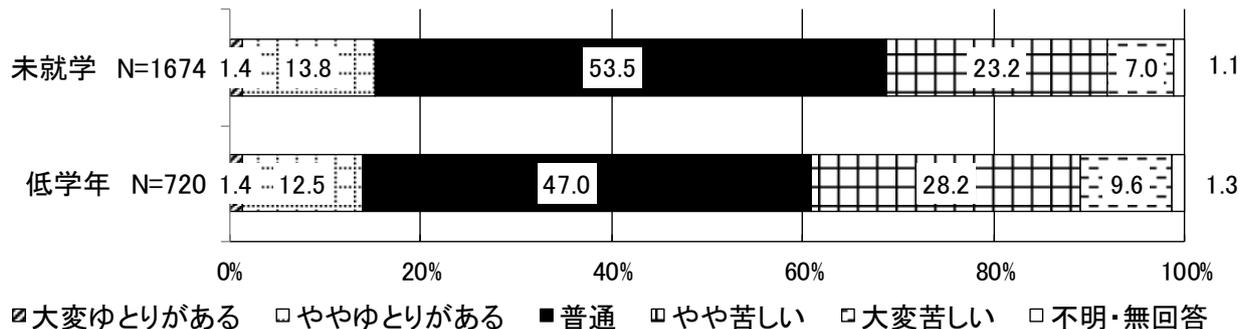
(7)

ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(〇は1つ)

【未就学 問34】【低学年 問17】

- 未就学は、「普通」が53.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.2%、「ややゆとりがある」が13.8%と続いています。
- 低学年は、「普通」が47.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が28.2%、「ややゆとりがある」が12.5%と続いています。
- 主な家庭類型【現在】別で見ると、未就学、低学年ともに、A(ひとり親家庭)は「やや苦しい」、「大変苦しい」という回答が半数以上となっています。

【未就学】【低学年】



【未就学 主な家庭類型【現在】別】

		回答者数	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	不明・無回答
全体		1674	1.4%	13.8%	53.5%	23.2%	7.0%	1.1%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	91	2.2%	4.4%	39.5%	38.5%	13.2%	2.2%
	B(フルタイム×フルタイム)	436	2.1%	19.3%	54.3%	18.6%	5.0%	0.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	165	1.8%	6.7%	50.9%	30.3%	7.9%	2.4%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	234	0.9%	10.3%	53.3%	24.8%	10.3%	0.4%
D(専業主婦(夫))		686	1.2%	15.0%	55.1%	22.2%	6.1%	0.4%

【低学年 主な家庭類型【現在】別】

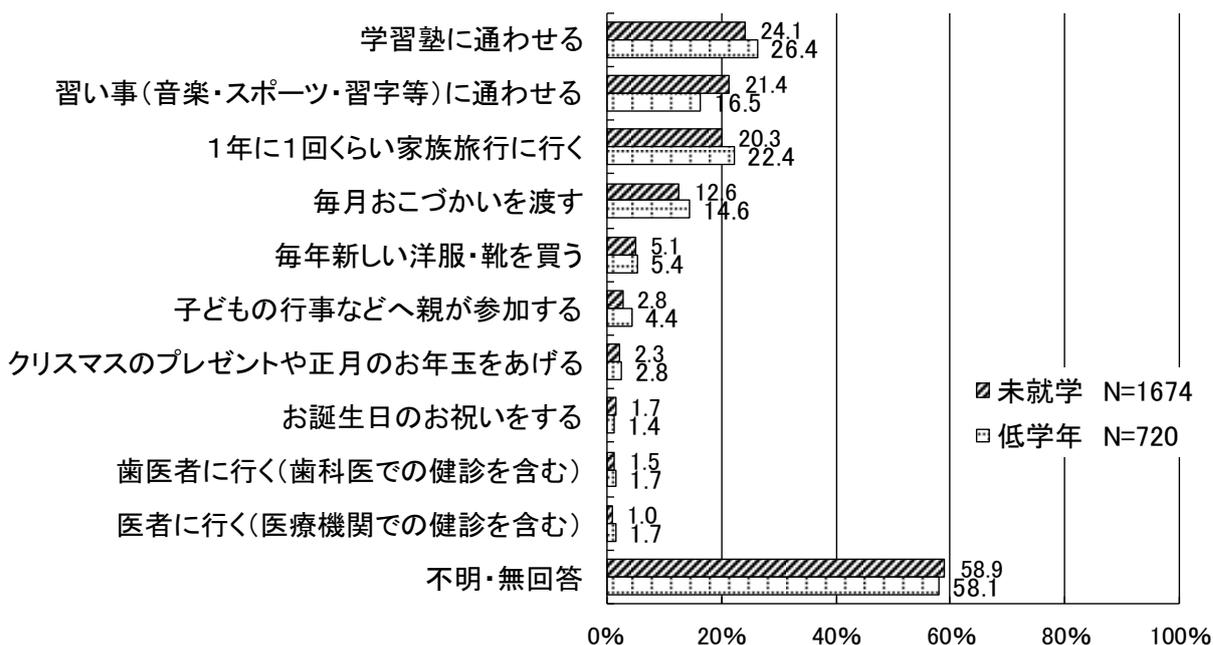
		回答者数	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	不明・無回答
全体		720	1.4%	12.5%	47.0%	28.2%	9.6%	1.3%
主な家庭類型【現在】	A(ひとり親家庭)	38	2.6%	2.6%	28.9%	31.6%	34.3%	0.0%
	B(フルタイム×フルタイム)	150	0.7%	18.0%	47.3%	27.3%	6.0%	0.7%
	C(フルタイム×パートタイム月120時間以上等)	46	2.2%	8.7%	47.8%	30.4%	8.7%	2.2%
	C'(フルタイム×パートタイム月64時間未満等)	238	2.5%	10.9%	45.3%	30.3%	9.7%	1.3%
D(専業主婦(夫))		222	0.5%	12.6%	53.6%	24.3%	7.2%	1.8%

(8)

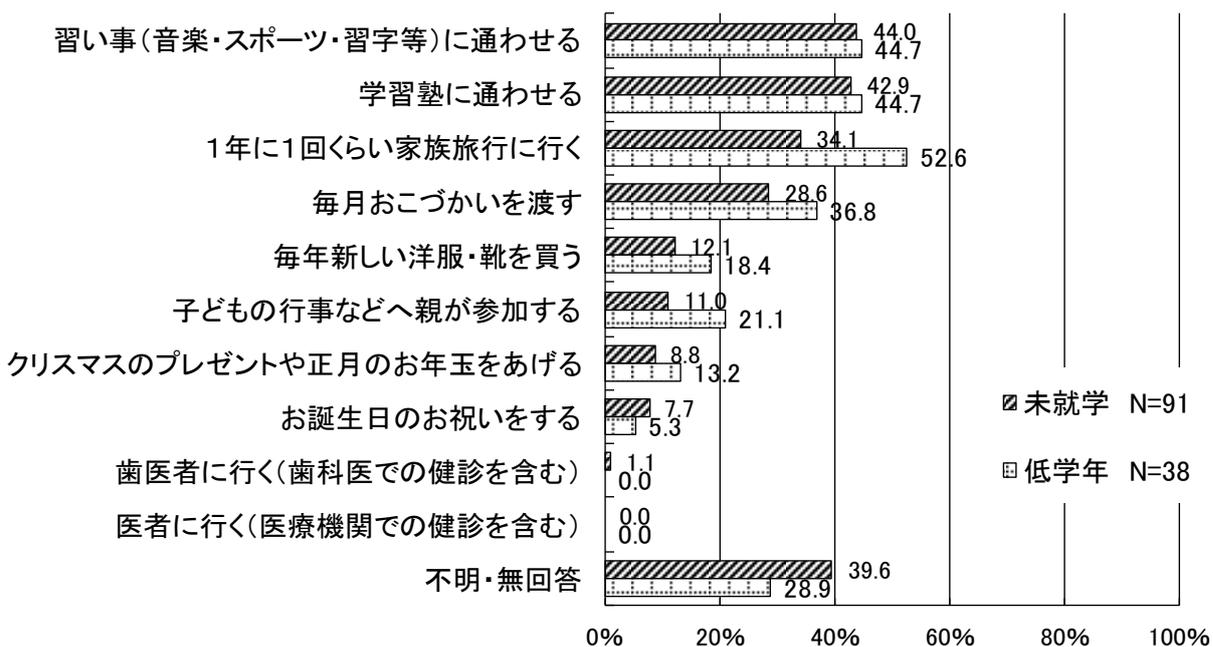
お子さんに関する次の事柄の中で、あなたのご家庭で経済的にできないことはありますか。  
(○はいくつでも)【未就学 問35】【低学年 問18】

- 未就学は、「学習塾に通わせる」が24.1%、「習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる」が21.4%とこれらが上位2つで、次いで「1年に1回くらい家族旅行に行く」が20.3%と続いています。
- 低学年は、「学習塾に通わせる」が26.4%と最も高く、次いで「1年に1回くらい家族旅行に行く」が22.4%、「習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる」が16.5%と続いています。
- 家庭類型のA(ひとり親家庭)に限定すると、「習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる」、「学習塾に通わせる」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」の上位3つはいずれも30%以上となっており、未就学全体や低学年全体と比べて「毎月おこづかいを渡す」との回答率も高くなっています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)



【未就学 家庭類型A(ひとり親家庭)のみ】【低学年 家庭類型A(ひとり親家庭)のみ】



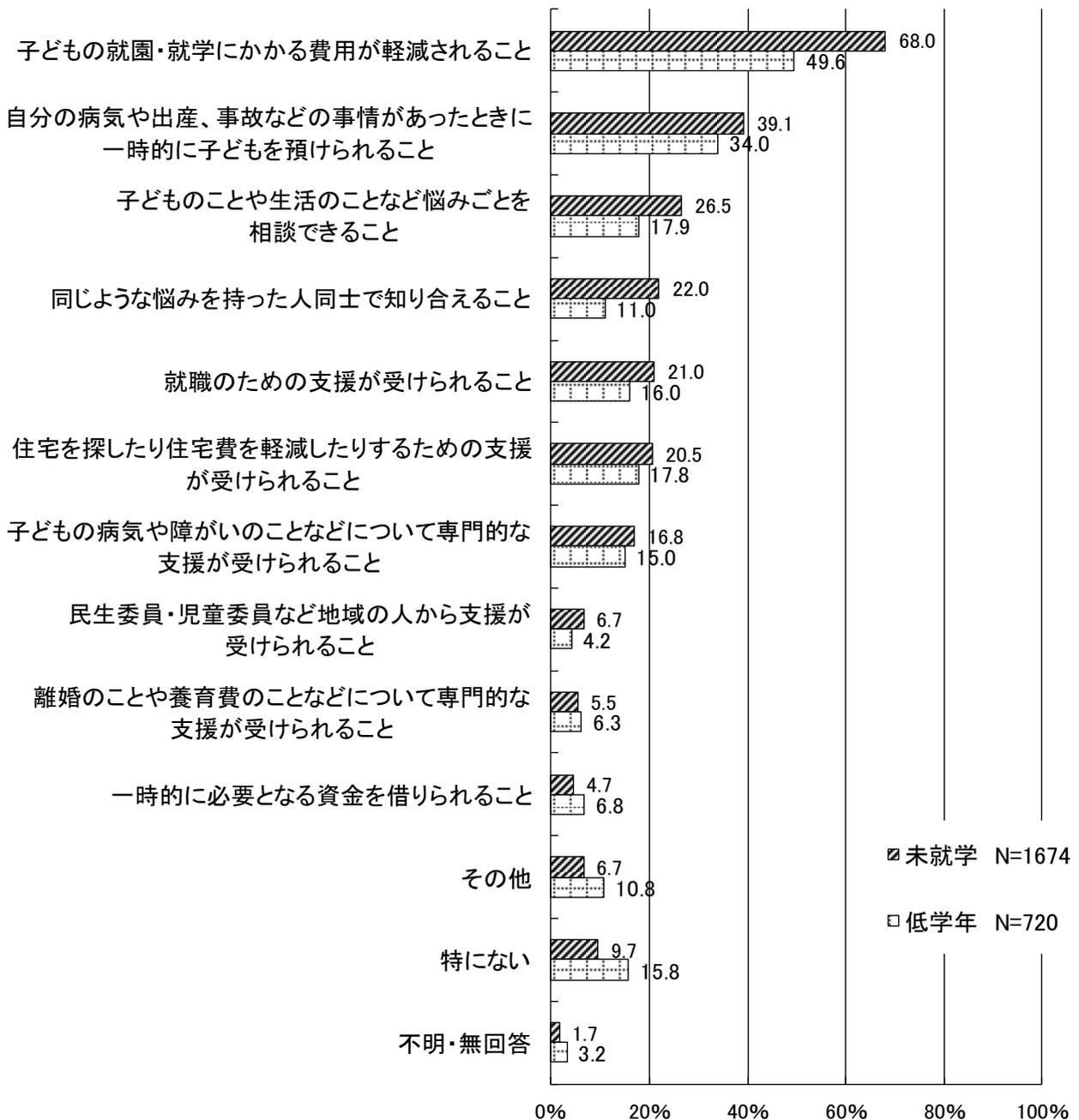
(9)

あなたが現在必要としていること、あなたにとって重要だと思う支援等はどのようなもので  
すか。(〇はいくつでも)

【未就学 問36】【低学年 問19】

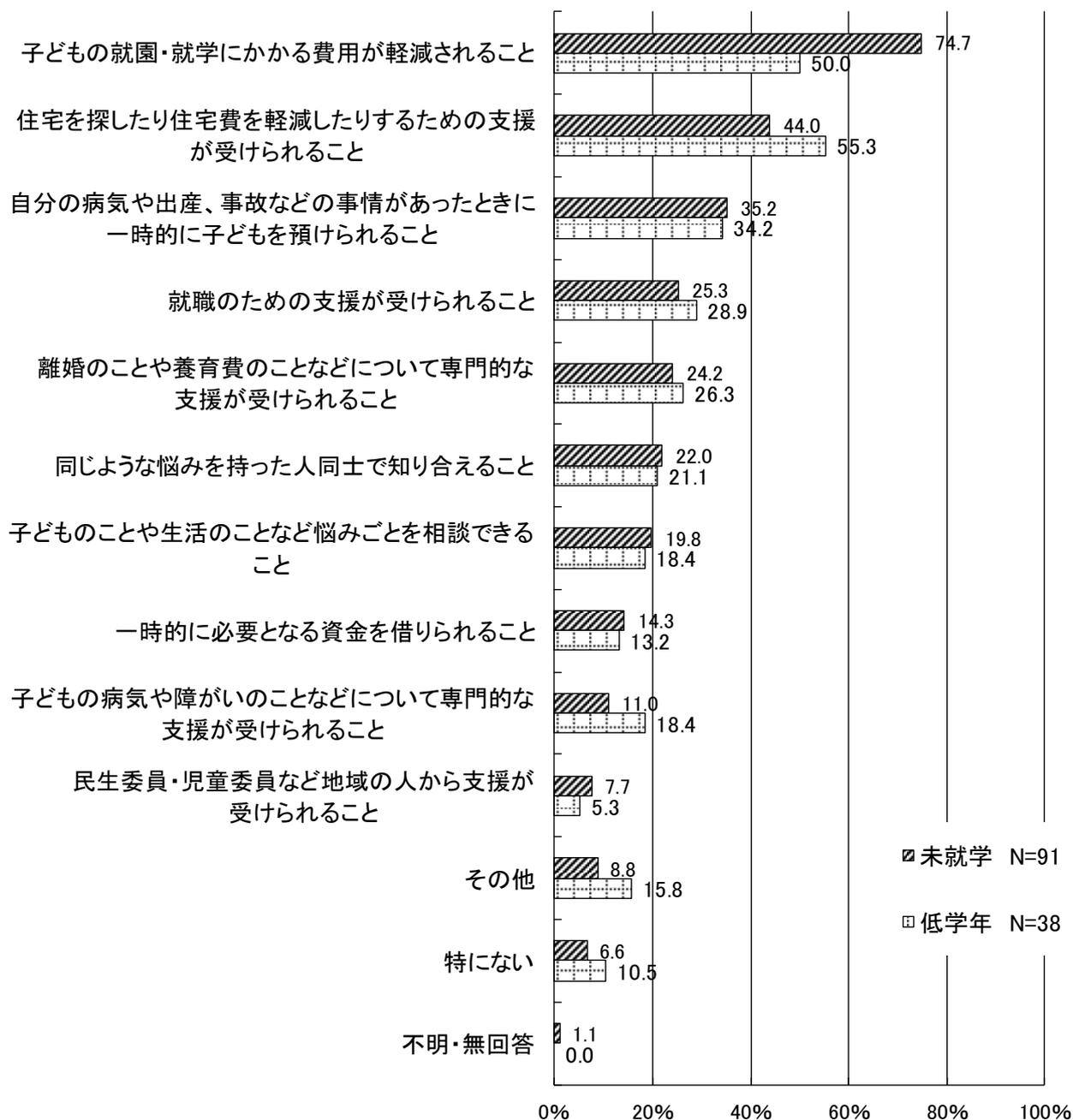
- 未就学は、「子どもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」が68.0%と最も高く、次いで「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が39.1%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が26.5%と続いています。
- 低学年は、「子どもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」が49.6%と最も高く、次いで「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が34.0%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が17.9%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)



- 家庭類型のA(ひとり親家庭)に限定すると、「子どもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」、「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が上位3つで、未就学全体や低学年全体と比べて「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」との回答率が高くなっています。

【未就学 家庭類型A(ひとり親家庭)のみ】【低学年 家庭類型A(ひとり親家庭)のみ】



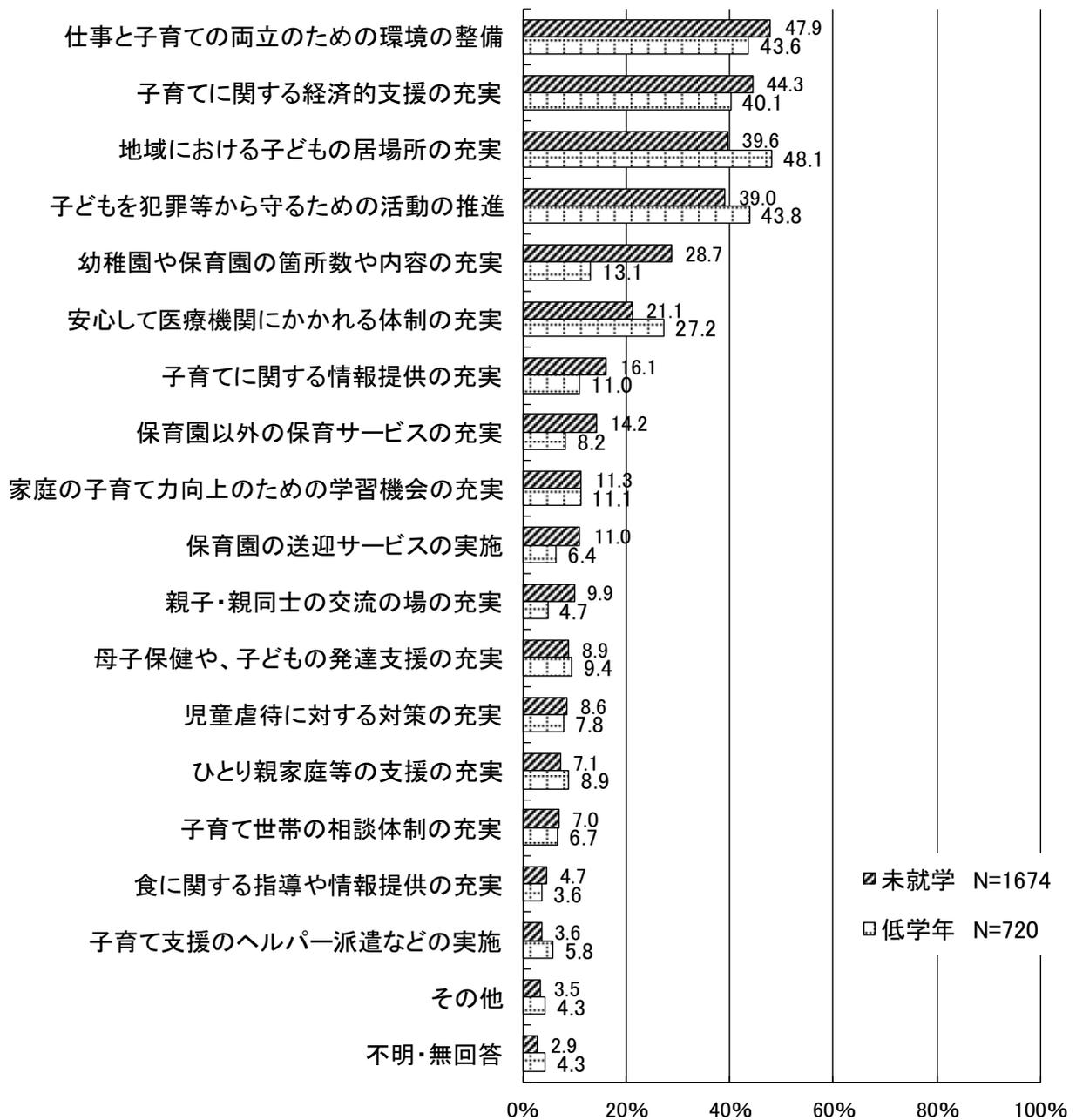
(10)

市の子ども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。

(○は特にあてはまるもの3つまで)【未就学 問37】【低学年 問20】

- 未就学は、「仕事と子育ての両立のための環境の整備」が47.9%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が44.3%、「地域における子どもの居場所の充実」が39.6%と続いています。
- 低学年は、「地域における子どもの居場所の充実」が48.1%と最も高く、次いで「子どもを犯罪等から守るための活動の推進」が43.8%、「仕事と子育ての両立のための環境の整備」が43.6%と続いています。

【未就学】【低学年】(回答の多い順に並び替え)



(11)

子育てについて何か思うこと感じるがあれば、ご自由にお書きください。

(意見の要旨を集計)

【未就学 問38】【低学年 問21】

## 【未就学】

区分	意見要旨	件数
○保育園について	計	136
	保育サービスの充実と改善(土日の預け先・夜間の対応・送迎サービス・3歳未満児の預かり・一時保育の充実・無償化)	42
	保育園の増設、待機児童対策の改善不満	27
	保育園の入園制度基準への不満改善	19
	保育園の質の改善	12
	保育士の待遇改善	8
	情報開示の改善不満	8
	保育園の安全	6
	教育の充実	5
	入園についての心配	4
	各園へ助成金補助	1
	他市利用時の保育費用補助	1
	給食に不満	1
	提供する食材の放射能検査の実施	1
	ありがたく利用	1
○公園について	計	74
	公園の新設	27
	公園の遊具の充実(大きな遊具幼児向けの遊具の設置)	12
	設備の充実不満(水遊びのできる場所乳幼児が利用しやすい場所動物とのふれあい)	12
	公園の補修(設備の老朽化・砂場が硬い)	11
	環境の改善(子どもが安心して遊べる場所・禁煙化)	8
	ボールの使用できる場所の設置	3
	公園の場所に不満	1
○医療について	計	64
	医療費補助制度の改善・不満	37
	予防接種、検診利用の改善	5
	妊婦検診の助成、無料化	5
	情報の改善	5
	予防接種の補助・無料化	4
	不妊治療の助成	2
	検診の質の改善	2
	療育手帳保持者の就学以降の相談できる場所	1
	小児医療、予防医学の充実	1
	集合検診と個人検診の差の明確化	1
	問診内容に不満	1
○児童ホーム、学童保育等について	計	61
	児童ホーム、学童保育の増設、定員拡充	17
	内容の充実と改善(時間の延長・長期休暇の利用・日数の増大・学童内での習い事・利用料金の改善)	12
	放課後預かりサービスの充実(放課後、長期休暇での預かり)	9
	サービスに不満	7
	学童保育の充実	8
	環境の改善	3
	就学後の預け先に不安	3
入所について心配	2	

区分	意見要旨	件数
○施設について	計	58
	子どもの遊べる施設の増設(体育館・市民プール、大和市のシリウス・ポラリスのような施設)	30
	気軽に安心して預けられる施設希望	15
	土・日・祝日・長期休暇での利用希望	4
	屋内施設(雨・雪の日に利用)希望	4
	図書館の改善・改装	3
	図書室の本の充実・増大	2
○子育て支援について	計	49
	支援に不満	19
	支援サービスの改善・要望(年の差兄弟の補助費の増額・経済的支援・発達障害児への支援・支援ヘルパー不足)	11
	ファミリー・サポートの充実と改善(利用料金の改善・利用手続きの緩和)	7
	経済的支援の充実	4
	支援サービスに満足	3
	産後ケアの改善	3
	経済面に満足	1
	子育てサロンボランティアの増設	1
○市の子育て環境について	計	49
	市の子育て環境に不満	13
	親へのサポート環境、孤独にならない子育ての環境の改善	11
	市の子育て環境に期待	9
	子どもの安心・安全な場所希望	6
	市の子育て環境に満足	5
	地域の環境の改善	3
	安心して子どもを産める環境づくり	2
○支援センターについて	計	34
	支援センターの増設	11
	支援センターの充実と改善(土日の利用・施設内での飲食可能に・発達を促す玩具の設置・イベント増加)	11
	支援センターの質の改善	7
	サービスに満足	3
	環境の改善	2
○道路について	計	32
	道路の改善(道幅が狭い・道路の整備・段差が多い)	22
	信号・街灯の増設	4
	通学路の整備	4
	安全の確保	2
○小学校について	計	28
	PTA 役員の負担軽減・廃止	5
	設備の改善(トイレの洋式化・エレベーターの設置)	4
	経済的負担の改善	4
	登下校の安全	4
	教育の充実・向上	3
	親の負担軽減	2
	入学について心配	2
	情報開示の改善	2
	発達障害指導員の増員	1
	校内手作り給食の導入	1

区分	意見要旨	件数
○市役所について	計	24
	市役所への要望(職員の家庭訪問・子育てと仕事の両立のサポート・帰宅促す音楽の放送・駅のエレベーター設置・第2土曜日の窓口開設・災害時の対策・ひとり親を助けてくれる環境・国保、住民税の免除減額)	17
	市役所の質の改善	7
○情報提供について	計	23
	情報開示の改善(習い事の一覧がほしい・小冊子等でお知らせしてほしい・ホームページが分かりづらい)	19
	情報手段の改善	4
○幼稚園について	計	21
	幼稚園の充実と改善(早朝保育実施・プレ保育の増大・無償化)	7
	入園についての心配	4
	サービスの改善・向上(給食費無償化・補助金制度の改善)	4
	幼稚園の増設	2
	教育の充実	2
	幼稚園、サービスに感謝・満足	2
○病児保育について	計	19
	病児保育施設の増設	8
	保育園内での病児保育希望	6
	病児保育の充実と改善	5
○病院について	計	18
	病院の質の充実と改善(子どもの急患の対応改善等)	11
	小児科の増設	4
	医師の増員希望	2
	窓口の対応に満足	1
○相談について	計	16
	対応、サービスの改善	9
	相談できる場所の提供	7
○中学校について	計	14
	給食の実施、食事についての要望	12
	学校設備の改善	1
	登下校の安全	1
○交通について	計	14
	バスの整備増便	11
	バスルートの改善	2
	バス利用時の割引	1
○その他	計	57
	その他	18
	手当の改善不満(手当の制限の改善)	8
	今回のアンケートへの不満	8
	イベントの開催(同月齢の子と集まるイベント・親子で参加できるイベント・父親学級)	6
	安心して暮らせる環境の整備	6
	親の質の低下に不満	3
	地域の温かさに感謝	2
	金銭面について不安・支援希望	2
	子ども用品取扱店の増設	2
	食の安全の強化指導	2

【低学年】

区分	意見要旨	件数
○小学校について	計	61
	PTA活動の改善	15
	登下校の安全確保	15
	教育の質の向上	10
	放課後の過ごし方の充実	10
	学力向上・学業への支援	7
	いじめ対策	2
	学校でのアンケートが記名のため書きづらい	1
	放課後子ども教室の設置	1
○公園について	計	46
	遊具・遊び方等の改善(ボール使用・自転車乗車等)	39
	公園設備の整備(時計・防犯カメラ設備等)、トイレの改善	6
	公園整備に感謝	1
○児童ホーム、学 童保育について	計	44
	児童ホームの利用定員の拡充	15
	利用時間の見直し(短縮・習い事による早退など)	8
	一時利用できるように(長期休み・ビジターなど)	6
	放課後事業の内容全般の見直し(お昼寝制度の見直し、給食の実施等)	5
	職員の質の向上	4
	いじめ対策	3
	特別支援学級の生徒が預かってもらえない	2
	保護者に役員があるのが負担	1
○医療について	計	30
	医療費の助成の充実	19
	予防接種への助成	4
	他市より、助成制度が劣っている	3
	発達障害に対する市の対応の充実	2
	近隣の他市との医療連携	2
○子育て支援・教 育支援について	計	28
	子育て支援、子どもの活動に関する情報が少ない等	10
	就学援助の額が他市に比べ少ない、中高生にも支援してほしい	6
	子どもに対しての苦情が多く住みづらい	3
	母子・父子家庭への支援。	2
	地域で連携ができていて、いろんな体験ができ感謝。	2
	「言葉の教室」の開設	1
	ファミサポの金額が高い。	1
	不登校児に対する支援が行き届いていない	1
	子育て支援に取り組み姿勢が伝わっている	1
	発達障害児への支援に関する情報提供の充実	1
○施設について	計	25
	放課後に安全に遊べる場の整備(コミュニティセンターのような)	11
	スポーツ施設の充実(プール・サッカーグラウンド等)	9
	雨天時に遊べる場の充実(図書館等)	4
	子育て支援センターに駐輪所、駐車場があるともっと利用しやすい。	1
○道路・交通につ いて	計	18
	道路設備等の改善	17
	ヘルメット購入支援	1
○給食について	計	17
	中学校を給食にしてほしい	11
	安全性・献立の充実	5
	給食費を振り込みしてほしい	1

区分	意見要旨	件数
○市役所について	計	11
	手続き等の改善	4
	他の市の良いところを取り入れてほしい	3
	子育て担当職員の質改善。	3
	各部署の連携	1
○保育園について	計	11
	定員の拡充・保育時間の延長	10
	園内における習い事の実施	1
○放課後等デイサービスについて(送迎や病児の預かり等の実施)		7
○特別支援学級について	計	2
	中学からの支援	1
	教員の人員充実	1
○その他	計	15
	その他	10
	イベントの改善・充実(市の子育てフェスタを休日に実施等)	2
	家庭教育(子どもの問題行動と対応、時代の変化による家庭機能への対応)	2
	子育ての孤立化への支援(自発的に行動することが苦手な方のための場の設置)	1

---

## 座間市の子ども・子育てに関する調査結果報告書 平成31年3月

---

座間市子ども未来部子ども政策課

〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

Tel 046(252)8025 Fax 046(255)5080

座間市ホームページ:<https://www.city.zama.kanagawa.jp/>